



さぬき市地域公共交通計画



令和3年3月

香川県さぬき市

目 次

序. 計画の目的	1
1. 市政概要等の把握	2
1-1 上位・関連計画における公共交通の位置づけ	2
(1) 第2次さぬき市総合計画中期基本計画	2
(2) 第2次さぬき市都市計画マスタープラン	3
(3) さぬき市立地適正化計画	5
(4) 第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略	6
1-2 公共交通等の位置づけのまとめ	6
2. 基礎データの整理	7
2-1 位置及び地勢	7
2-2 人口・世帯数	8
(1) 人口世帯数の推移	8
(2) 地区別人口の推移	9
(3) 人口分布状況	10
(4) 将来人口予測	10
(5) 地区別の将来人口推計	11
(6) 用途地域・人口集中地区（DID 地区）	13
2-3 交通流動特性	14
(1) 通勤通学流動	14
(2) 代表交通手段及び端末交通手段構成	15
(3) 自動車保有台数	15
2-4 都市基盤整備状況	16
(1) 道路	16
(2) 都市計画道路	16
(3) 交通量・混雑状況	17
2-5 施設立地・生活圏	18
(1) 学校・病院	18
(2) 商業施設・観光施設	19
3. 市内公共交通機関等の現状・課題及び市民ニーズの把握等	20
3-1 市内公共交通機関の種類及び整備状況の把握・整理	20
(1) 市内公共交通機関	20
(2) 鉄道	21
(3) バス	22
3-2 その他施策等	29
(1) さぬき市高齢者運転免許証自主返納等支援事業	29
(2) さんさん在宅支援サービス事業（社会福祉協議会）	29
3-3 さぬき市総合計画のための市民アンケート調査結果概要（平成30年7月）	30
3-4 市民ニーズ調査	31
(1) 市民アンケート調査	32
(2) コミュニティバス利用実態調査	36
(3) 市民ニーズ調査（市民会議）	50
(4) 高校生アンケート調査	53
(5) 施設・来街者調査	59
(6) デマンド交通ニーズ調査	62
(7) 交通事業者ヒアリング調査	77
(8) いきいきネット連絡協議会によるアンケート調査	79

4. 地域公共交通計画	81
4-1 地域公共交通計画策定の背景	81
(1) コミュニティバス運行の経緯	81
(2) 市民ニーズ	81
(3) まちづくりとの整合	81
4-2 さぬき市地域公共交通計画	82
(1) 目指すべき将来都市構造（第2次さぬき市都市計画マスタープラン）	82
(2) さぬき市が目指す地域公共交通のすがた	83
(3) 望ましい公共交通ネットワークのあり方	84
(4) 基本方針	86
(5) 計画の目標	87
(6) 計画の区域	88
(7) 計画期間	88
(8) 目標達成のために実施する事業	89
5. 計画の進捗状況の評価と進行管理	102
5-1 計画の実施及び進行管理の体制	102
5-2 PDCA サイクルの実行	103
5-3 評価方法及びスケジュール	103
6. 参考資料	104
6-1 さぬき市地域公共交通会議	104
(1) 委員名簿	104
(2) 開催状況	105

序. 計画の目的

- 本市は、平成 15 年度のコミュニティバス運行開始以降、『「便利で使いやすく」、「持続可能な」交通体系の創造』を基本方針として、運行路線や運賃の見直しなどに取り組んできた。平成 24 年 3 月には、市民アンケート調査結果等に基づき「さぬき市生活交通ネットワーク計画」を策定し、運行形態を見直したものの、時の流れとともに市民満足度は低下し、更なる改良が求められている。
- さらに、人口減少・高齢化が進む本市の現状と未来を見据え、公共交通の役割とターゲットを明確にしなが、市内における自家用車以外の移動手段の充実を目指すことにより、第 2 次さぬき市総合計画に掲げる「安全・安心・快適に暮らせるまちづくり」を推進することが重要となっている。
- さぬき市地域公共交通計画は、同時期に改定された第 2 次さぬき市都市計画マスタープランや、併せて策定された立地適正化計画の成果を最大限有効活用しながら、地域内路線を担うさぬき市コミュニティバスの機能強化を機軸に、さぬき市全体の公共交通のマスタープランとして策定したものである。

1. 市政概要等の把握

1-1 上位・関連計画における公共交通の位置づけ

(1) 第2次さぬき市総合計画中期基本計画

計画期間	基本構想：平成27年度～令和8年度 基本計画：4年間（前期・中期・後期） 実施計画：4年間（毎年見直し）						
	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #e91e63; color: white; text-align: center;">基本構想</td> <td> <p>●市の将来像やまちづくりの方向性などを定めるもの</p> <p>【計画期間】12年間（平成27年度～平成38年度）</p> <p>【内 容】■将来像 ■基本理念 ■基本目標 ■基本目標達成のための基本施策</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #4caf50; color: white; text-align: center;">基本計画</td> <td> <p>●将来像の実現に向けて取り組むべき具体的内容などを定めるもの</p> <p>【計画期間】4年間（前期・中期・後期）</p> <p>【内 容】■基本施策別の取組方針・内容 ■目標指標</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ff9800; color: white; text-align: center;">実施計画</td> <td> <p>●基本計画に基づく取組を計画的に進めるための指針となるもの</p> <p>【計画期間】4年間（毎年見直し）※別途策定</p> <p>【内 容】■具体的な事業計画・財源</p> </td> </tr> </table>	基本構想	<p>●市の将来像やまちづくりの方向性などを定めるもの</p> <p>【計画期間】12年間（平成27年度～平成38年度）</p> <p>【内 容】■将来像 ■基本理念 ■基本目標 ■基本目標達成のための基本施策</p>	基本計画	<p>●将来像の実現に向けて取り組むべき具体的内容などを定めるもの</p> <p>【計画期間】4年間（前期・中期・後期）</p> <p>【内 容】■基本施策別の取組方針・内容 ■目標指標</p>	実施計画	<p>●基本計画に基づく取組を計画的に進めるための指針となるもの</p> <p>【計画期間】4年間（毎年見直し）※別途策定</p> <p>【内 容】■具体的な事業計画・財源</p>
	基本構想	<p>●市の将来像やまちづくりの方向性などを定めるもの</p> <p>【計画期間】12年間（平成27年度～平成38年度）</p> <p>【内 容】■将来像 ■基本理念 ■基本目標 ■基本目標達成のための基本施策</p>					
基本計画	<p>●将来像の実現に向けて取り組むべき具体的内容などを定めるもの</p> <p>【計画期間】4年間（前期・中期・後期）</p> <p>【内 容】■基本施策別の取組方針・内容 ■目標指標</p>						
実施計画	<p>●基本計画に基づく取組を計画的に進めるための指針となるもの</p> <p>【計画期間】4年間（毎年見直し）※別途策定</p> <p>【内 容】■具体的な事業計画・財源</p>						
将来像	自然豊かでいきいき 笑顔あふれて快適に みんなで暮らす ふるさとさぬき						
基本理念	守る つなぐ 進化する						
基本目標	<p>■基本目標1：活力あふれ、いきいきと暮らせるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致の推進 ・商工業の振興と産学官の連携強化 ・農林業の振興 ・水産業の振興 ・観光の振興 ・雇用の場の確保と労働環境の充実 ・定住促進対策 <p>■基本目標2：安全、安心、快適に暮らせるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防・防災体制の充実 ・生活安全対策の推進 ・道路等の社会基盤の整備 ・公共交通網の充実 ・住環境の整備と都市計画の推進 ・墓地・斎場の整備 <p>■基本目標3：健全な心身と思いやりを育むまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の充実 ・高齢者福祉の充実 ・障害者福祉の充実 ・地域力の強化による地域福祉の充実 ・心身の健康づくりに対する支援 ・地域医療の充実 ・生活困窮者への支援 ・社会保障制度の適切な運用 <p>■基本目標4：学ぶ意欲と豊かな心をはぐくむまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の充実 ・家庭と地域の教育力の強化 ・生涯学習・スポーツの推進 ・歴史・文化の伝承 ・青少年の健全育成 ・交流事業の推進 ・男女共同参画の推進 ・人権教育の推進 <p>■基本目標5：人と地球に優しいまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境との共生 ・資源循環型社会の構築 ・上下水道の維持・整備 <p>■基本目標6：市民協働による、持続可能な自主自立のまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政の健全化 ・歳入の確保 ・行政改革の推進 ・公共施設マネジメントの推進 ・市民に関われた市民本位・市民主体の行政の推進 ・地域コミュニティの活性化 ・広域的行政の推進 						

公共交通に関する事項 (基本計画)	<p>■基本目標 1</p> <p>○観光の振興</p> <p><u>主要施策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある観光振興対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ●既存の資源の磨き上げや新たな魅力を発掘し、さぬき市ならではの体験ができる着地型旅行商品の開発に向けた検討を行います。 <p>■基本目標 2</p> <p>○公共交通網の充実</p> <p><u>主要施策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利便性の高い公共交通手段の提供 <ul style="list-style-type: none"> ●「さぬき市生活交通ネットワーク計画」に基づき、コミュニティバスの安全運行に努めるとともに、市民の重要な公共交通機関として役割を果たせるようコミュニティバスの路線再編等を進めます。 ●関係機関とともにこれまでの運行形態等を見直し、地域公共交通網の将来像を検討します。 ・公共交通利用促進対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ●市民及び市外の利用者に対して分かりやすい路線案内等を活用した周知を図り、コミュニティバスで外出するイメージが膨らむような広報活動に努めます。 ●高松自動車道四車線化により、高速バス利用者の増加が予想されることから、引き続き、バスストップ駐車場の整備を進めます。 ●JR・ことடன்駅周辺等でのパーク＆ライド駐車場の利用効率の向上や駅前広場の充実、駐輪場の整備等により公共交通機関の利用促進に取り組みます。
----------------------	--

(2) 第2次さぬき市都市計画マスタープラン

計画期間	令和3年度～令和22年度
将来像	沿岸部、山間部、平野部それぞれの暮らしを守り 互いに補完しあう暮らし輝く コシのあるまち ～しびれるふるさと エレキテル コミュニティ～
基本理念	<p>基本理念1：都市機能や拠点・にぎわいなどの暮らしが持続する“まとまり”を大切にしまちづくり</p> <p>基本理念2：地域間のネットワークを深化させ互いに“補完”しあうまちづくり</p> <p>基本理念3：さぬき市に住む一人ひとりが主体となったさぬき市を守り、支える“想(おもい)”のあるまちづくり</p>
公共交通に関する事項 (基本目標)	<p>■安全・安心・快適に暮らすための持続可能な公共交通網の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢化により増加する交通弱者の移動手手段の確保や市民ニーズに対応した利用しやすいサービス水準の提供 ○買物・通院・通学に役立つコミュニティバスへの転換 ○誰もが使いやすい交通結節点機能の強化を図り、地域公共交通の維持に努める

■将来の都市構造の考え方

都市軸
拠点
ゾーン

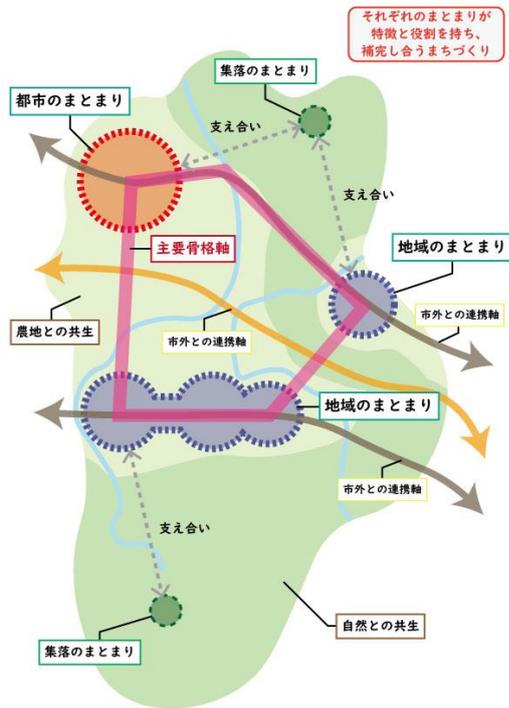
- 都市軸**
- 広域連携軸
 - ・四国各県の主要都市を結び、広域的な交流・連携を担う軸（四国横断自動車道(高松自動車道)
 - 都市間連携軸
 - ・広域連携軸と連携し、都市間の広域的な交流・連携を担う軸、本市の東西方向の都市骨格を形成する軸
 - 都市内連携軸
 - ・都市間連携軸を補完し、市内各地域間、拠点を相互に結び連携を担うべき軸
 - ・本市の東西方向及び南北方向の都市骨格を形成する軸、本市の主要骨格軸を担う軸
 - 鉄道軸
 - ・都市間を結ぶ公共交通を担う軸として、JR 高徳線及びことでん志度線、ことでん長尾線
 - 主要河川軸
 - ・水と緑のうろおいある環境を形成する軸として鴨部川、津田川

- 拠点**
- 都市拠点
 - ・高次の都市機能を担う拠点として、「JR 志度駅周辺」
 - 生活拠点
 - ・「大川・寒川・長尾地区」「津田地区」
 - 集落拠点
 - ・出張所を中心とした「小田集落」「多和集落」
 - 産業拠点
 - ・「志度臨海工業地区」「志度末工業団地地区」「高松東ファクトリーパーク地区」「東香川食品産業ファブリック地区」
 - 流通拠点
 - ・「津田東インターチェンジ周辺地区」「津田寒川インターチェンジ周辺地区」「志度インターチェンジ周辺地区」
 - 文教拠点
 - ・「志度中央地区」
 - レクリエーション拠点
 - ・「琴林公園（津田の松原）」「みろく公園」「大串自然公園」「門入の郷」「亀鶴公園」

- ゾーン**
- 森林ゾーン
 - ・北部及び南部に広がる森林地域を緑豊かな自然の保全とふれあいを図るべきゾーン
 - 田園居住ゾーン
 - ・市全域に広がる田園地域を、田園環境の維持・保全と居住（生活）環境との共生を図るべきゾーン
 - 市街地ゾーン
 - ・市街地都市的土地利用の集積を図り、良好な都市環境の備わった秩序ある高質な集約的市街地形成を図るべきゾーン

将来
都市構造

[都市づくりの概念図]



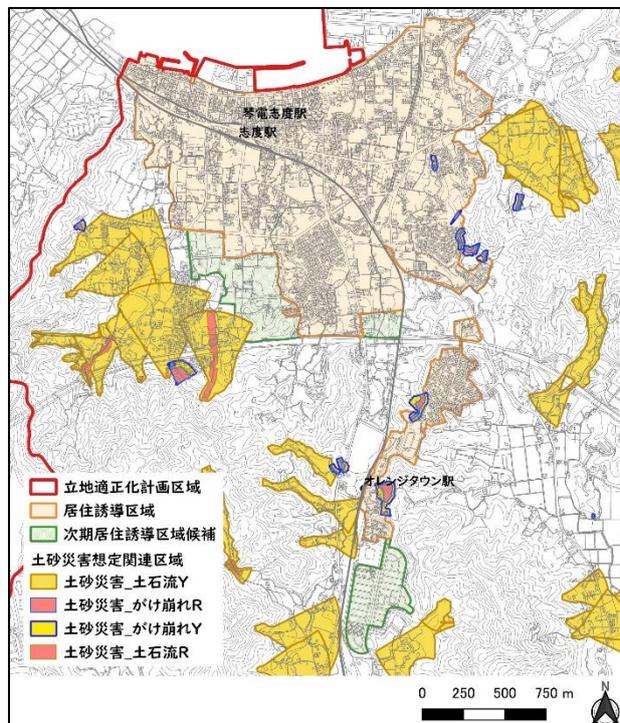
[将来都市構造図]



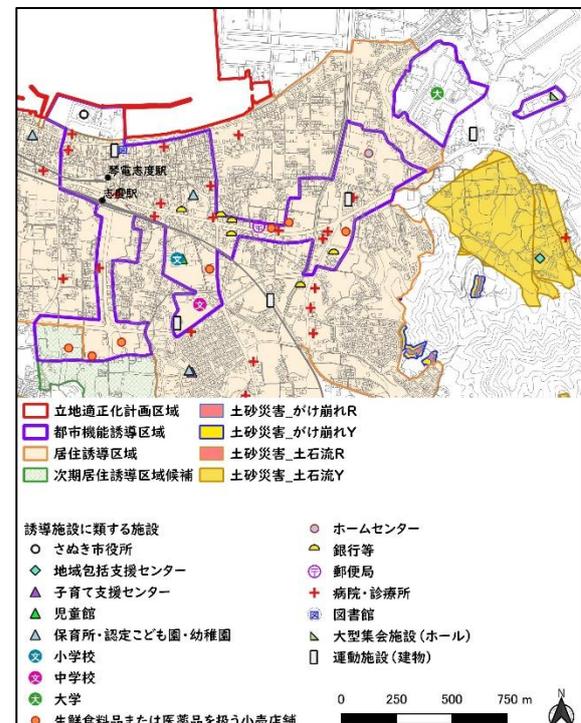
(3) さぬき市立地適正化計画

計画期間	令和3年度～令和22年度
まちづくりの方針	土地・建物資源の活用・開発が進み、徒歩・公共交通・自転車でも生活できる、高密度・効率的・強靱な市街地形成を目指す。
誘導方針	(1) 若者が住みたい・住み続けたいと思える居住地づくり (2) 高齢者のまちなか居住の促進に向けた環境づくり (3) 無秩序な市街化を抑制する (4) まちの空洞化を防ぐ (5) 災害に対して強靱なまちをつくる
公共交通に関する誘導施策	<p>■公共交通の維持・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自家用車でなくても生活できる生活交通の確保とモビリティ・マネジメントの推進 ・コミュニティバスの見直し再編（定時定路線） ・次世代技術等を使った新モビリティ導入の検討 ・レンタサイクルの充実 ・乗り継ぎ拠点の整備（鉄道駅、各庁舎、商業施設 等） ・JR 志度駅南口の利用利便性等強化 ・駅周辺駐輪場整備 <p>■生活の移動手手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住誘導区域内における電動自転車、シェアカー導入促進の検討 ・高齢者等福祉タクシー助成事業の継続

■居住誘導区域



■都市機能誘導区域



(4) 第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略

計画期間	令和2年度～令和6年度
基本理念	命と暮らしを「守る」 人と人、過去と未来を「つなぐ」 改革と創造で「進化する」
基本目標	基本目標 1「誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる」 基本目標 2「さぬき市への人の流れをつくる」 基本目標 3「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」 基本目標 4「生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる」
公共交通に関する事項 (基本目標)	<p>■基本目標 4「生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる」</p> <p>(2) 高齢になっても安心して暮らせる地域づくり</p> <p>・目的に応じて選択できる公共交通の推進</p> <p>自動車の運転をしない高齢者の日常生活に役立つよう、目的や体調に応じて選択利用ができる公共交通を目指し、コミュニティバスの再編等に取り組みます。</p>

1-2 公共交通等の位置づけのまとめ

■コミュニティバス

高齢社会への対応や環境負荷の少ない交通体系の確保の観点から高齢化に対応した低床バスの導入や、路線再編、運行形態の見直しなどが位置づけられている。

- ・路線再編・安全運行
- ・運行形態の見直し・運行の充実
- ・低床バスの導入

■鉄道（駅）

駅の交通結節点としての機能向上を図るため、駅前広場や駐車場・駐輪場整備などが位置づけられている。

- ・パーク&ライド駐車場の整備
- ・駐車場・駐輪場の整備と適切配置
- ・駅前広場の充実

■公共交通利用促進

周知・広報活動や利便性の向上など、利用促進に関する事項が位置づけられている。

- ・わかりやすい路線案内の周知・広報活動
- ・利便性の高い公共交通手段の提供
- ・乗り継ぎ利便性の向上
- ・モビリティ・マネジメントの推進

■その他

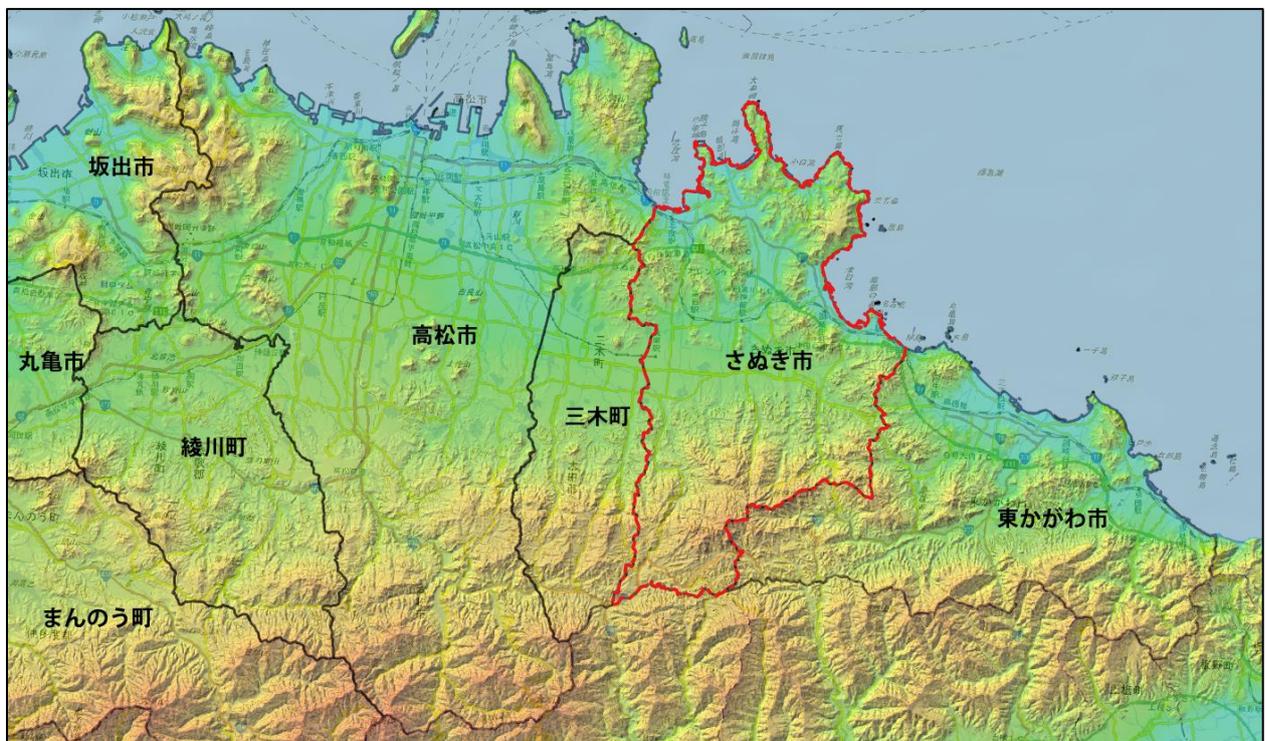
- ・次世代技術等を使った新モビリティ導入の検討
- ・バスストップ駐車場の整備

2. 基礎データの整理

2-1 位置及び地勢

- 高松市中心部まで約 15 km、岡山市・徳島市には 50 km圏内
- 面積は 158.63 km² で、香川県下では高松市・三豊市・まんのう町に次ぐ4番目の広さ
- 高松市との交通アクセスの利便性が向上し、南部の都市化が進行
- 高松自動車道開通（2003年）により、京阪神や岡山・広島方面への時間距離が短縮
- 北部の海岸部、中央部の平野部、南部の山間部に分類
- 砂浜海岸と半島部が交互に並ぶ複雑な海岸線
- 北部と中央部は、標高約 250m程度の山塊
- 南部の山間部は、標高約 150m以上の讃岐山地

■図 位置図

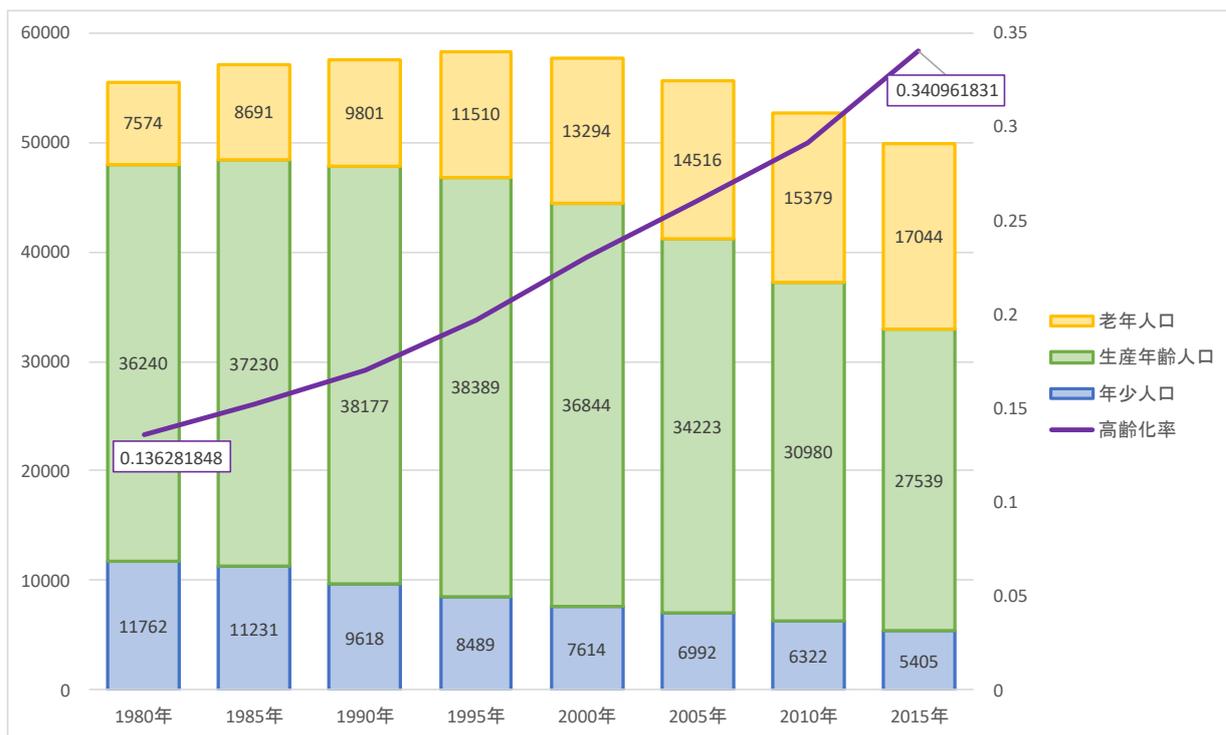


2-2 人口・世帯数

(1) 人口世帯数の推移

- 50,272 人（2015（平成 27）年）
- ピーク時（1995（平成 7）年：58,388 人（年齢不詳除く））からは 8,100 人（約 16%）の減少
- 生産年齢人口（15 歳～64 歳）は、1995（平成 7）年をピークに減少・20 年間で約 28% 減少
- 老年人口（65 歳以上）は増加傾向・2015（平成 27）年では 30%を超え、34.1%

■ 図 年齢 3 区分別人口と高齢化率の推移（さぬき市全体）

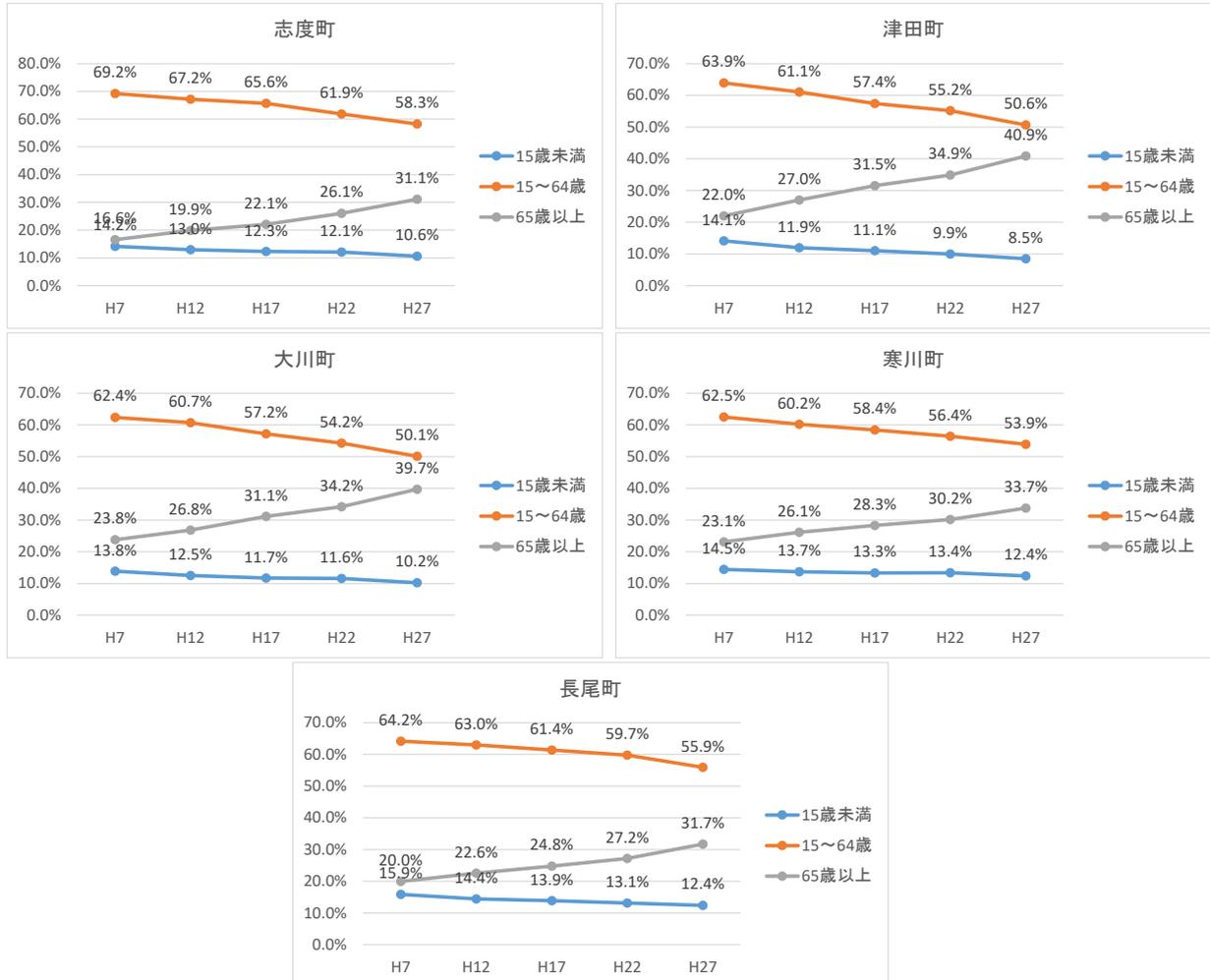


資料：さぬき市人口ビジョン・国勢調査

(2) 地区別人口の推移

- 65歳以上の人口は、全地区で増加
- 志度町では、平成7年から平成27年で6,000人以上増加
- 最も65歳以上の割合が高いのは津田町（40.9%、15歳未満8.5%）
- 15～64歳（生産年齢人口）が高いのは志度町（58.3%）

■ 図 年齢3区分別地区別人口の推移



資料：各年国勢調査

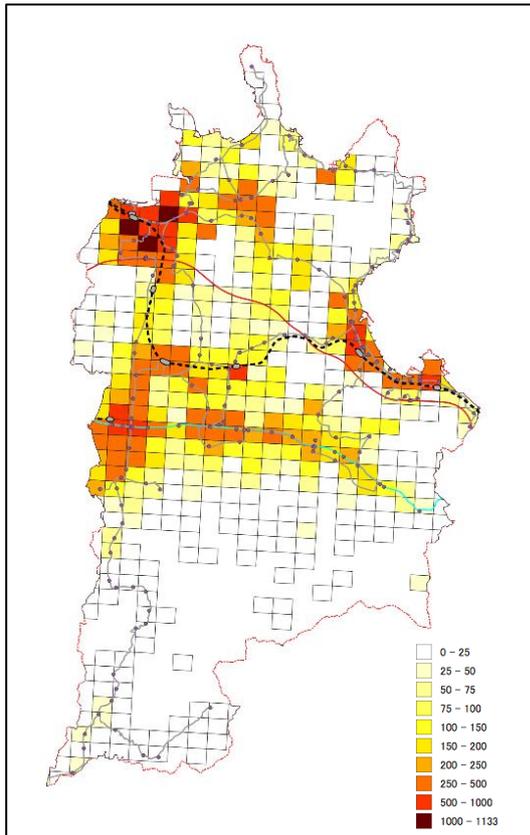
(3) 人口分布状況

- JR志度駅を中心とした志度地区（旧志度町）や長尾地区（旧長尾町）に集積
- 旧寒川町や旧津田町などの市街地への集積
- 国道11号や県道10号（高松長尾大内線）沿線に分布

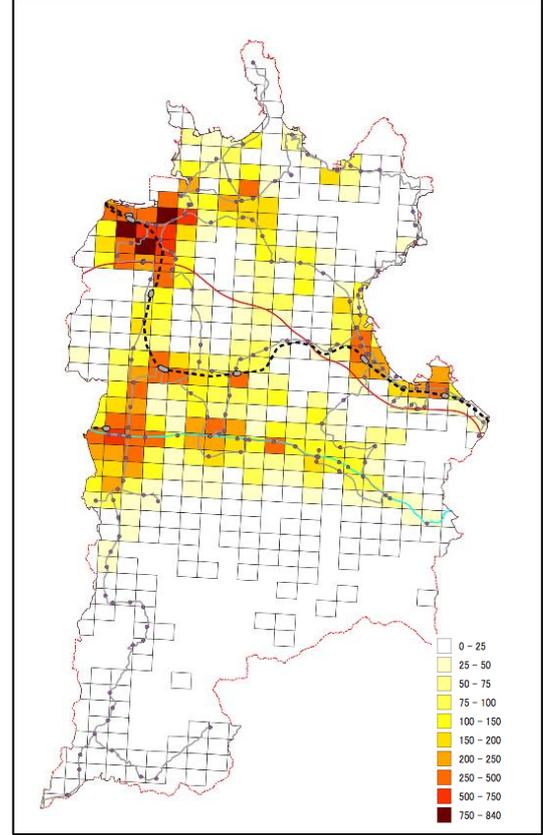
(4) 将来人口予測

- 2065年（令和47年）の人口は20,312人まで減少すると予測
- 集積の位置は大きくは変わらないものの、人口集積規模が縮小

■図 人口分布状況（単位人）

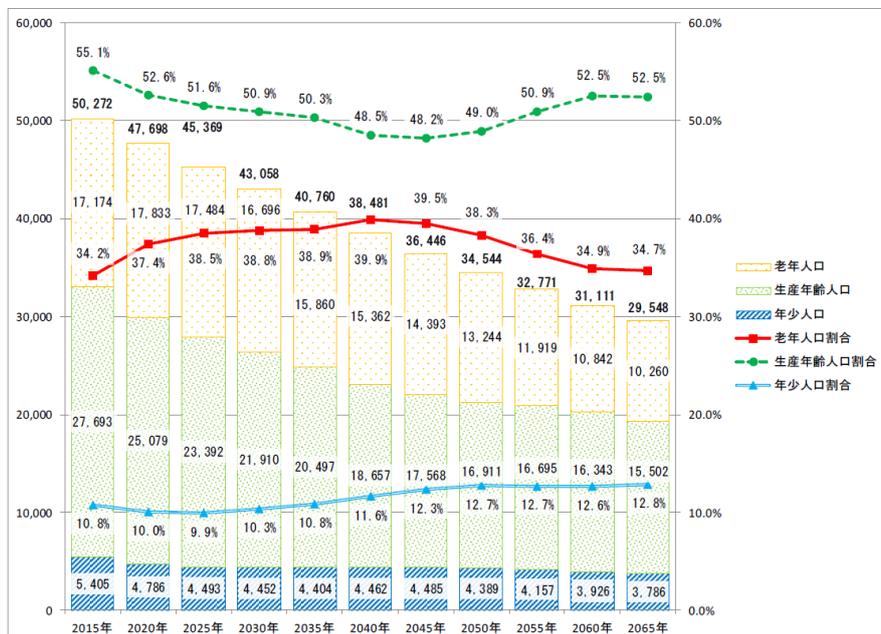


■図 将来推計人口分布状況（単位人）



資料：国土数値情報

■図 人口の将来展望（年齢3区分別人口及び割合）

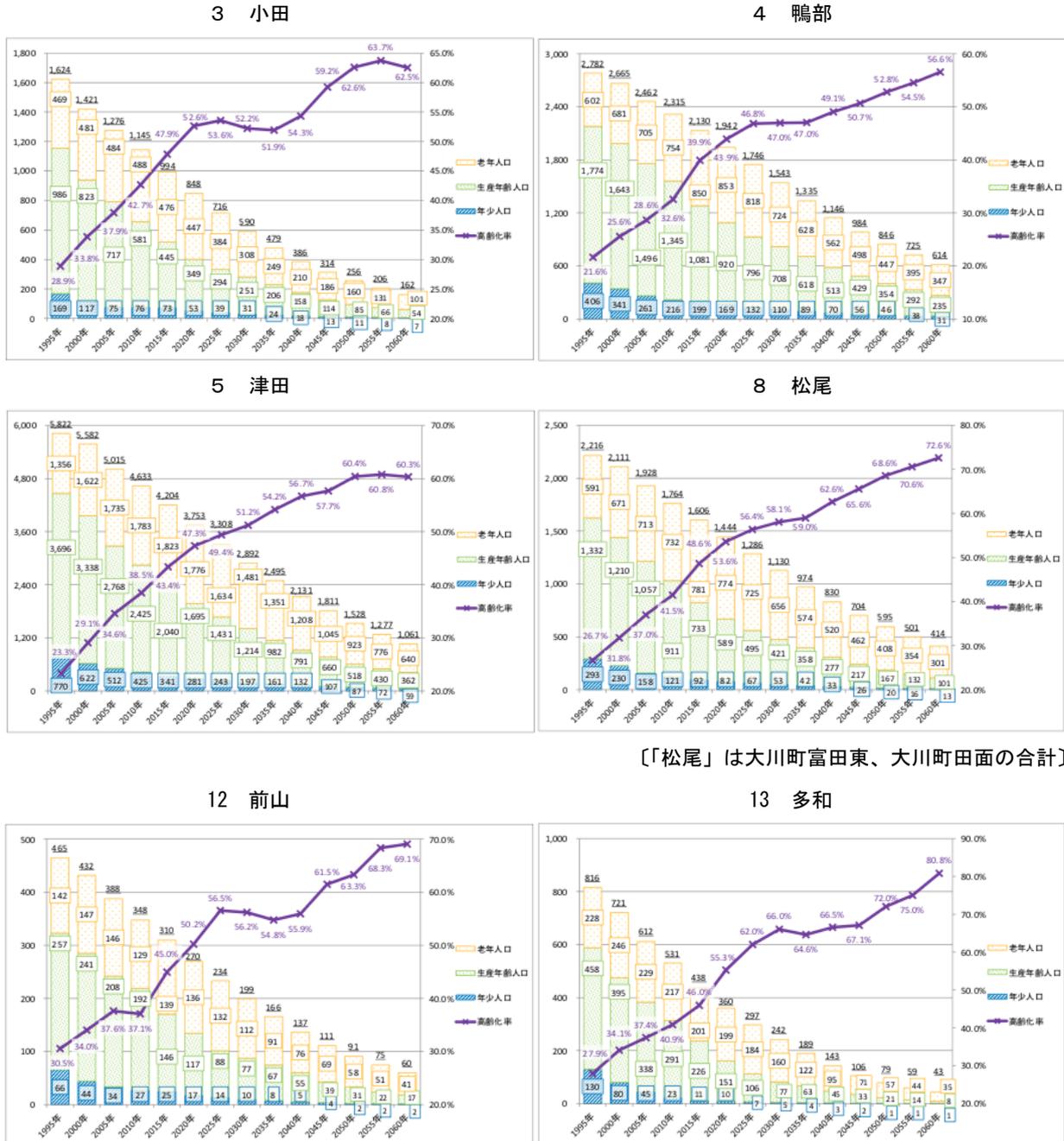


資料：さぬき市人口ビジョン（令和2年3月）

(5) 地区別の将来人口推計

- 2060年（令和42年）に高齢化率が50%を超える地区は小田・鴨部・津田・松尾・前山・多和
- 多和地区は80.8%、松尾地区は72.6%

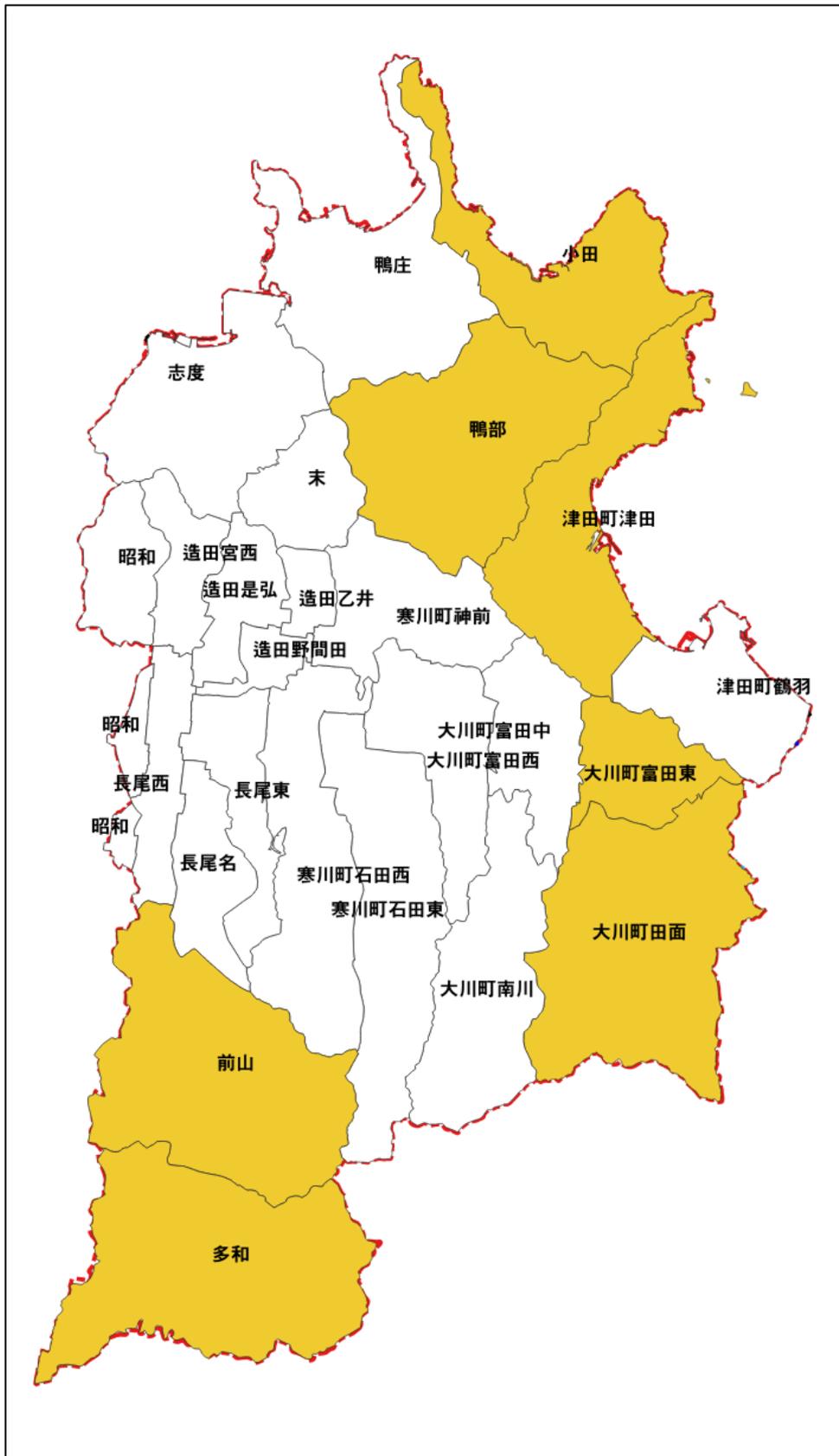
■図 地区別年齢3区分別地区別人口推移と将来人口推計（2060年（令和42年）に高齢化率が50%を超える地区）



〔「松尾」は大川町富田東、大川町田面の合計〕

資料：さぬき市人口ビジョン（平成27年10月）

■図 令和42年に高齢化率が50%を超える地区

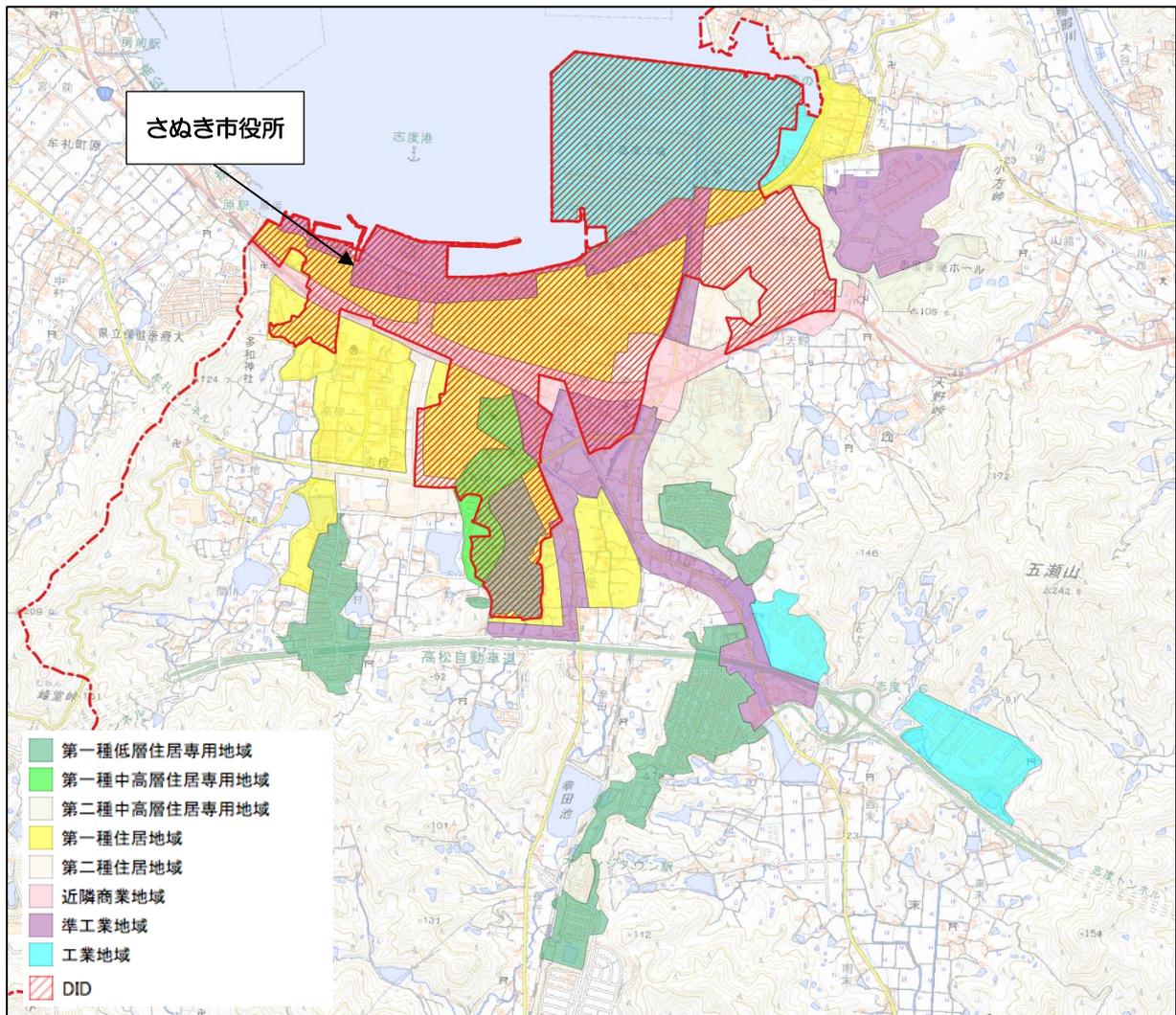


〔「松尾」は大川町富田東、大川町田面の合計〕

(6) 用途地域・人口集中地区 (DID 地区)

- 都市計画区域は、市の中央部の平野部に 7,181ha 指定、行政面積の約 45%を占める。
- 用途地域が志度に 475ha 指定
- 市役所周辺の中心市街地が DID 地区
- 平成 22 年で 6,621 人、平成 27 年では 6,044 人と、577 人減少

■ 図 DID 地区



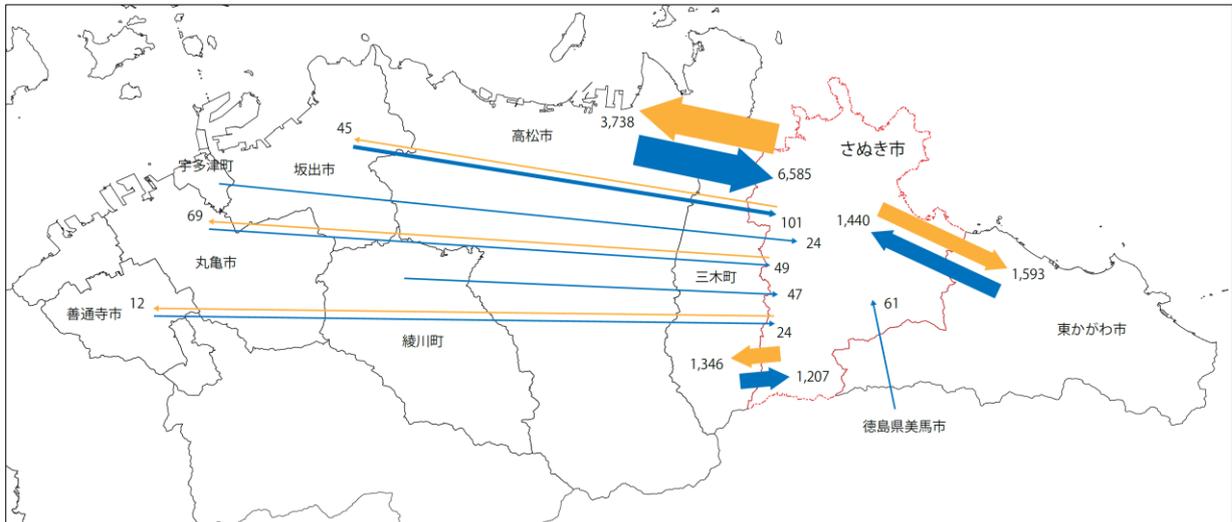
資料：国土数値情報

2-3 交通流動特性

(1) 通勤通学流動

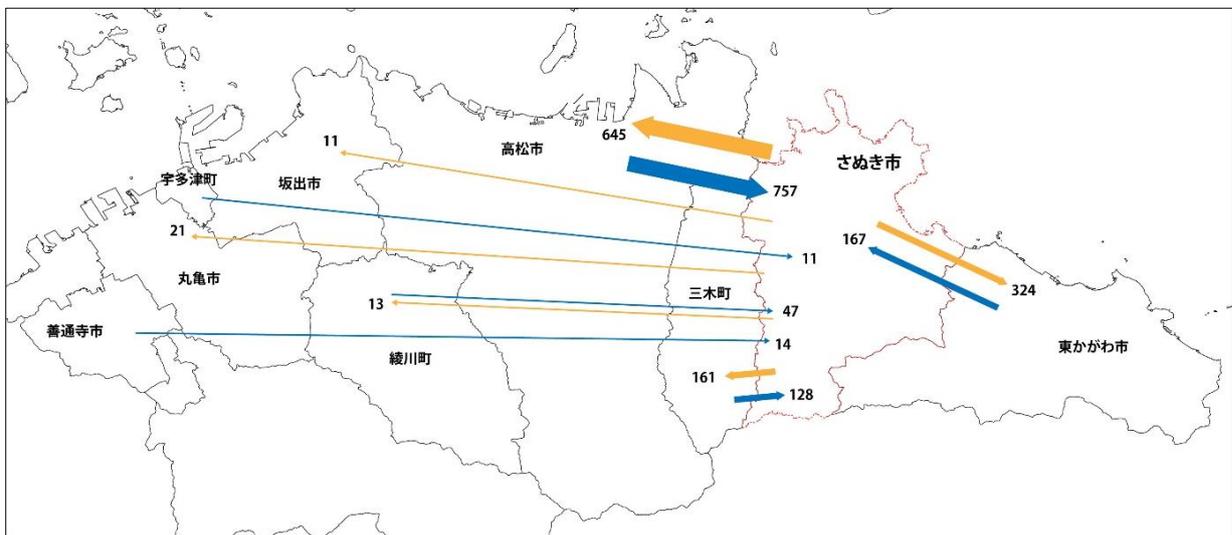
- ・ 流入・流出ともに高松市が最も多い（流出 4,383 人、流入 7,342 人）
- ・ 通勤では坂出市、徳島県美馬市等からの流入あり
- ・ 通学では綾川町等から流入あり

■ 図 流出・流入状況（通勤）



資料：平成 27 年度国勢調査

■ 図 流出・流入状況（通学）

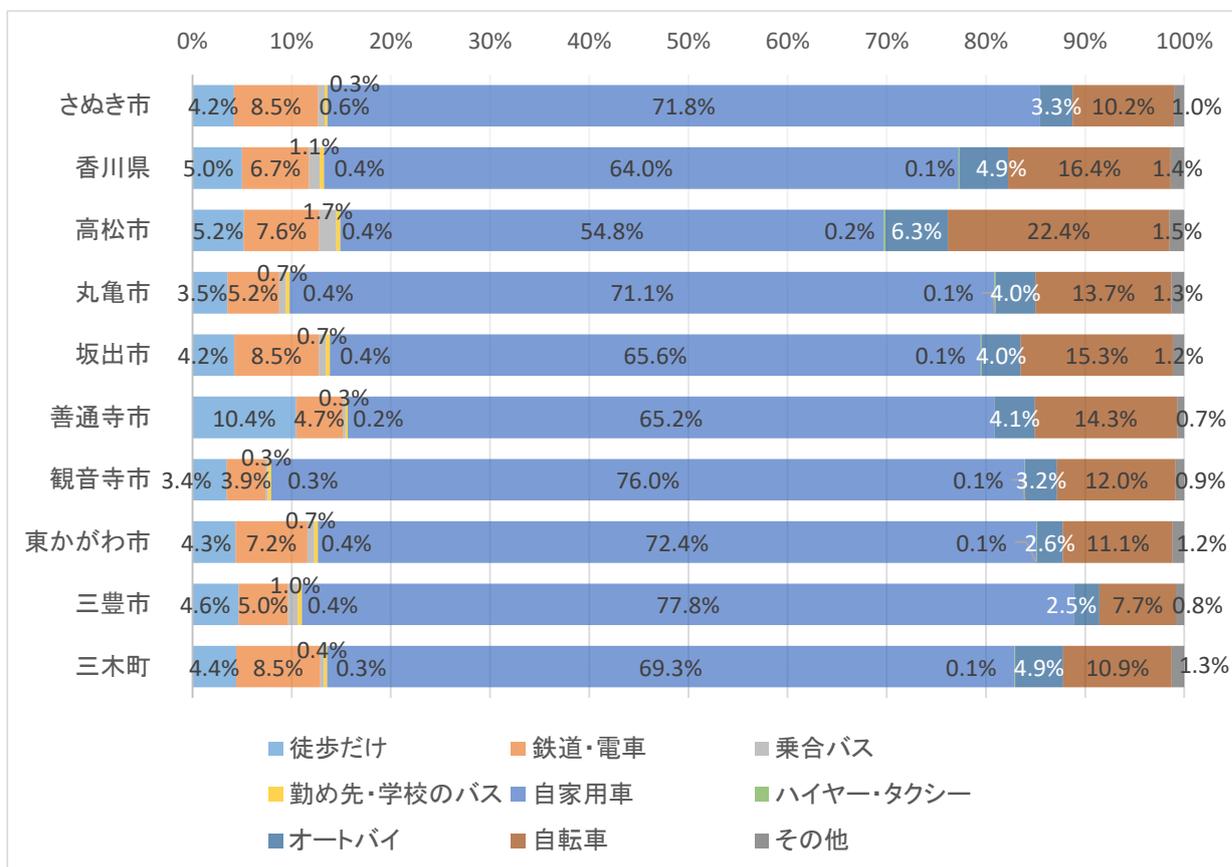


資料：平成 27 年度国勢調査

(2) 代表交通手段及び端末交通手段構成

- ・「自家用車」が最も多く、香川県では64.0%であるのに対し、さぬき市は71.8%
- ・その他の端末交通手段で他市町と比べて高いのは、「鉄道・電車」で8.5%
- ・「自転車」は県平均が16.4%であるのに対し、さぬき市では10.2%
- ・「乗合バス」は、県平均1.1%に対し0.6%

■図 利用交通手段（9区分）



資料：平成27年度国勢調査

(3) 自動車保有台数

- ・「乗用」の「軽四輪車」が最も多く15,092台、全体の36.3%を占める。
- ・「乗用」は、約31,000台で、全体の約75%を占める。

■表 自動車保有台数

計	貨物用				乗合用		乗用			特種 (特殊) 用車両	二輪車
	普通車	小型車	被牽引車	軽自動車	普通車	小型車	普通車	小型車	軽四輪車		
41,524	1,125	1,325	91	6,107	56	72	6,990	8,913	15,092	595	1,158

資料：香川県統計年鑑（令和元年）

2-4 都市基盤整備状況

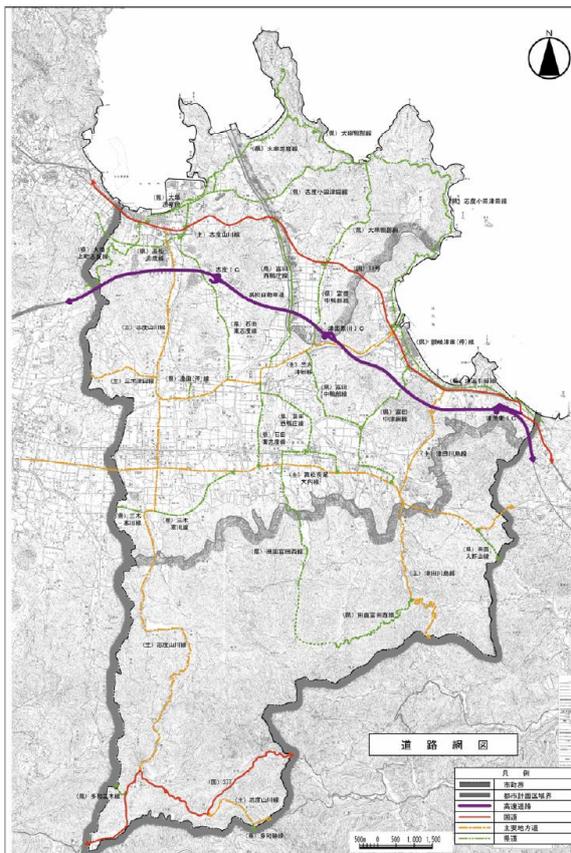
(1) 道路

- 東西方向に国道 11 号が走り、並行するように四国横断自動車道（自動車専用道路）が走る
- 県道は市域内 21 路線が走り、主要幹線とともに市の骨格道路網を形成

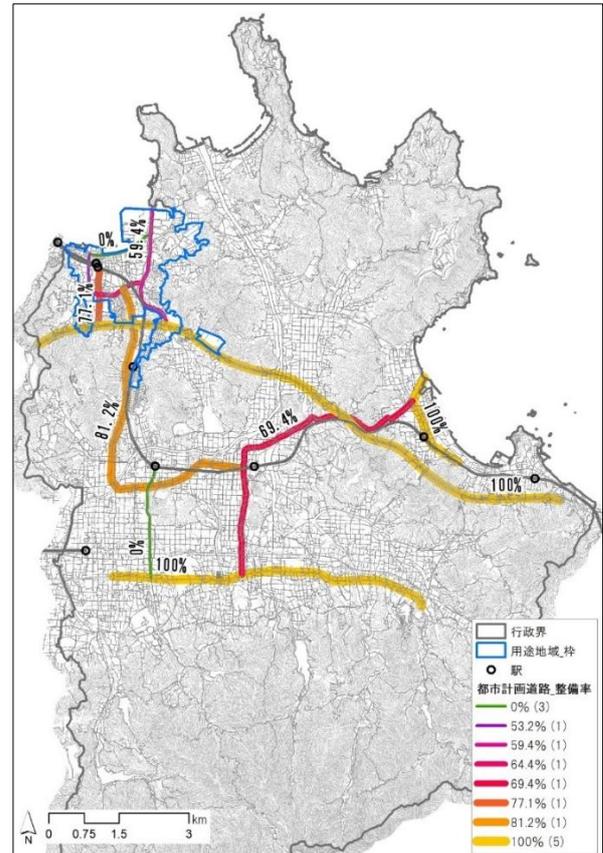
(2) 都市計画道路

- 津田、志度及び長尾の市街地部を中心として、整備が完了していない都市計画道路が 14 路線中 9 路線あり、そのうち 3 路線は、整備率が 0%
- 計画延長：45,600m、整備済延長：26,770m、整備率：58.71%

■図 道路網図



■図 都市計画道路位置図

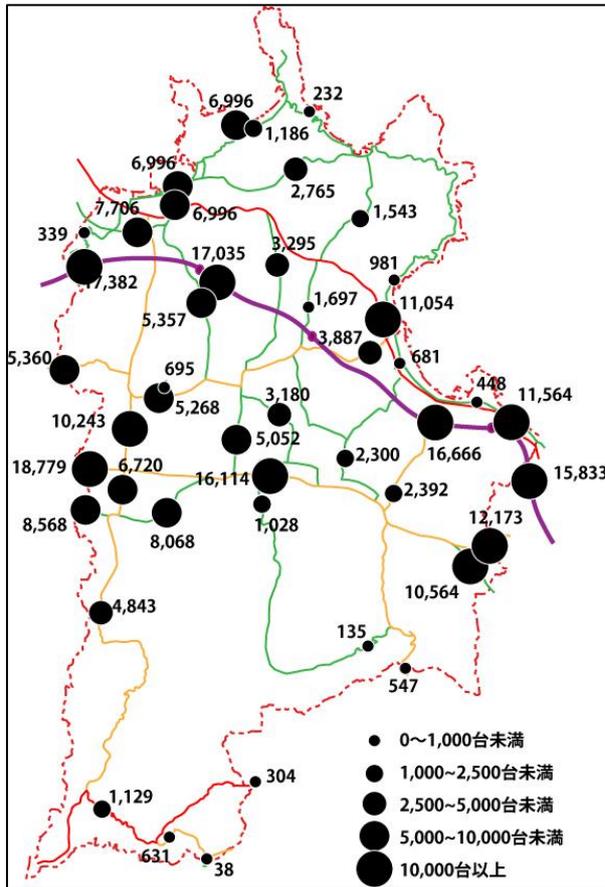


資料：第 2 次さぬき市都市計画マスタープラン

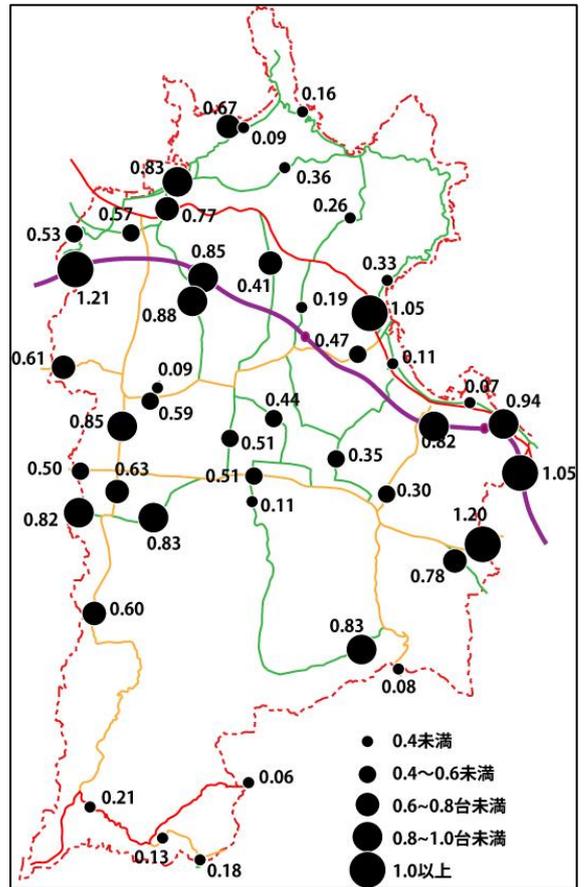
(3) 交通量・混雑状況

- ・国道 11 号及び主要地方道高松長尾大内線で 1 万台を超える
- ・主要地方道高松長尾大内線は、1 万～1 万 8 千台
- ・混雑度は、国道 11 号で 0.94～1.05 と高くなっている
- ・主要地方道高松長尾大内線、県道大串志度線の市街地部で 0.8 前後

■図 平成 27 年道路交通調査 (24h 交通量)



■図 平成 27 年道路交通調査 (24h 混雑度)



資料：香川県土木部道路課

2-5 施設立地・生活圏

(1) 学校・病院

- ・小学校：7校、中学校：3校、高等学校：4校、大学：1校
- ・公立病院：3病院（さぬき市民病院、津田診療所、多和診療所）

■図 学校及び病院の分布状況



(2) 商業施設・観光施設

- ・「マルナカ志度店」、「ムーミー志度店」、「きむら」、「コープ志度店」など、10店舗が立地
- ・大串や津田などに自然公園、海浜公園が位置
- ・3箇所の道の駅（津田の松原・みろく・ながお）が立地
- ・志度寺（86番札所）、長尾寺（87番札所）、大窪寺（88番結願札所）
- ・前山には「おへんろ交流サロン」があり、お遍路さんの交流、休憩の場となっている

■ 図 商業施設及び観光施設



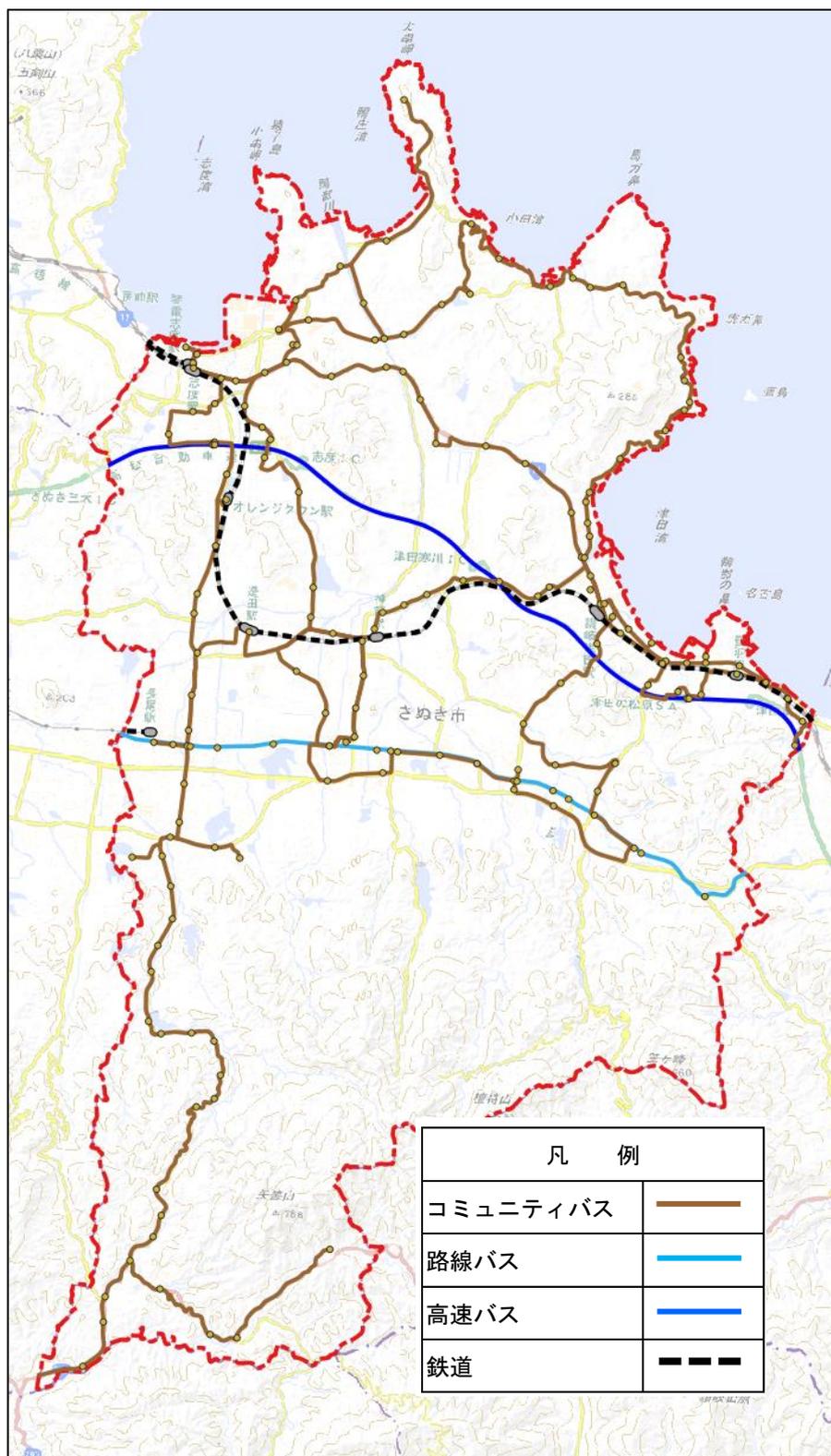
3. 市内公共交通機関等の現状・課題及び市民ニーズの把握等

3-1 市内公共交通機関の種類及び整備状況の把握・整理

(1) 市内公共交通機関

- ・コミュニティバス（5路線）、路線バス（1路線）、高速バス
- ・鉄道（JR高徳線、琴電志度線・長尾線）

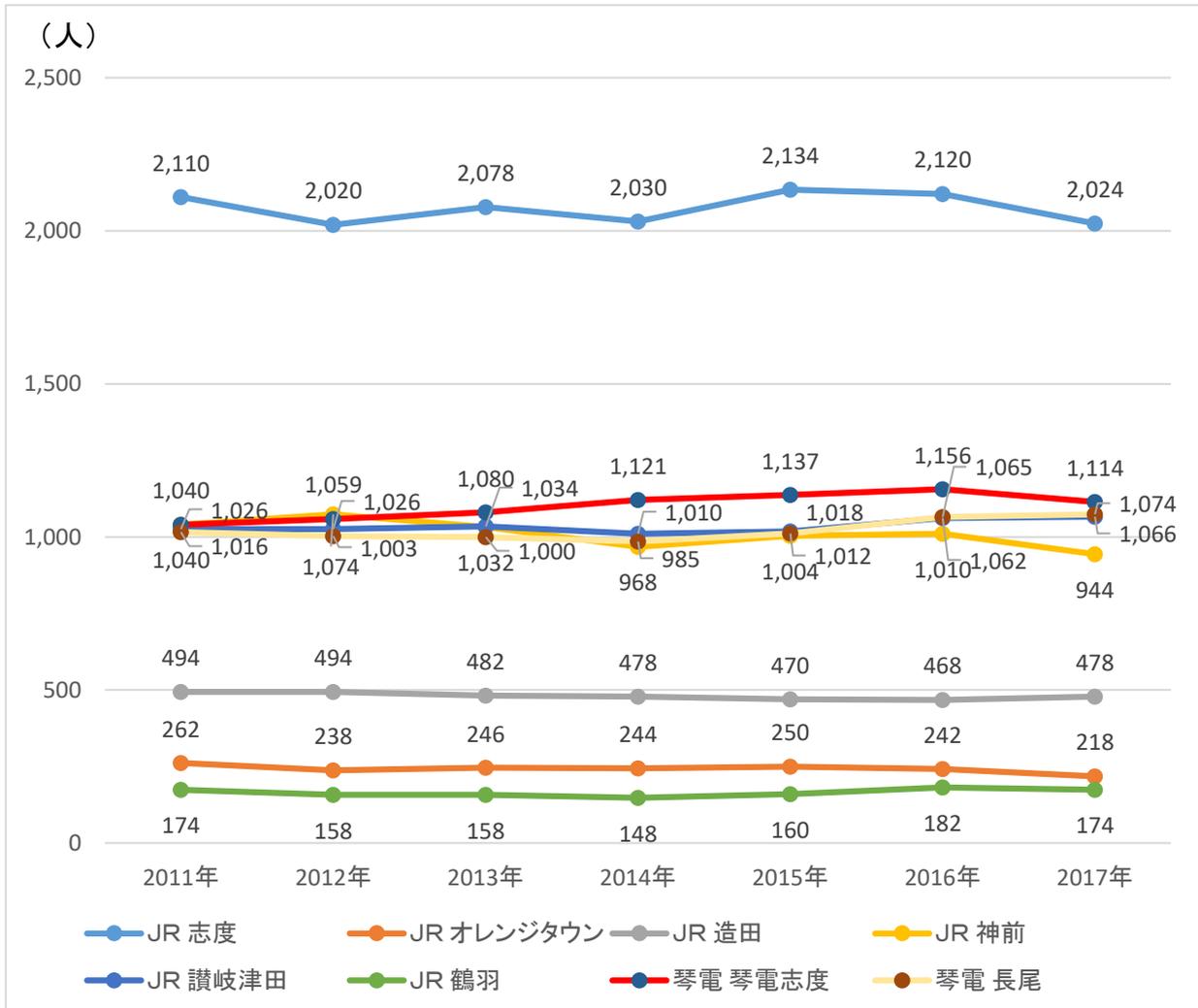
■図 さぬき市の公共交通



(2) 鉄道

- 最も乗降客数が多いのはJR志度駅 2,024人（平成29年）
- 次に琴電志度駅 1,114人
- 平成28年から、いずれも減少傾向

■図 市内鉄道駅の乗降客数の推移



資料：国土交通省国土数値情報

(3) バス

①コミュニティバス

ア. 概要

- ・コミュニティバス（5路線）
- ・「本市の公共交通機関として、高齢者、子ども、身体障害者等にも安全で利用しやすく、市民の多様なニーズにきめ細かに対応していくための地域密着型のバスシステム」
- ・「回数乗車券」：100円券 30枚綴り 2,000円
- ・「乗継乗車券」：目的地まで1乗車分の運賃で利用可（一般路線バスとの乗継は不可）

■表 バス路線別概要

路線名	ルート	運行日	本数
市内循環線	市役所と各旧支所を結ぶルート	平日のみ	6.0便
志度～多和線	四国 88 か所の志度寺・長尾寺・大窪寺を結ぶルート	平日・休日運行	4.0便
志度～小田線	志度・小田間を結ぶルート	平日のみ	5.5便
志度～寒川～津田線	志度・寒川・津田間を結ぶルート	平日のみ	6.0便
津田～小田（猪塚）線	津田・小田（猪塚）を結ぶルート	平日のみ	5.5便
鶴羽巡回線	鶴羽地区を巡回するルート		2.5便

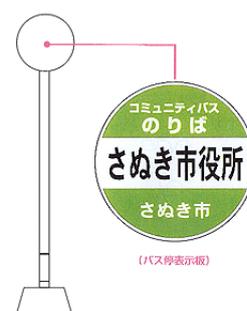
■運賃体系

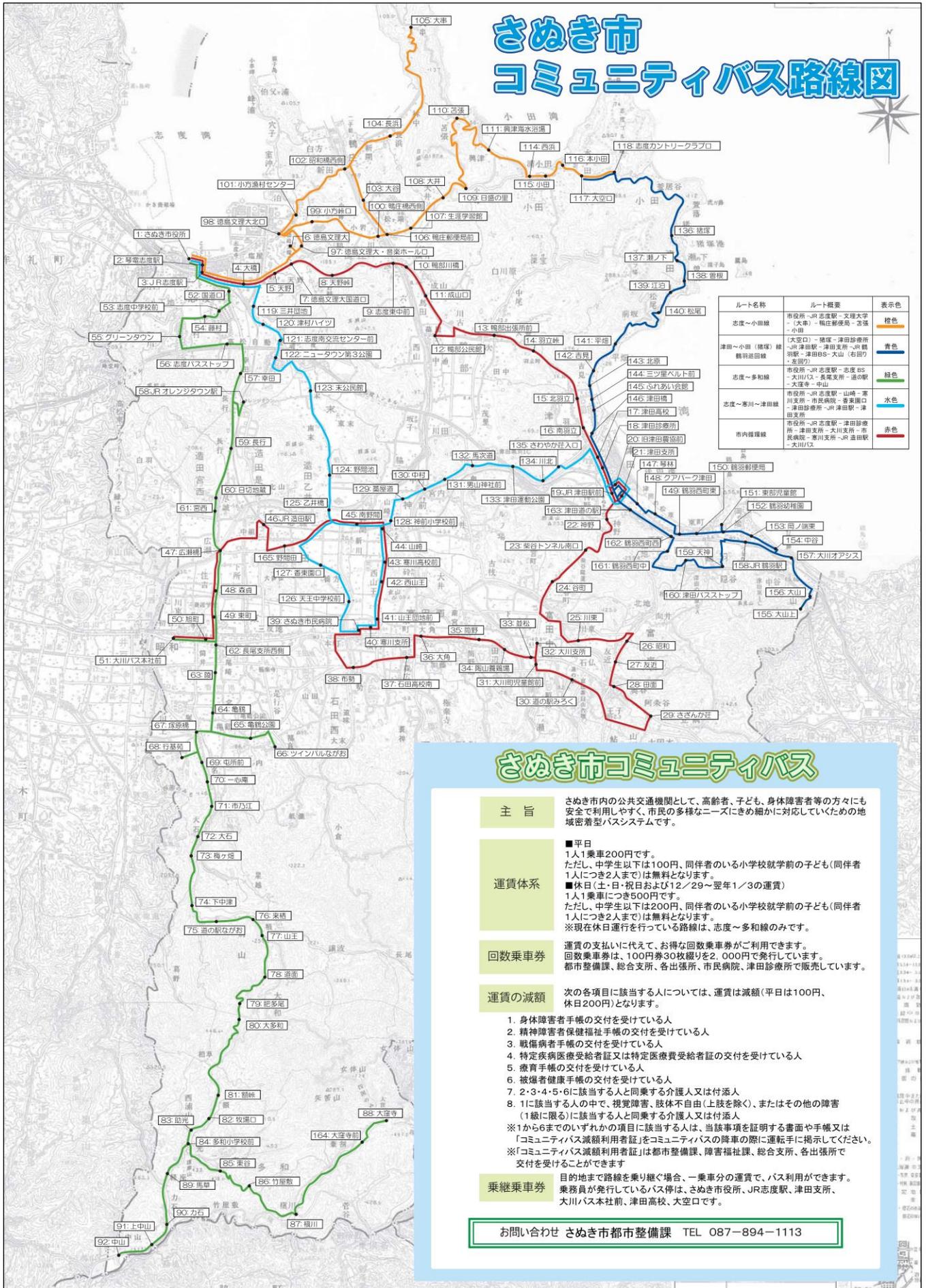
	一般	中学生以下	未就学児 (同伴者1人につき2人まで)
			無料
平日	200円	100円	無料
休日（志度～多和線のみ）	500円	200円	
減額及び対象者	平日：100円 休日：200円		
	身体障害者手帳・精神障害者手帳・戦傷病者手帳・特定医療費受給者証または特定疾患医療受給者証・療育手帳・被爆者健康手帳		
	※上記のいずれかの交付を受けている人及び介護人または付添人		
	※乗車の際、いずれかの証明する書面や手帳、または「コミュニティバス減額利用者証」を提示		

■これまでの経緯

2003（平成15）年	3月	試験運行（無料）
	4月	さぬき市コミュニティバスとして本格運行
3ルートを5台のバスで運行（乗車賃：100円）		
		徳島文理大学利用契約（200万円）
2004（平成16）年	4月	5ルートを6台のバスで運行（ルート・ダイヤ改正）
2006（平成18）年	4月	車両広告開始（初年度広告収入125万円）
2008（平成20）年	4月	運賃改定（100円 → 200円）
		徳島文理大学利用契約200万円 → 300万円
2009（平成21）年	10月	志度～多和線以外の土日祝運行廃止
2012（平成24）年	2月	ダイヤ改正（停留所削減・現在と同一）
		ジャンボタクシーに変更（津田～小田線鶴羽巡回線、志度～寒川～津田線、志度～小田線（1便）に導入）
	4月	運賃改定（休日200円 → 500円）

■バス停表示板





さめき市 コミュニティバス路線図

ルート名称	ルート概要	表示色
志度～小田線	市役所～JR志度駅～文理大学～(大津)～稲佐郵便局～吉塚～小田	橙色
津田～小田(緑塚)線	(大空口)～緑塚～津田診療所～JR津田駅～津田支所～JR鶴羽西回線～津田BS～大山(右回り)	青色
志度～多和線	市役所～JR志度駅～志度BS～大川バス～丸尾支所～道の駅～大津～中山	緑色
志度～栗川～津田線	市役所～JR志度駅～山崎～栗川支所～市民病院～吉東園口～津田診療所～JR津田駅～津田支所	水色
市内循環線	市役所～JR志度駅～津田診療所～津田支所～大川支所～市民病院～栗川支所～JR志度駅～大川バス	赤色

さめき市コミュニティバス

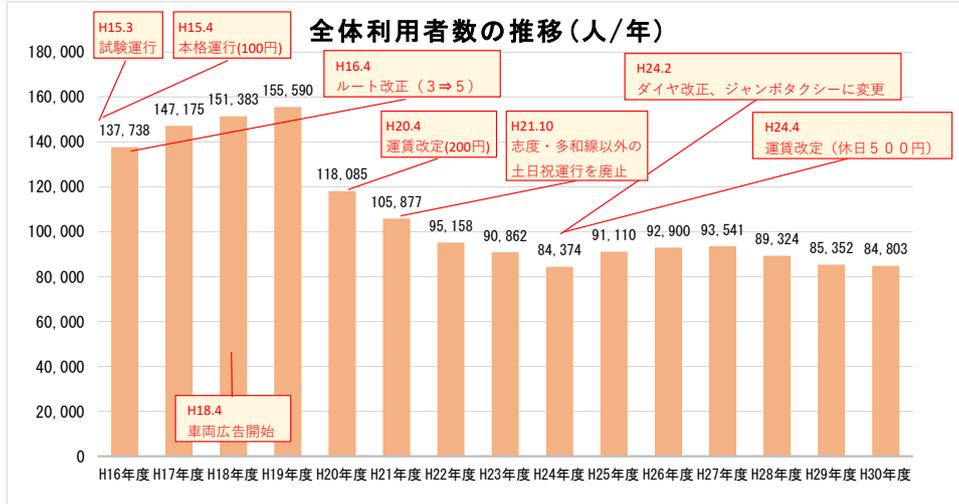
- 主旨** さめき市内の公共交通機関として、高齢者、子ども、身体障害者等の方々にも安全で利用しやすく、市民の多様なニーズにきめ細かに対応していくための地域密着型バスシステムです。
- 運賃体系** ■平日
1人1乗車200円です。
ただし、中学生以下は100円、同伴者のいる小学校就学前の子ども(同伴者1人につき2人まで)は無料となります。
■休日(土・日・祝日および12/29～翌年1/30の運賃)
1人1乗車につき500円です。
ただし、中学生以下は200円、同伴者のいる小学校就学前の子ども(同伴者1人につき2人まで)は無料となります。
※現在休日運行を行っている路線は、志度～多和線のみです。
- 回数乗車券** 運賃の支払いに代えて、お得な回数乗車券がご利用できます。
回数乗車券は、100円券30枚綴りを2,000円で発行しています。
都市整備課、総合支所、各出張所、市民病院、津田診療所で販売しています。
- 運賃の減額** 次の各項目に該当する人については、運賃は減額(平日は100円、休日200円)となります。
1. 身体障害者手帳の交付を受けている人
 2. 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人
 3. 戦傷病者手帳の交付を受けている人
 4. 特定疾病医療受給者証又は特定医療費受給者証の交付を受けている人
 5. 療育手帳の交付を受けている人
 6. 被爆者健康手帳の交付を受けている人
 7. 2・3・4・5・6に該当する人と同乗する介護人又は付添人
 8. 1に該当する人の中で、視覚障害、肢体不自由(上肢を除く)、またはその他の障害(1級に限る)に該当する人と同乗する介護人又は付添人
- ※1から6までのいずれかの項目に該当する人は、当該事項を証明する書面や手帳又は「コミュニティバス減額利用者証」をコミュニティバスの降車の際に運転手に提示してください。
※「コミュニティバス減額利用者証」は都市整備課、障害福祉課、総合支所、各出張所で交付を受けることができます。
- 乗継乗車券** 目的地まで路線を乗り継ぐ場合、一乗車の運賃で、バス利用ができます。乗務員が発行しているバス停は、さめき市役所、JR志度駅、津田支所、大川バス本社前、津田高校、大空口です。

お問い合わせ さめき市都市整備課 TEL 087-894-1113

イ. 利用者数

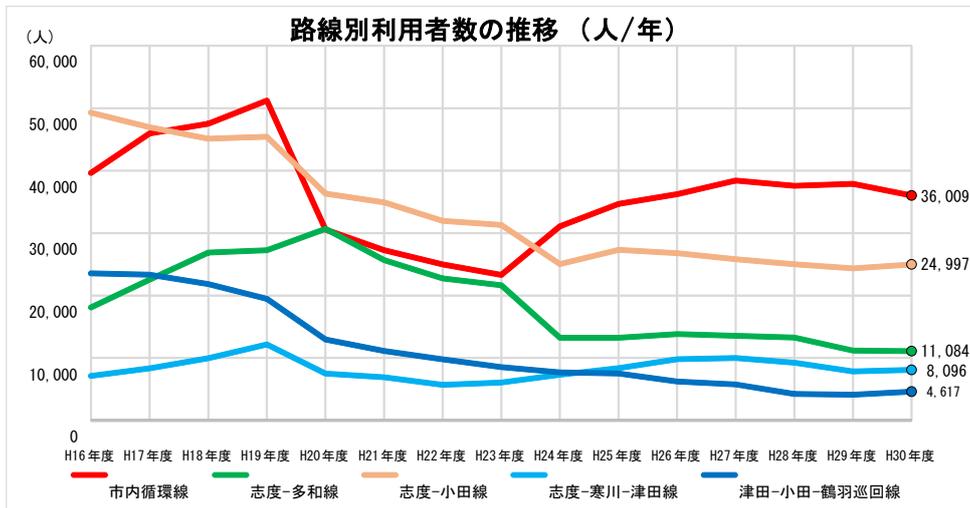
- 平成 15 年度本格運行開始後、平成 19 年度までは増加
- 平成 20 年度に運賃を 200 円に改正したところ約 38,000 人減少
- 平成 22 年度には 10 万人を割り込み、平成 30 年度までは 9 万人前後

■ 図 全体利用者数の推移



- 利用者数が最も多い路線は「市内循環線」で 36,009 人
- 次いで「志度～小田線」24,997 人
- 平成 20 年度に急激な落ち込みがあるものの、近年では横ばい

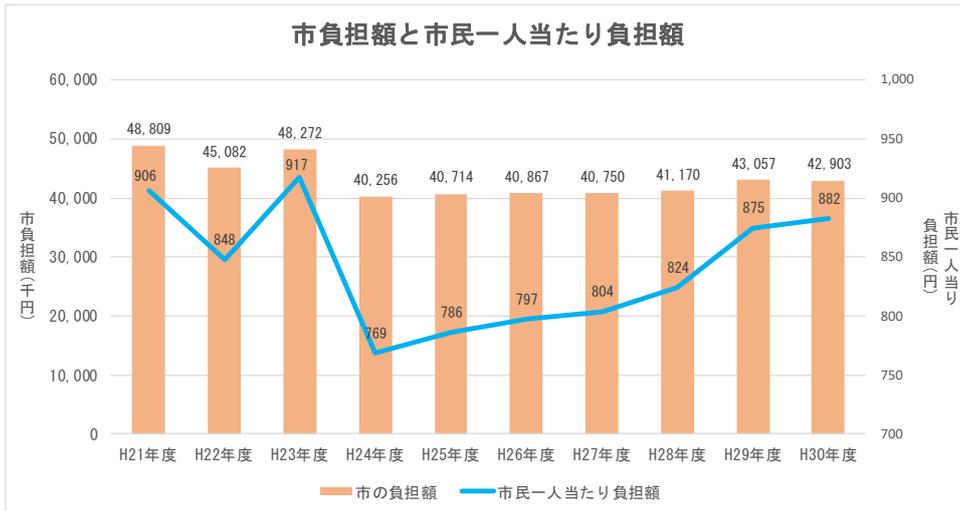
■ 図 路線別利用者数の推移



■ 平成 30 年度路線別乗車人数

路線	乗車人数 (人)
市内循環線	36,009
志度～多和線	11,084
志度～小田線	24,997
志度～寒川～津田線	8,096
津田～小田～鶴羽巡回線	4,617
合計	84,803

■図 市負担額と市民1人当たりの負担額の推移



■表 運行状況報告 (平成28年度下半期～平成29年度上半期)

(平成28年度下半期+平成29年度上半期)

回数乗車券売上	3,580,000円				
運行日数	平日 246日	休日 118日			
路線名	総利用者数 (人)	1日平均 (人)	運賃収入 (円)	回数乗車券 (枚)	運賃減額者 (人)
市内循環線1 (平日)	20,480	56.26	1,121,400	10,236	1,798
(休日)	1,532	4.21	609,400	532	239
市内循環線1 (計)	22,012	60.47	1,730,800	10,664	2,037
市内循環線2 (計)	16,064	44.13	532,200	9,028	1,481
市内循環線 (計)	38,076	104.60	2,263,000	19,692	3,518
志度～多和線(平日)	9,828	27.00	817,500	7,035	3,383
(休日)	2,458	6.75	884,400	2,269	450
志度多和線 (計)	12,286	33.75	1,701,900	9,408	3,833
志度小田線 (計)	24,636	67.68	583,600	8,853	927
志度寒川津田線1	5,231	14.37	421,340	4,882	1,248
志度寒川津田線2	3,600	9.89	241,160	3,682	888
志度寒川津田線 (計)	8,831	35.90	662,500	8,564	2,136
津田小田鶴羽巡回線 (計)	4,160	11.43	184,661	5,144	1,195
合計 A	87,989	253.37	5,395,661	51,661	11,609
うち平日分合計	83,999	341.46	3,901,861	48,860	10,920
うち休日分合計	3,990	33.81	1,493,800	2,801	689

②路線バス・高速バス

- 一般路線バス：「引田線」（高松駅～引田）（大川自動車（株）が運行）
- 高速バスは、四国高速バス（株）、神姫バス（株）など、8事業者・11路線が運行

		行 先	便数
平日	上り	高松方面行き	19
	下り	引田方面行き	13
		さざんか荘行き	3
		三本松行き	2
休日	上り	高松方面行き	8
		長尾行き	1
	下り	引田方面行き	9

■一般路線バス・高速バス路線図



■表 高速バス系統及び本数

路線	系統	本数（（ ）は土日）
高松エクスプレス大阪号	大阪駅JR高速バスターミナル方面	25
高松エクスプレス神戸号	三宮バスターミナル方面	19 (20)
高松エクスプレス京都号	京都駅（烏丸口）方面	6 (7)
ドリーム高松号	東京駅（日本橋口）方面	1
さぬきエクスプレス大阪号	大阪梅田（阪急三番街）方面	16
フットバス神戸号	三宮バスターミナル方面	8
さぬきエクスプレス名古屋号	名鉄バスセンター方面	1
八王子・新宿・横浜—高松・丸亀	バスタ新宿/京王八王子駅	1（平日/土曜のみ）
岡山—徳島	岡山駅（西口）	3
フットバス大阪号	大阪駅/湊町バスターミナル	15
高松—関西空港	関西空港	6

③タクシー

<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーは、5事業者が運行 ・各社、ドライバーの高齢化や人手不足が問題化
--

■表 さぬき市のタクシー事業者の概要

	車両の保有台数				社員数			平均年齢
	大型	中型	小型	エビ-カ デザイン車両	運転手	事務	整備	
大川タクシー	2	4	2	0	6	2	0	64
マルセンタクシー	1	9	5	1	15	5	0	59
おおかわ交通	1	4	0	0	3	1	1	73
三協タクシー	1	6	0	0	6	1	1	70
いろはタクシー	1	8	1	0	7	3	1	65

	本社・営業所住所
大川タクシー	さぬき市大川町富田西 3024 番地
マルセンタクシー	さぬき市志度 495 番地 5
おおかわ交通	さぬき市津田町津田 919 番地 2
三協タクシー	さぬき市長尾東 872 番地
いろはタクシー	さぬき市長尾西 1053 番地 2

	営業日	営業時間	道路運送法営業許可 保有免許の種類
大川タクシー	年中無休	7:00~24:00	一般乗用旅客自動車運送事業 一般乗合旅客自動車運送事業
マルセンタクシー	年中無休	24 時間	一般乗用旅客自動車運送事業 一般貸切旅客自動車運送事業 一般乗合旅客自動車運送事業
おおかわ交通	年中無休	日~木曜日（7~22 時） 金・土曜日（7~24 時）	一般乗用旅客自動車運送事業 一般乗合旅客自動車運送事業
三協タクシー	年中無休	7:00~24:00 （24:00~7:00 は予約のみ）	一般乗用旅客自動車運送事業 一般乗合旅客自動車運送事業
いろはタクシー	年中無休	7:00~24:00	一般乗用旅客自動車運送事業 一般乗合旅客自動車運送事業

④高齢者・障害者・妊婦の方に対するタクシー助成制度

・高齢者および障害者の方の外出支援と経済的負担の軽減のため、タクシーを利用した場合のタクシー料金の一部を助成

対象者	主な条件等	助成内容
高齢者	・満 80 歳以上の方	・1 枚あたり、500 円の助成券 16 枚を交付 (8,000 円分)
	・要介護、要支援の認定をお持ちの方	
	・市民税非課税世帯に属している方	
	・在宅の方	
障害者	・身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳の 1 級又は療育手帳のマル A の手帳をお持ちの方	
	・市民税非課税世帯に属している方	
	・自動車税及び軽自動車税の減免を受けていない方	

⑤妊婦の外出と地域公共交通を支える運賃助成事業

・生活支援対策として、1 回の妊娠につき 3 万円分の運賃助成券を交付、市内事業者が運行する乗合バス・コミュニティバス・タクシーの運賃支払い時に使用可能
(令和 5 年 3 月 31 日まで交付、交付年度の翌年度末まで使用可能)

⑥スクールバス

・本市では、学校再編に伴い通学距離が集合場所から 2.5 km 以上となる児童については通学支援 (スクールバス) (中学生は 6 km) を実施

・寒川高等学校では、下図の通り、3 ルートのスクールバスが 1 日 1 便運行 (令和 2 年度には 4 ルート)

・コミュニティバスを利用した徳島文理大学のスクール対応バスが運行 (学生証提示で無料)

志度駅→徳島文理大学香川キャンパス：12 便
 さぬき市内 (長尾→徳島文理大学香川キャンパス)：3 便
 徳島文理大学香川キャンパス→志度駅：12 便
 さぬき市内 (徳島文理大学香川キャンパス→長尾)：4 便

■ 図 寒川高等学校スクールバス路線図



3-2 その他施策等

(1) さぬき市高齢者運転免許証自主返納等支援事業

- ・運転免許証を自主返納した65歳以上を対象に支援事業を実施
- ・平成30年度より、「高齢者運転免許卒業カード」の交付を受けた方にも、さぬき市共通商品券やコミュニティバス回数乗車券を交付

■支援を受けられる方

○運転免許を返納された方

- ①申請日から過去1年以内に所有しているすべての運転免許を返納した方
- ②免許の返納の日において65歳以上の方
- ③免許の返納・申請・商品券等の受理日の期間においてさぬき市に住民登録のある方

○高齢者運転免許卒業カードの交付を受けられた方

- ①申請日から過去1年以内に高齢者運転免許卒業カードの交付を受けた方
- ②卒業カードの交付・申請・商品券等の受理日の期間においてさぬき市に住民登録のある方

■支援の内容

- ・さぬき市共通商品券
- ・さぬき市コミュニティバス回数乗車券
- 運転免許を返納された方・・・・・・・・・・申請者の希望に応じて1万円分
- 高齢者運転免許卒業カードの交付を受けられた方・・申請者の希望に応じて6千円分

(2) さんさん在宅支援サービス事業（社会福祉協議会）

- ・平成14年より住民参加型在宅支援サービス開始
- ・「協力会員」が有償で「利用会員」の生活の自立を支援する事業
- ・「協力会員」、「利用会員」に登録
- ・社会福祉協議会がコーディネートを行い、助け・助けられる関係づくりを行う。
- ・協力会員の車に利用者は同乗できない。（買物や病院等の介助）

■サービス内容

- ・身の周りの世話、外出時の援助（通院・買物など）、家事等の援助（調理・洗濯・買物・掃除・整理整頓・ゴミ出しなど）、代筆、朗読、話し相手、安否確認など

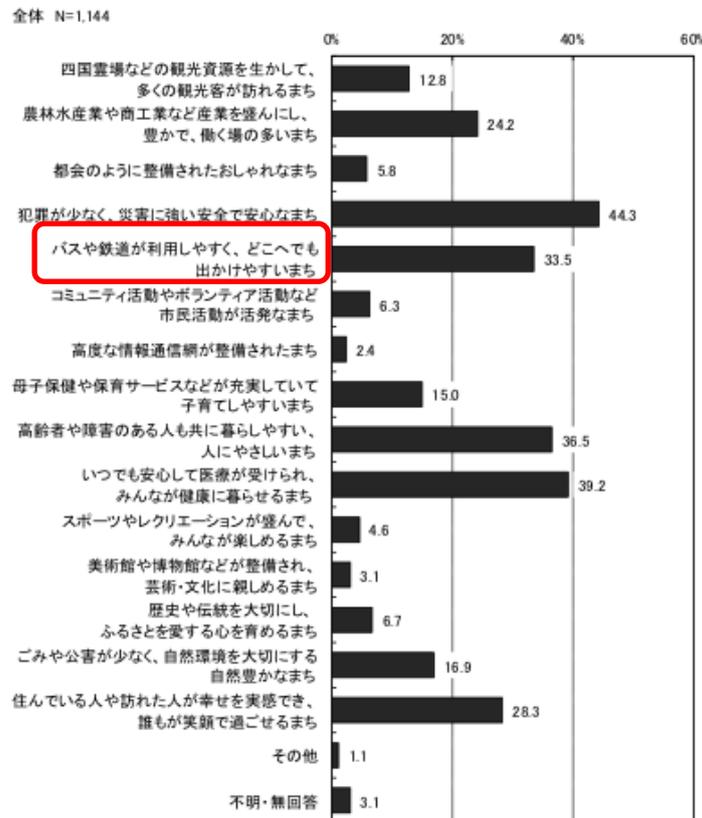
■利用料金

- ・午前8時～午後6時：700円/時間、30分毎350円
- ・午後6時以降～午後8時まで：875円/時間、30分毎450円

3-3 さぬき市総合計画のための市民アンケート調査結果概要（平成30年7月）

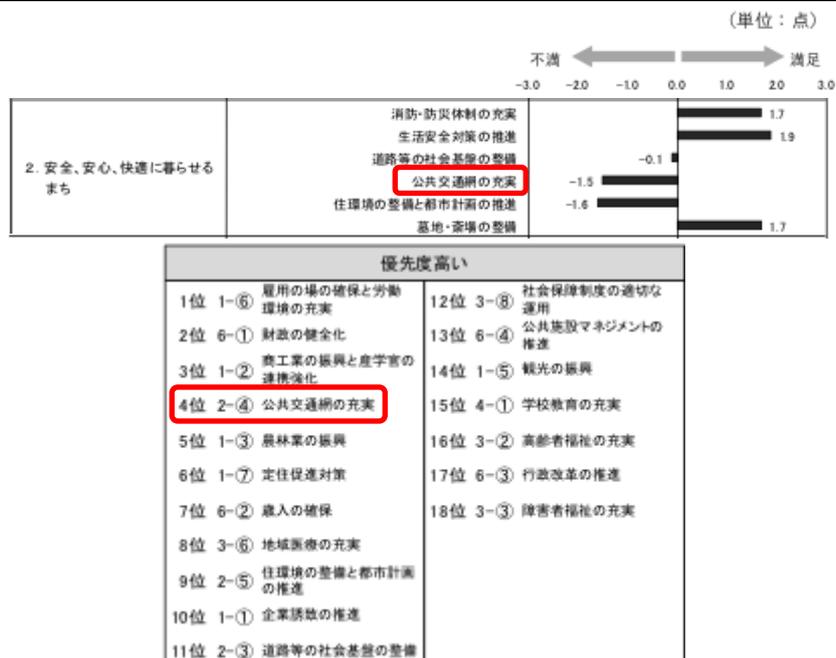
■今後のまちづくりの希望

- ・今後のさぬき市について、「バスや鉄道が利用しやすく、どこへでも出かけやすいまち」が33.5%（第4位）



■まちづくりの状況に関する満足度

- ・「公共交通網の充実」が-1.5点（満足度が低い）
- ・満足度と重要度から見た「優先度」について、「公共交通の充実」はワースト第4位



3-4 市民ニーズ調査

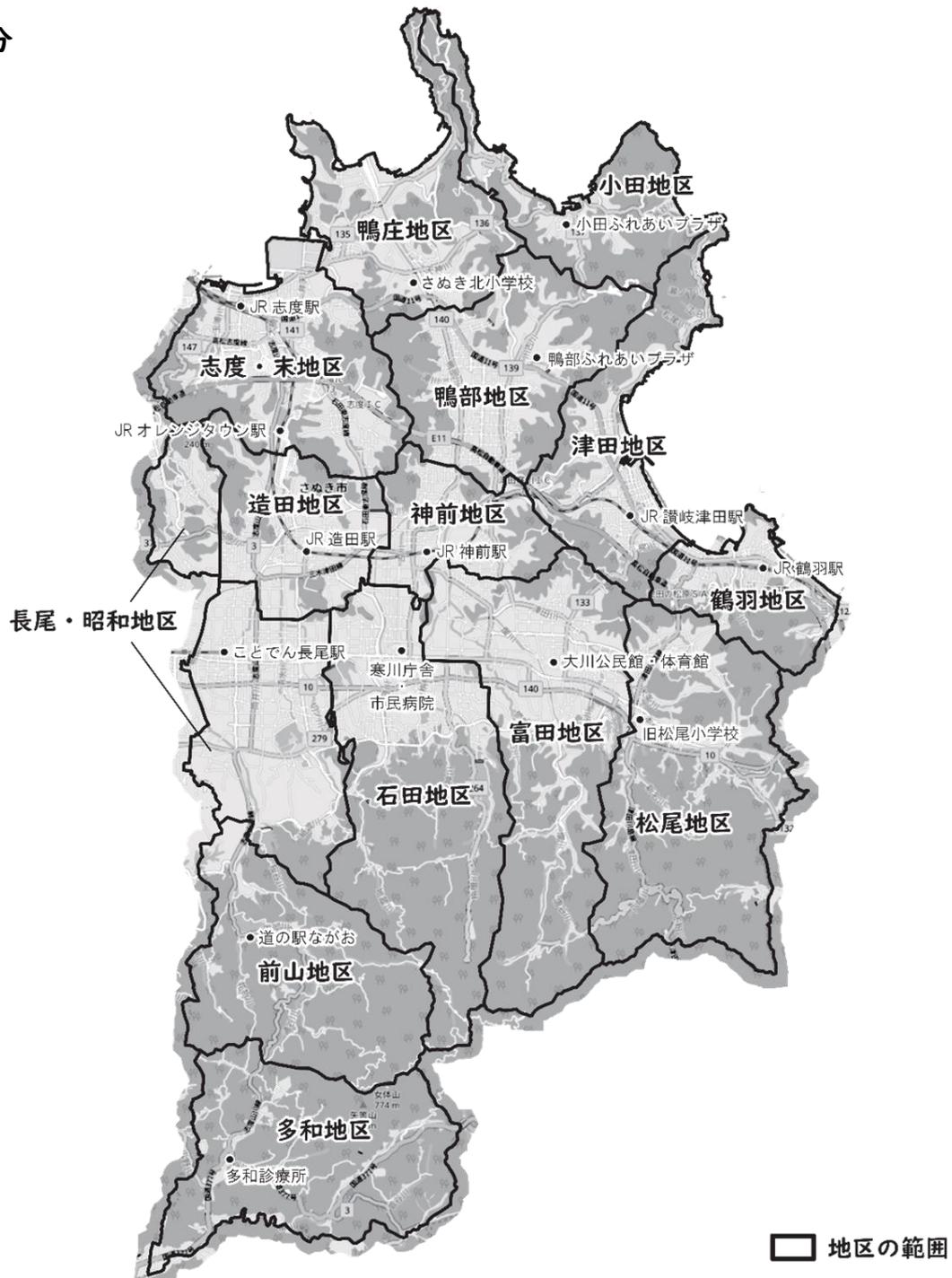
■令和元年度実施調査概要

番号	実施調査	調査方法・進捗状況
(1)	市民アンケート調査	実施日：8/26～9/2 (N=1177) <ul style="list-style-type: none"> ・18歳以上の市民3,000人を対象・郵送配布・郵送回収（料金受取人払） ・第2次さぬき市都市計画マスタープラン、立地適正化計画と同じ調査票、スケジュールで実施
(2)	コミュニティバス利用実態調査	実施日：10/23 (N=389) <ul style="list-style-type: none"> ・調査員がバス車両に乗車し直接ヒアリング、OD調査（始発～終発） ・ビンゴ形式調査票、全5路線（調査員がOD記入）
(3)	市民ニーズ調査（市民会議）	実施日：9/16, 10/5, 10/26 <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり市民会議により実施（第2次さぬき市都市計画マスタープラン・立地適正化計画と合同実施） ・ワークショップ形式
(4)	高校生アンケート調査	実施日：9/2, 9/11 (N=565) <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会を通じ学校に協力依頼し、配布・回収 ・市内公立4校の1年生全クラス（津田高校、志度高校、石田高校、寒川高校）
(5)	施設・来街者調査	実施日：10/29 (N=304) <ul style="list-style-type: none"> ・調査員による直接ヒアリング（約500票） ・市民病院、志度寺、長尾寺、大窪寺において平日1日実施
(6)	デマンド交通ニーズ調査	実施日：10/16～11/11 <ul style="list-style-type: none"> ・9/8 実験運行対象地区意見交換会 ・実験運行後、登録者アンケートを実施（N=65）
(7)	交通事業者ヒアリング調査	実施日：9/9 <ul style="list-style-type: none"> ・事前に調査票を送付し、郵送回収（後日必要に応じてヒアリング） ・市内交通事業者：大川自動車、いろはタクシー、おおかわ交通、大川タクシー、三協タクシー、マルセンタクシー
(8)	いきいきネット連絡協議会によるアンケート調査	実施日：12/19～12/27 (N=13) <ul style="list-style-type: none"> ・協議会員にアンケートを配布し、後日回収

(1) 市民アンケート調査

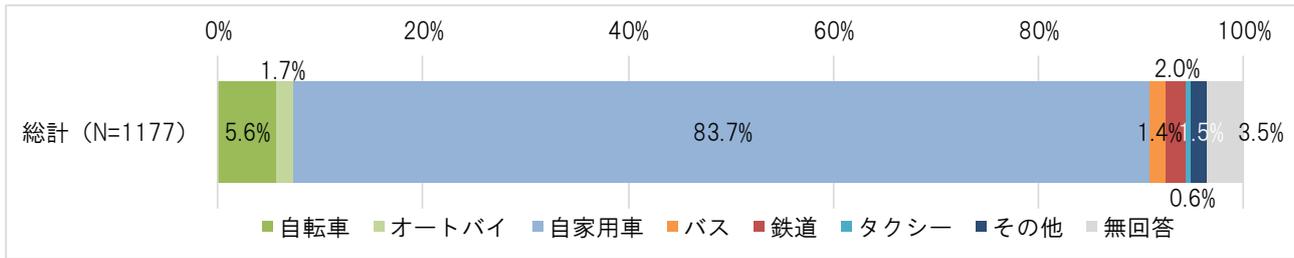
- 日常的な交通手段について自家用車 83.7%、公共交通利用（バス+鉄道）3.4%であり、買い物・通院目的でも公共交通の利用率は非常に乏しく、自動車への依存がうかがえる。
- コミュニティバスの満足度として、「運行本数」「運行時間帯」「待合空間の快適さ」の満足度が比較的高い数値を示しており、「運賃」「運行時刻の正確さ」は不満傾向である。
- 津田地区・鶴羽地区・小田地区について「バス停や駅まで歩き、路線バスや鉄道を利用することはできるが、便数、運賃等で困ることがある」と選択した方が約10%と比較的多い。また、「自力での外出が困難であり、困っている」を選択した方は、多和地区で5.3%と多くみられる。
- 公共交通を利用する条件として全体的に「自動車運転免許証を返納したら」が31.4%と多くを占めている。地区別の特徴としては、鴨庄地区・石田地区・松尾地区で「デマンド交通が運行されたら」が比較的多くみられた。

●地区区分

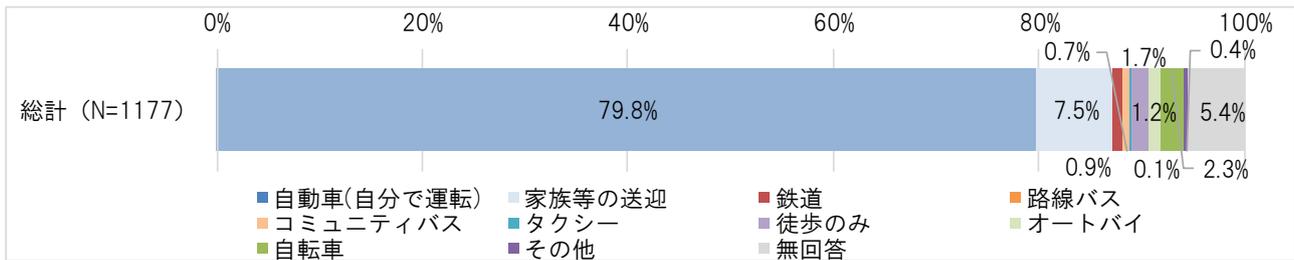


①要点項目抜粋

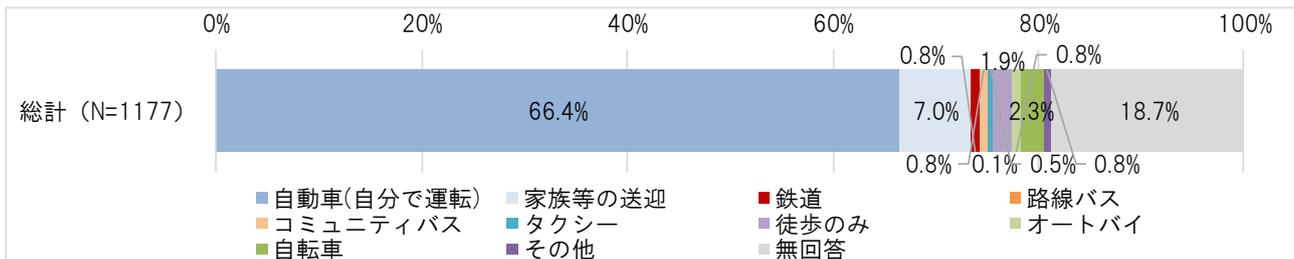
Q. 日常の交通手段（特によく使用する交通（徒歩以外））



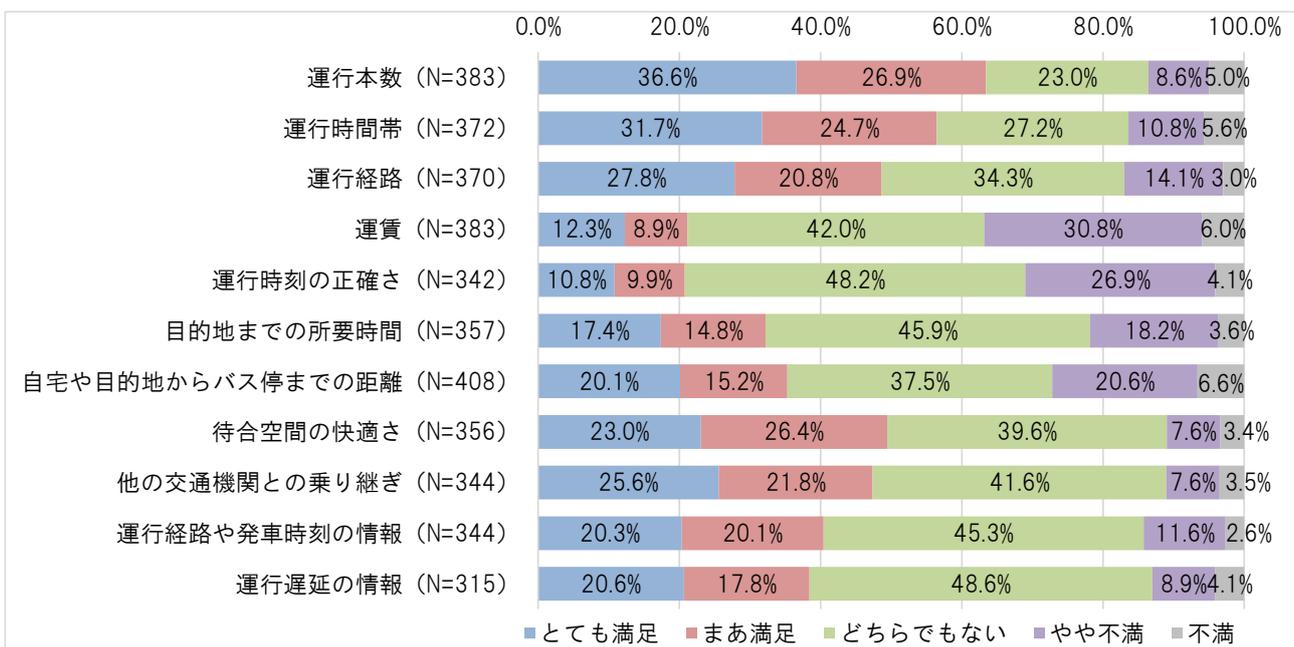
Q. 買い物時の交通手段



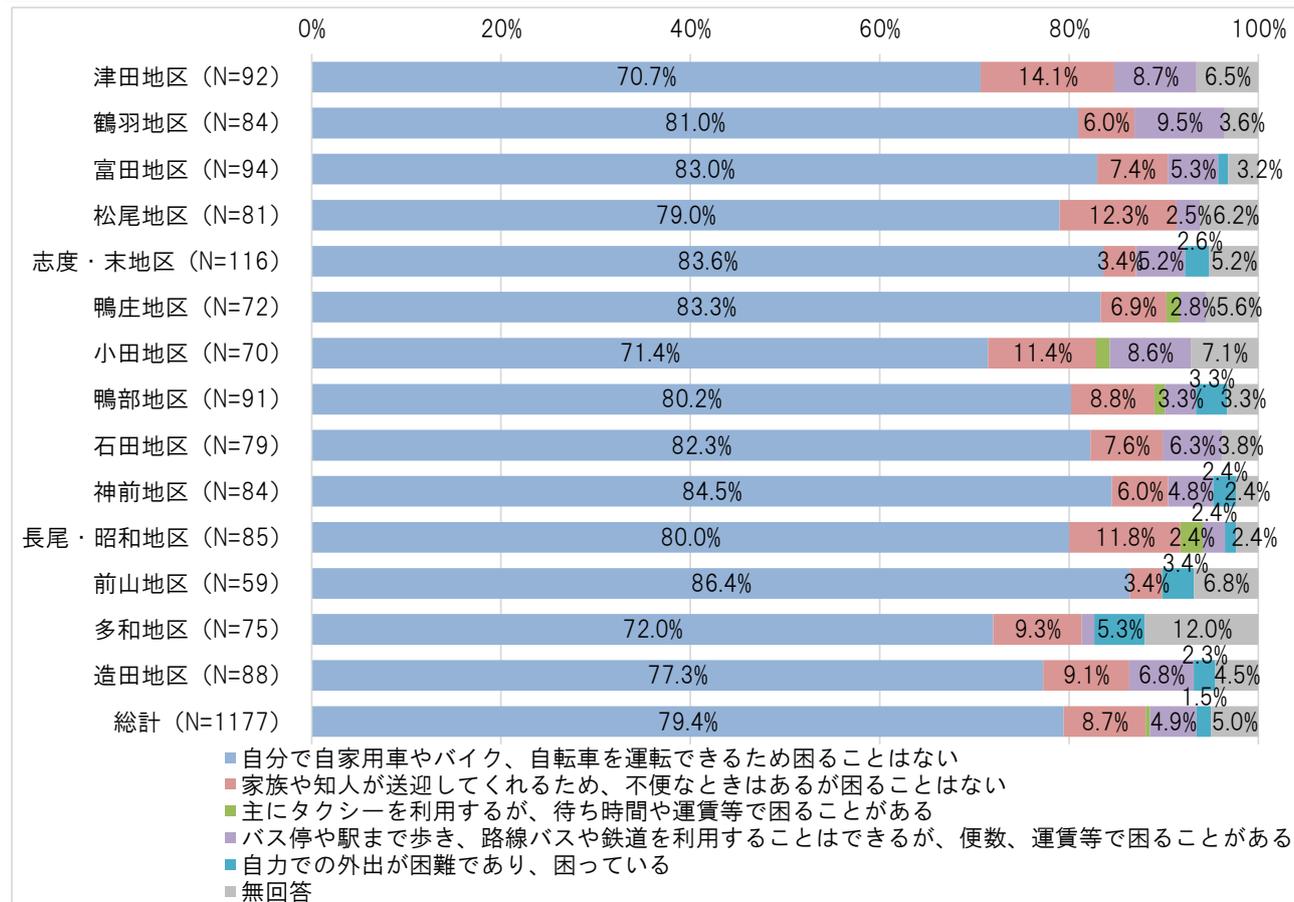
Q. 通院時の交通手段



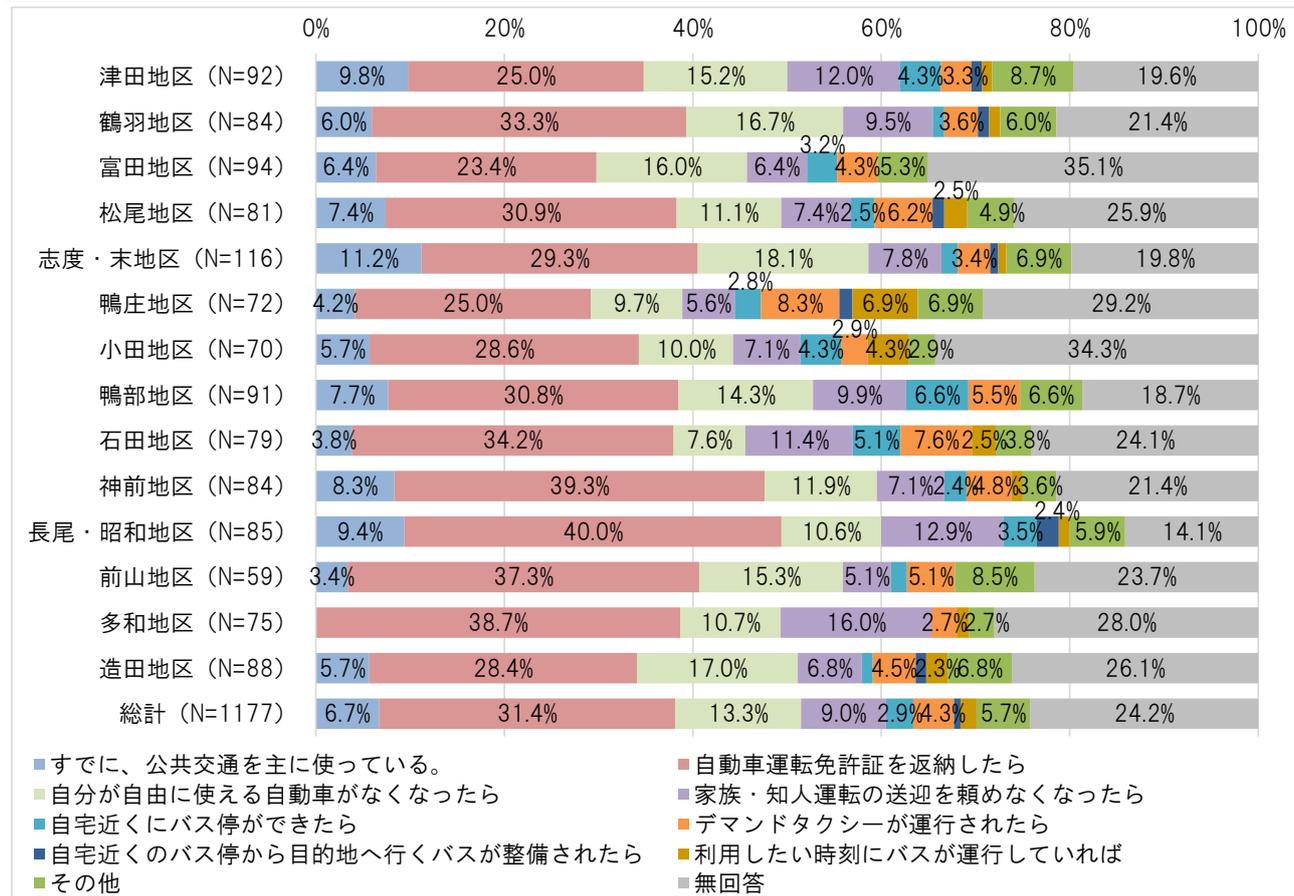
Q. コミュニティバス満足度（項目回答者のみ）



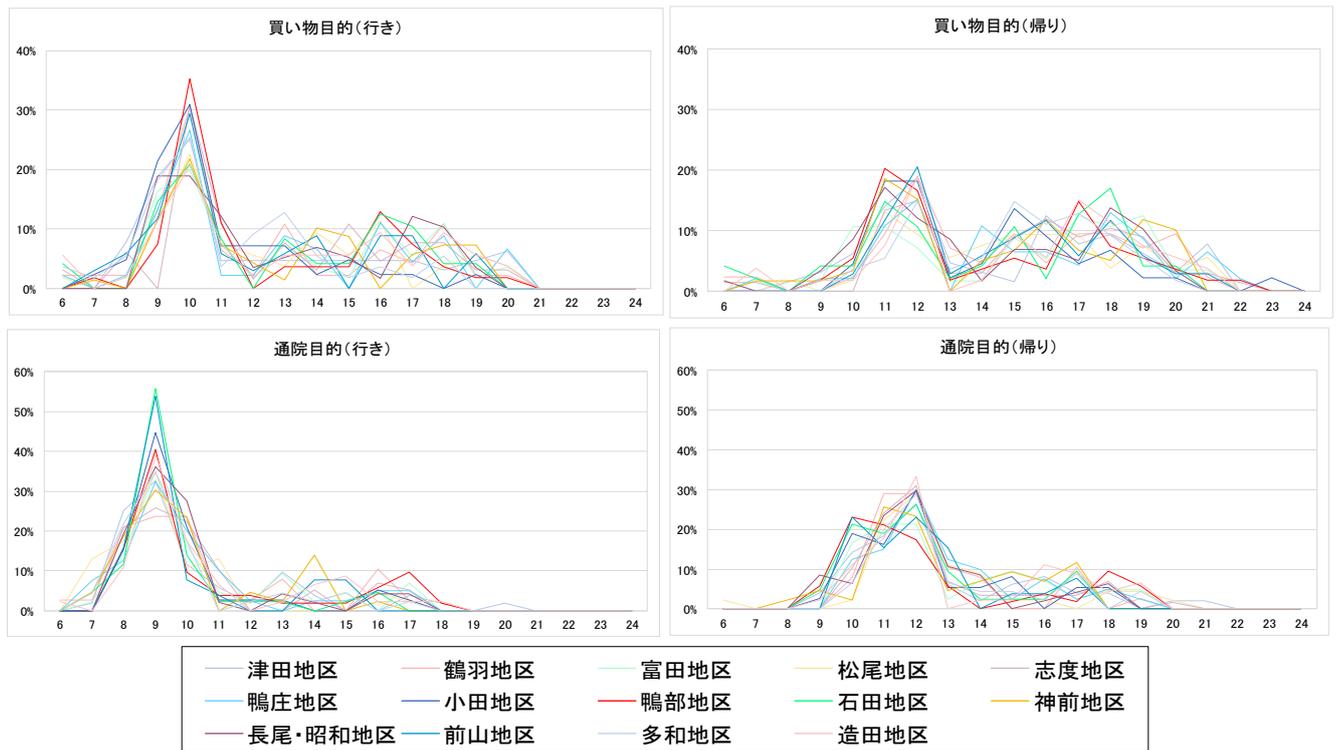
Q. 外出時に交通手段で困ること



Q. 公共交通を主な交通手段として使う条件



■買物・通院目的による外出時間



■地区別目的別行き先ベスト3

地区名	商業施設			病院		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
津田	マルナカ	ザ・ビッグ	フジグラン	さぬき市民病院	溝渕内科循環器クリニック	白鳥病院
鶴羽	マルナカ	ザ・ビッグ	コスモス	さぬき市民病院	溝渕内科循環器クリニック	つるわクリニック
富田	ザ・ビッグ	マルナカ	スーパー	さぬき市民病院	志度皮膚科クリニック	増田耳鼻咽喉科医院
松尾	ザ・ビッグ	マルナカ	ムーミー	さぬき市民病院	香川大学医学部附属病院	阪本病院
志度	マルナカ	スーパー	ゆめタウン	ありま内科消化器科クリニック	さぬき市民病院	屋島総合病院
鴨庄	ムーミー	スーパー	マルナカ	屋島総合病院	ありま内科消化器科クリニック	おおばやしこどもクリニック
小田	ムーミー	マルナカ	ザ・ビッグ	ひもりの里診療所	さぬき市民病院	青田歯科
鴨部	マルナカ	ザ・ビッグ	ムーミー	さぬき市民病院	大松内科医院	ひもりの里診療所
石田	ザ・ビッグ	マルナカ	ムーミー	さぬき市民病院	みろく間島医院	香川大学医学部附属病院
神前	ザ・ビッグ	マルナカ	ムーミー	さぬき市民病院	華山ファミリークリニック	香川大学医学部附属病院
長尾・昭和	マルナカ	コスモス	ムーミー	さぬき市民病院	香川大学医学部附属病院	川人外科内科

(2) コミュニティバス利用実態調査

①実態調査データの分析

■コミュニティバス路線別概要と日利用者数

路線名	ルート	調査日 10/23 (水)	本数	日利用者数 (回収数)	日利用者数 (H29年度)
市内循環線	市役所と各旧支所を結ぶルート	平日	6.0便	131人	217人
志度～多和線	四国 88 か所の志度寺・長尾寺・大窪寺を結ぶルート	平日	4.0便	64人	99人
志度～小田線	志度・小田間を結ぶルート	平日	5.5便	130人	198人
志度～寒川～津田線	志度・寒川・津田間を結ぶルート	平日	6.0便	46人	70人
津田～小田（猪塚）線 鶴羽巡回線	津田・小田（猪塚）を結ぶルート	平日	5.5便	13人	26人
	鶴羽地区を巡回するルート		2.5便	7人	6人
合計				391人	616人
うち大学バス停利用				148人	125人

【市内循環線】

○大学生が主な利用者であり、志度駅～大学間の通学利用に特化、大川出張所までの利用がある。

【志度・寒川・津田線】

○市民病院・大川出張所～志度駅間の利用があり、市民病院～津田駅間の利用は少ない。

【津田・小田線、鶴羽巡回線】

○津田・小田線、鶴羽巡回線は利用が殆どないため、廃止による新たな交通システムの導入（利用者の多くは高齢者で通院目的）

○満足度が最も低い

【志度・小田線】

○様々な目的の利用者に利用され、海岸沿いの需要（とくに小田・西浜まで）に対応

○昭和橋以遠の長浜・大串間の支線運行（時間ロス）の解消

○徳島文理大学の費用負担の見直し

現在 3,000 千円⇒利用実態(約 29,300(148人/日×200日)人/年×200円=5,860千円)

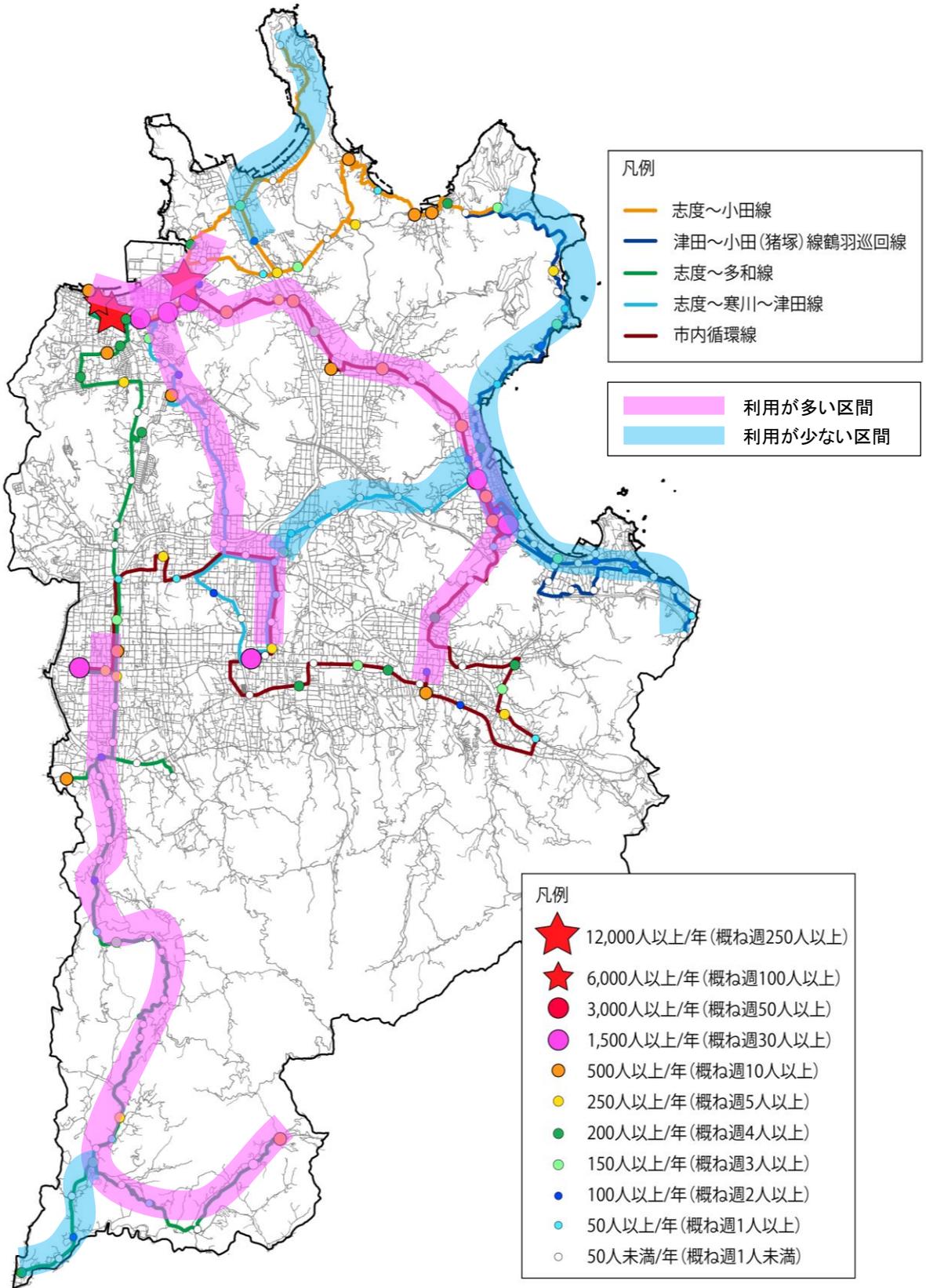
【志度・多和線】

○多和線（行基苑以南）のフリー乗降化、バス停撤去に伴う維持管理費用の削減

○観光・その他目的利用が多く、利用頻度も低い。

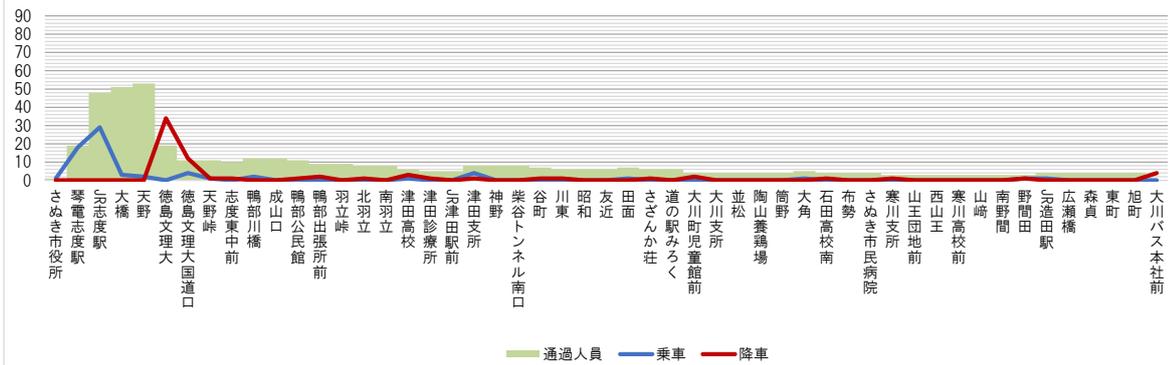
○休日の利用は平日の6割程度と少なく見直し検討

③コミュニティバス乗降OD図 (H29年度実績)

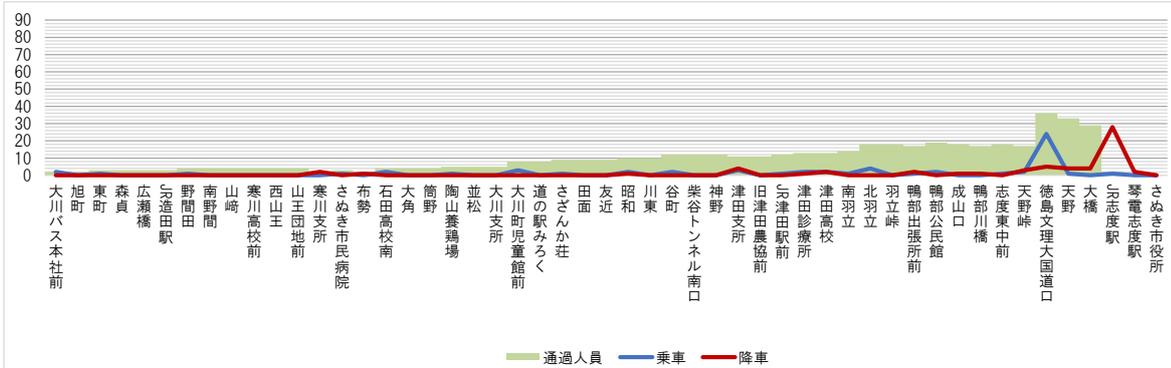


④コミュニティバス乗降データ（11/23（水））【市内循環線・志度-寒川-津田線】

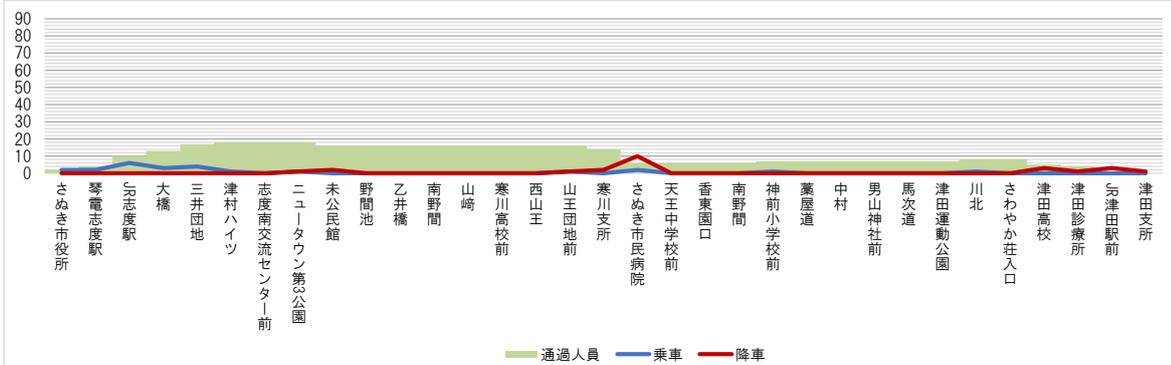
■市内循環線：下り便（さぬき市役所発）



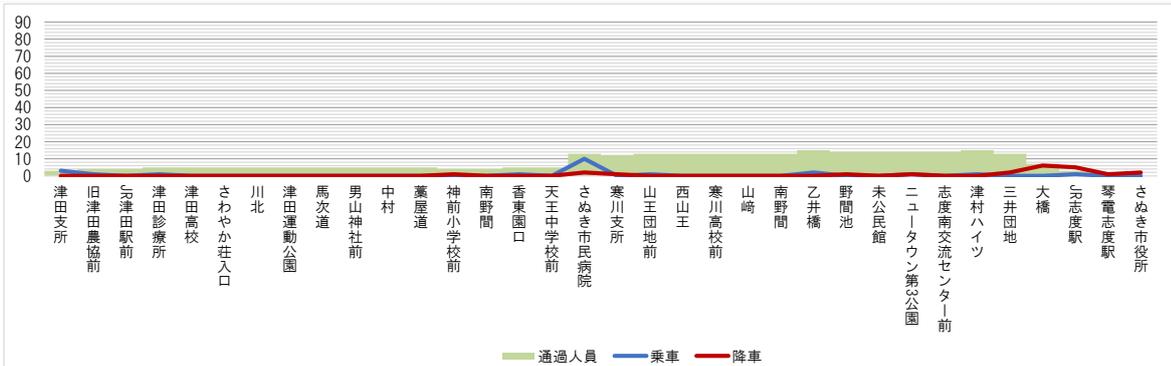
■市内循環線：上り便（大川バス本社前発）



■志度-寒川-津田線：下り便（さぬき市役所発）

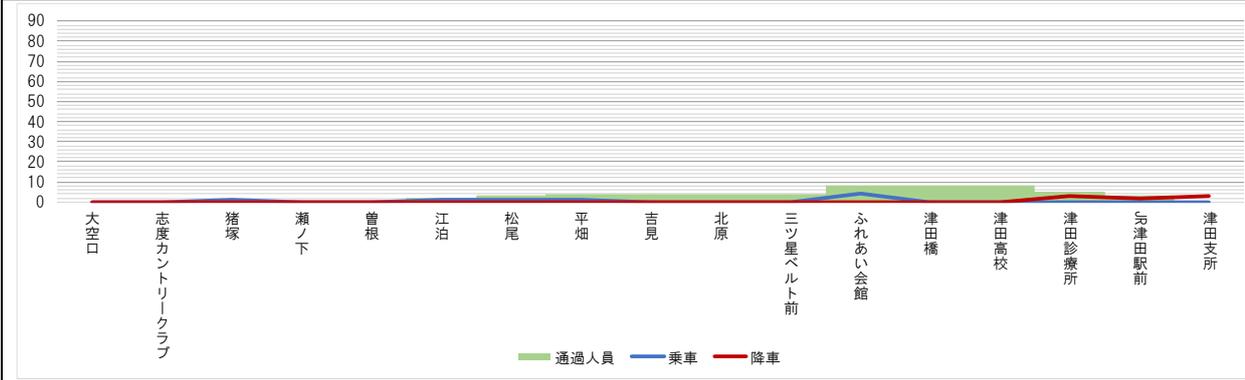


■志度-寒川-津田線：上り便（津田支所発）

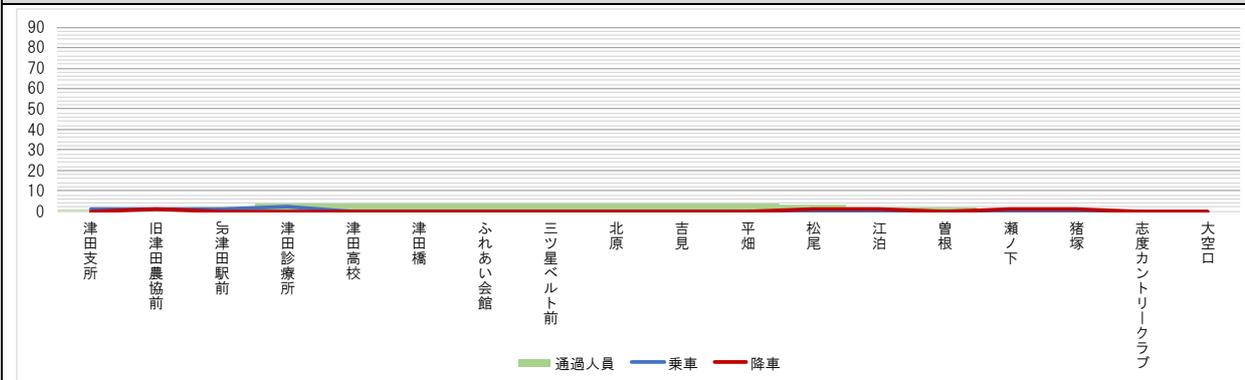


⑥コミュニティバス乗降データ（11/23（水））【津田-小田線・鶴羽巡回線】

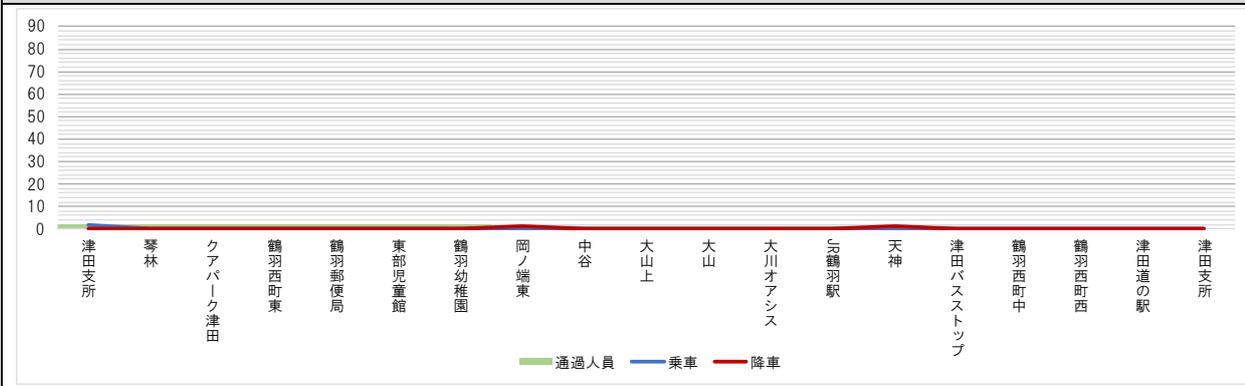
■津田-小田線：下り便（さぬき市役所発）



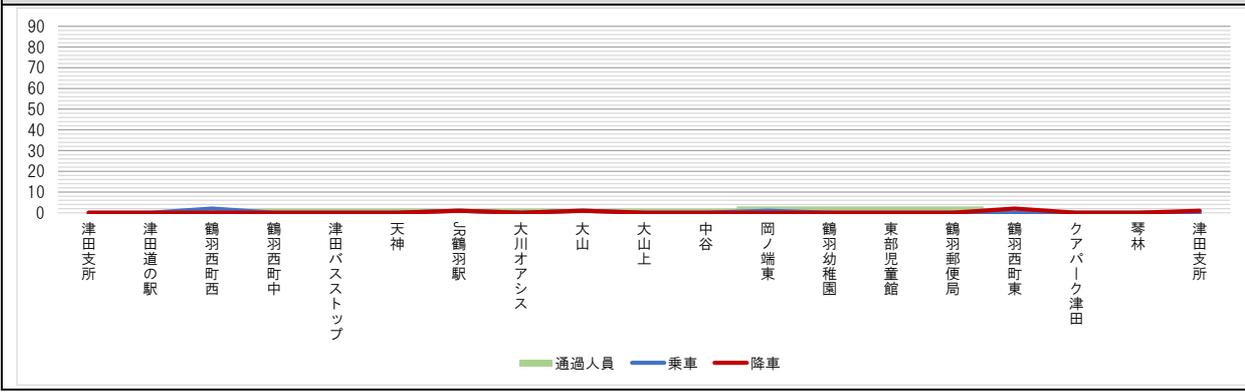
■津田-小田線：上り便（志度カントリークラブ発）



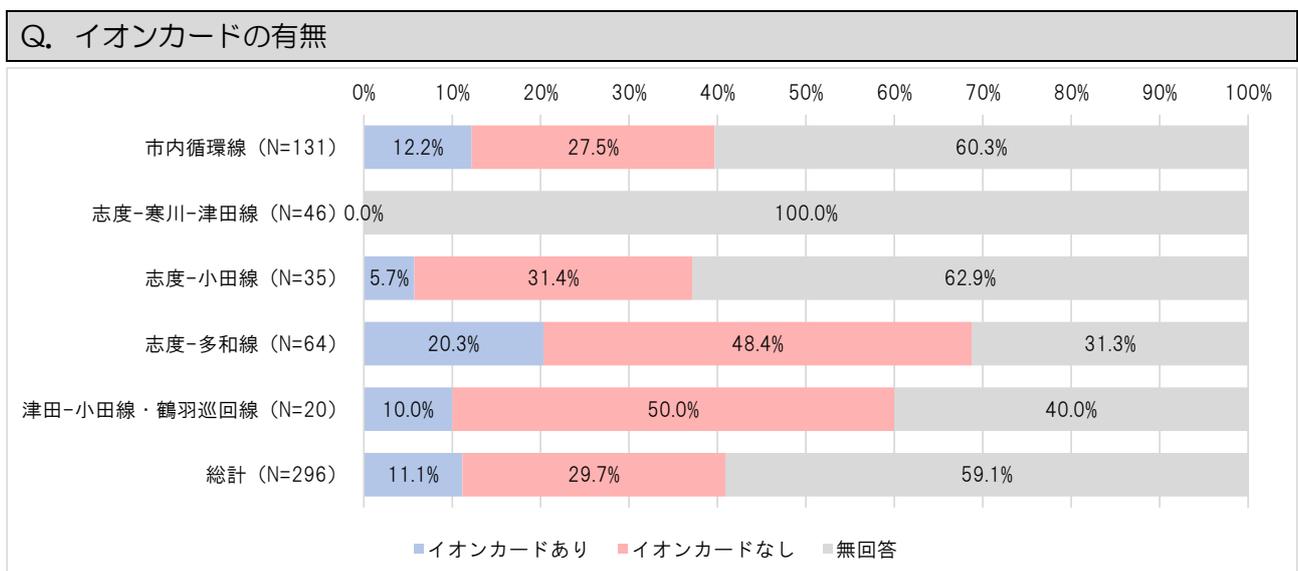
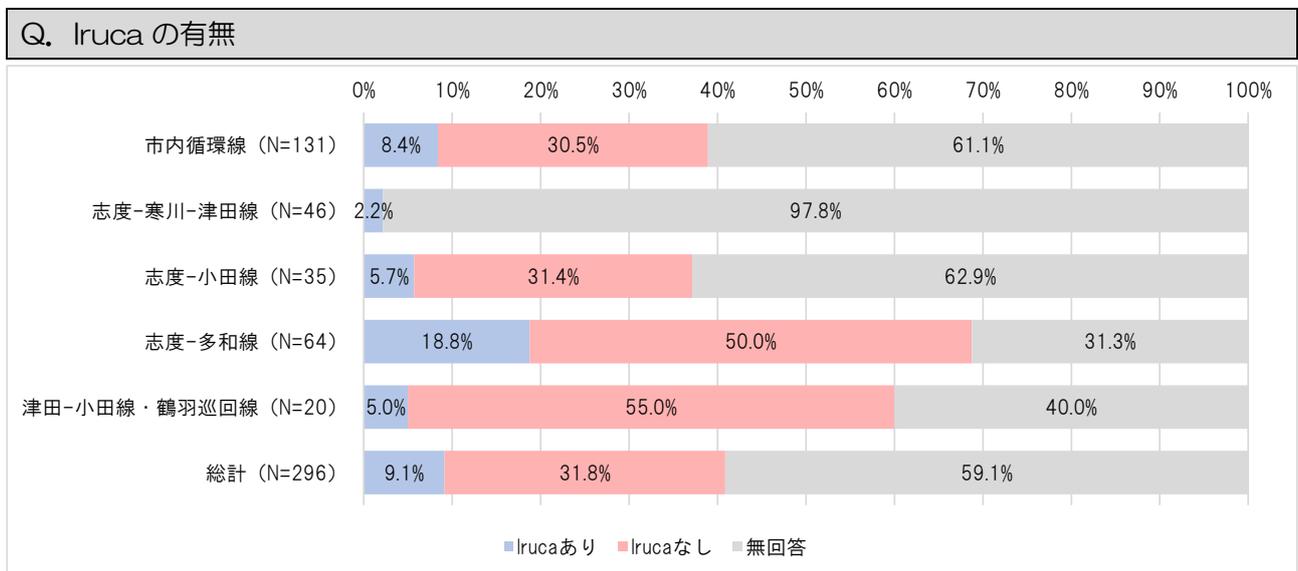
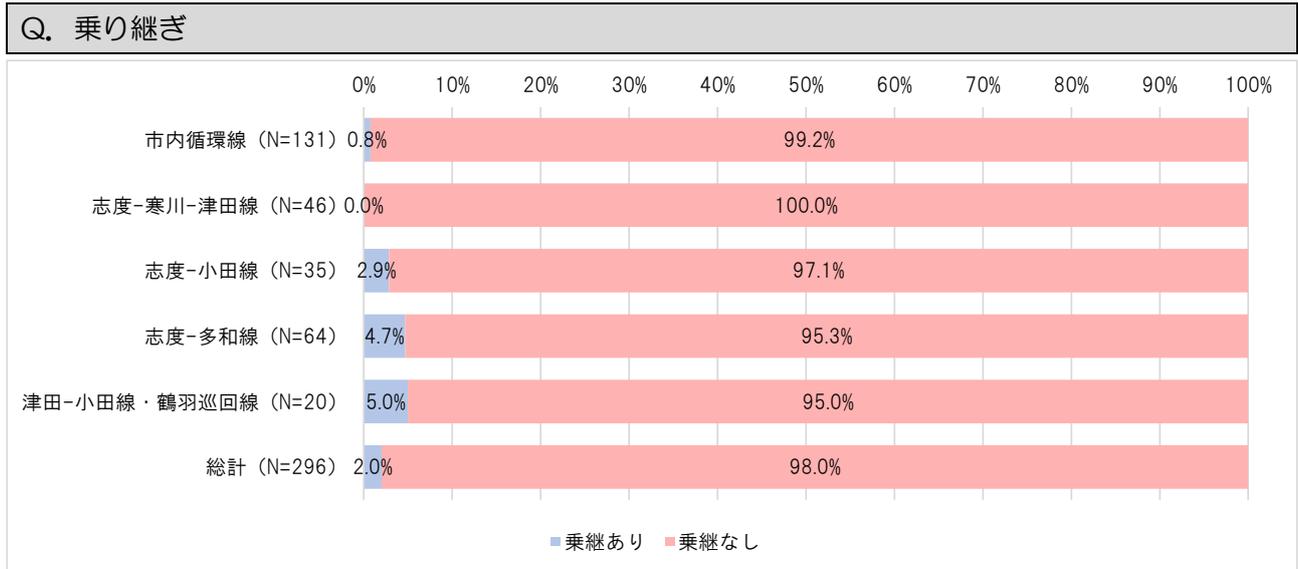
■鶴羽巡回線：左回り



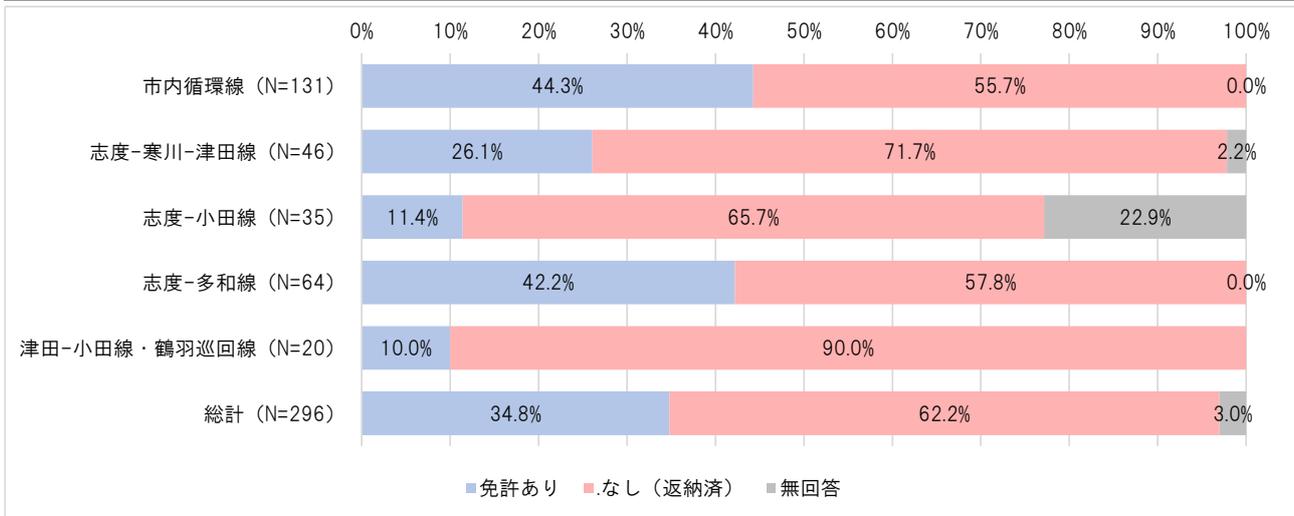
■鶴羽巡回線：右回り



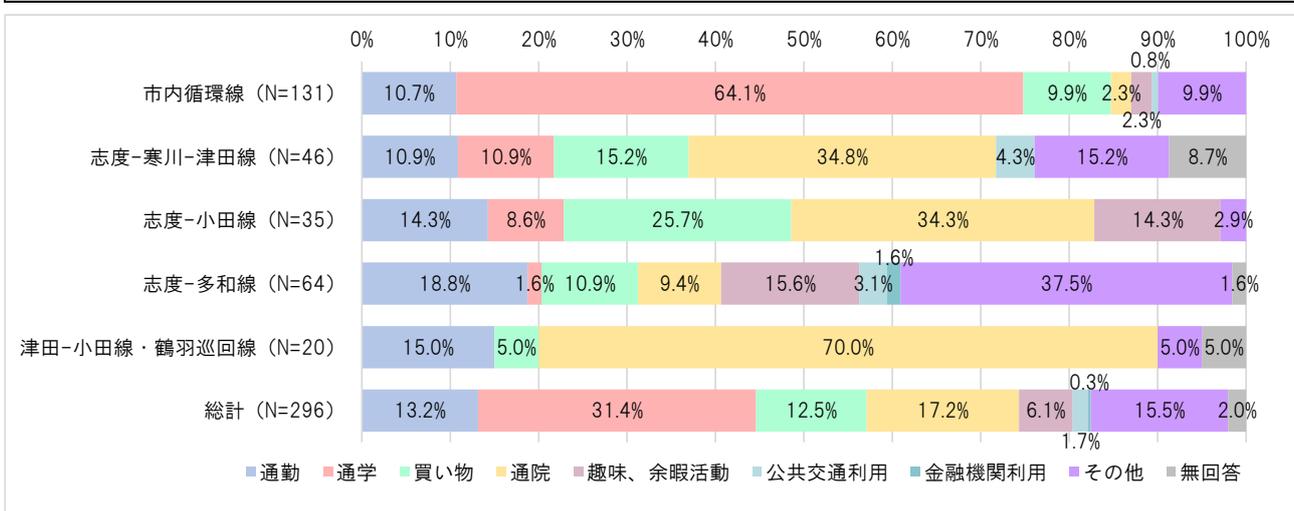
⑦コミュニティバス利用者アンケート調査（要点項目抜粋）



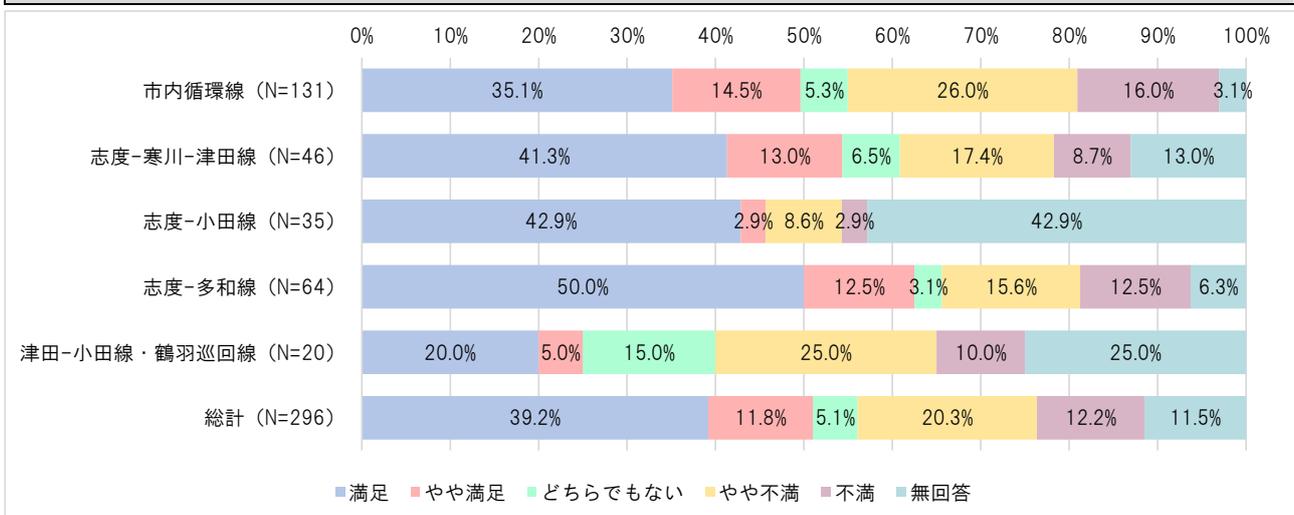
Q. 運転免許証保有率



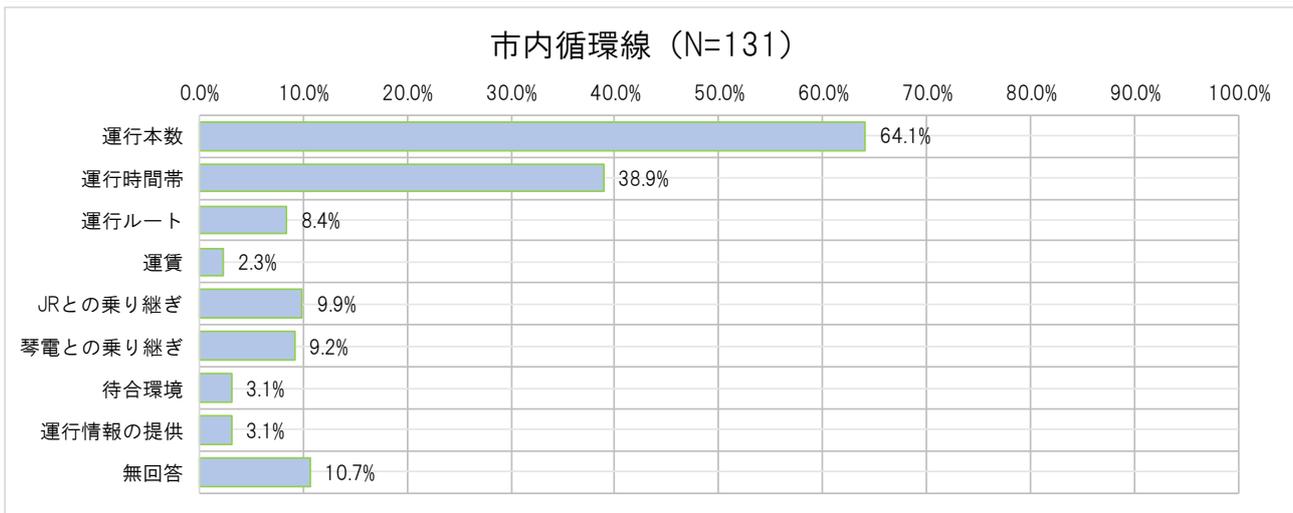
Q. 利用目的



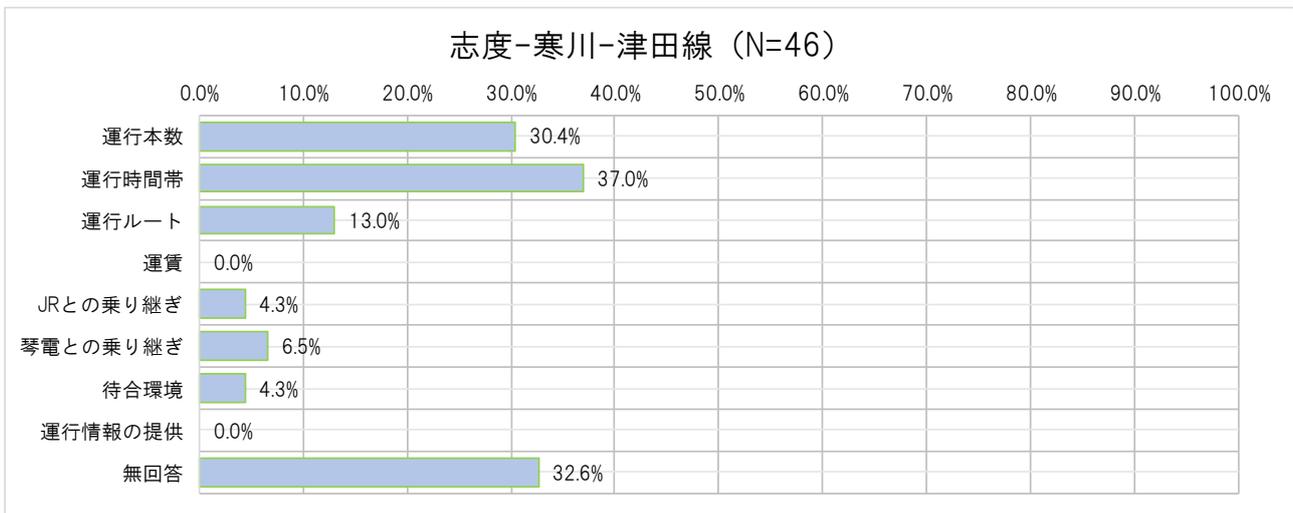
Q. 満足度



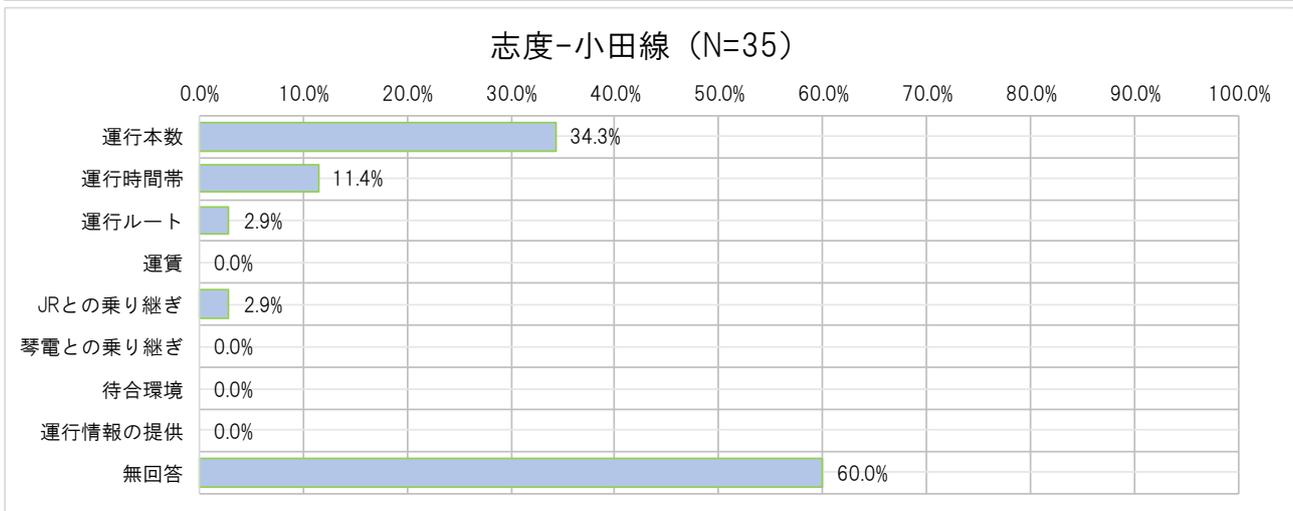
Q. 改善してほしい点（市内循環線利用者）



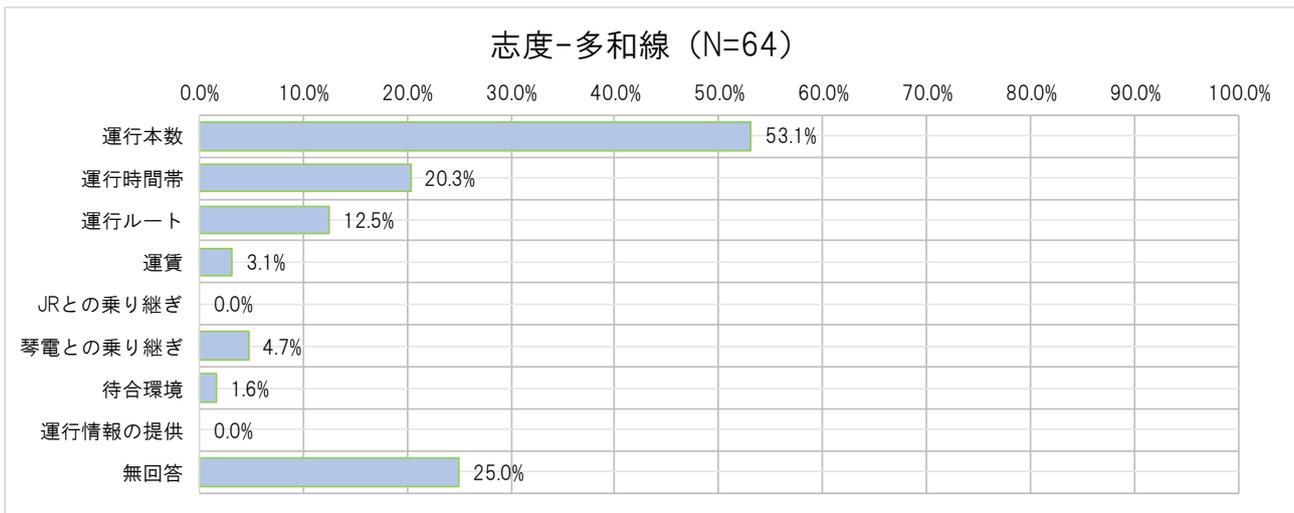
Q. 改善してほしい点（志度-寒川-津田線利用者）



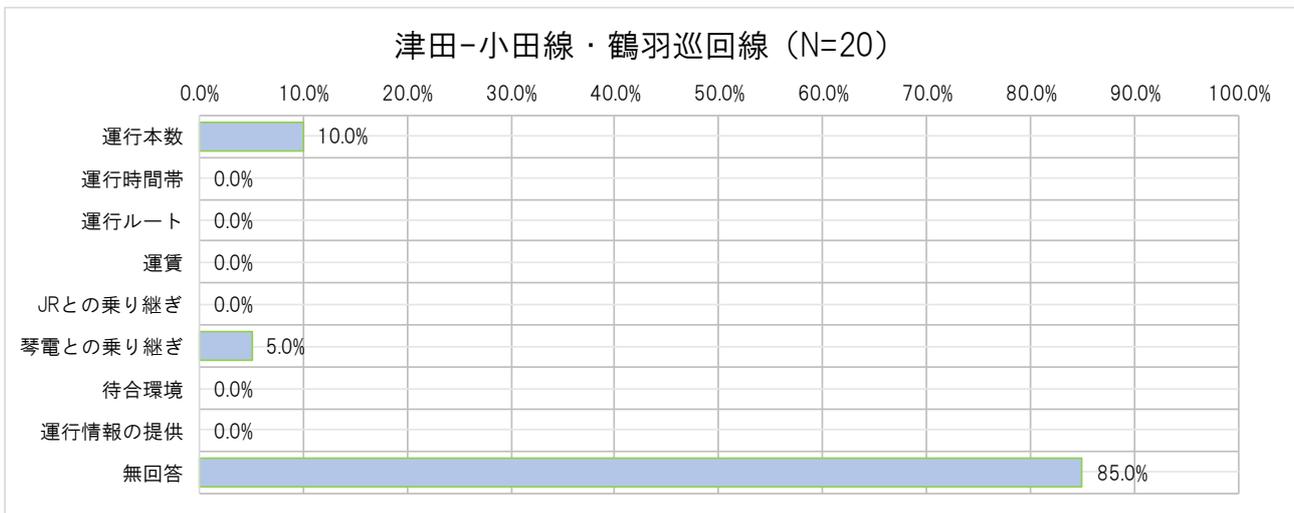
Q. 改善してほしい点（志度-小田線利用者）



Q. 改善してほしい点（志度-多和線利用者）



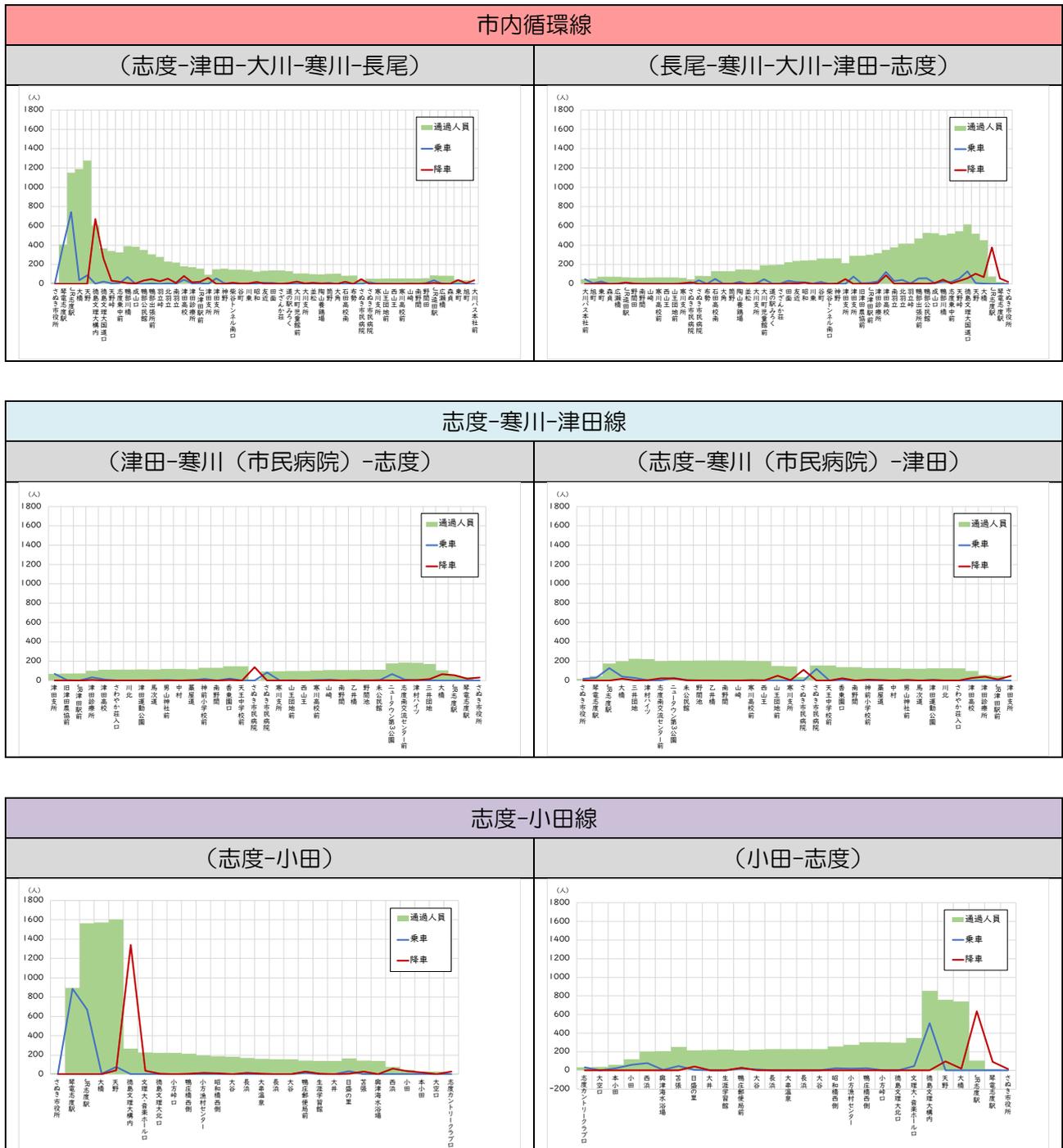
Q. 改善してほしい点（津田-小田線・鶴羽巡回線利用者）



■路線別の特性

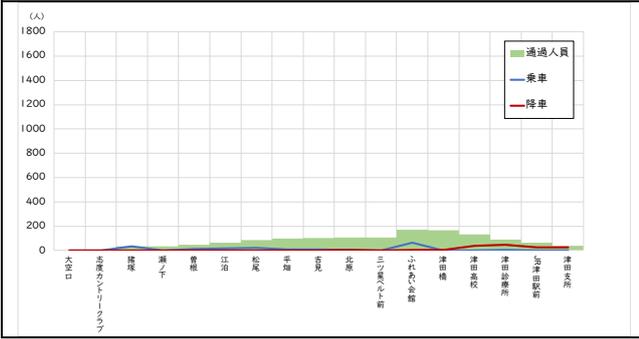
- 市内5路線のうち、「琴電志度駅・JR志度駅⇄徳島文理大構内」間を通過する市内循環線と志度-小田線の大学生利用が大半を占めている。
- 大学生利用以外に着目すると、志度-多和線における「JR志度駅⇄大川バス本社前⇄大窪寺」の利用に安定した需要がみられ、津田-小田（猪塚）線・鶴羽巡回線では利用が非常に少ない。
- 各路線の便ごとに利用者変動を見ると、市内循環線と志度-小田線は大学生の通学・帰宅時間帯に利用の偏りがみられるが、市内循環線の上り（長尾⇄志度）に限っては一定の利用がみられる。また、志度-寒川-津田線も一定の利用がみられるが、比較的昼の便で利用者が減る傾向にある。
- バス停別利用状況では、鉄道駅・大学の利用が多くみられる。時間帯別の特徴としては全体的に朝の利用が多いが、「大窪寺」「さぬき市民病院」バス停で昼間の利用が多くみられる。
- 月別の利用者変動では、大学生が休み期間になる8月と3月のタイミングで利用者が激減するが、春（4-5月）と秋（10-11月）では観光客の影響もあり全体的に利用は増加している。

⑧路線別乗降区間図（平成29年10月実績）

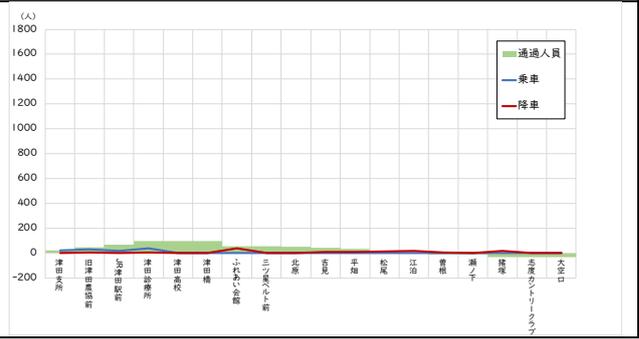


津田-小田（猪塚）線

(小田（猪塚）-津田)

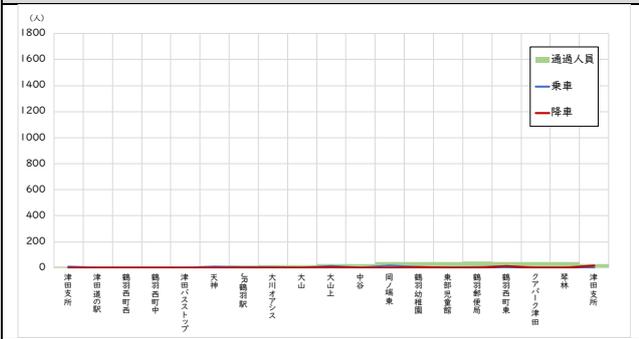


(津田-小田（猪塚）)

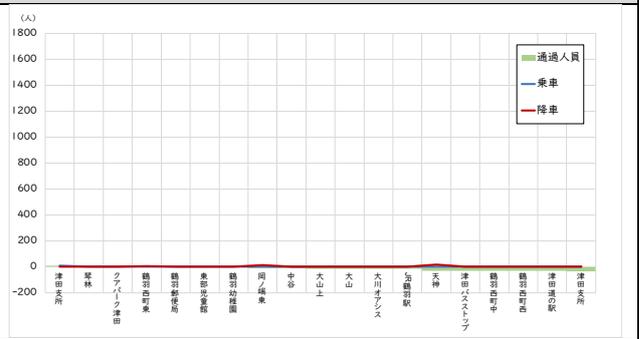


鶴羽巡回線

(右回り)

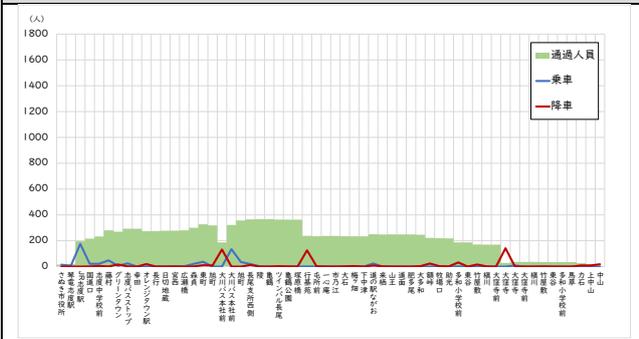


(左回り)

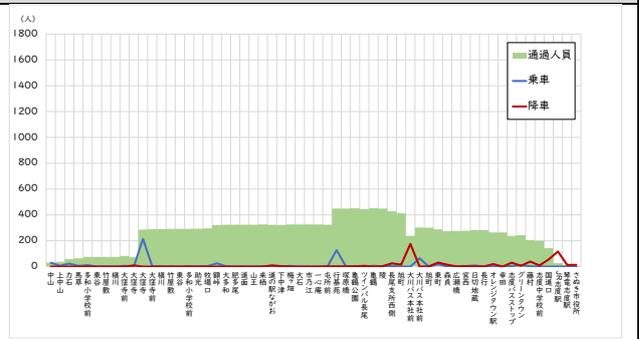


志度-多和線（平日）

(志度-多和)

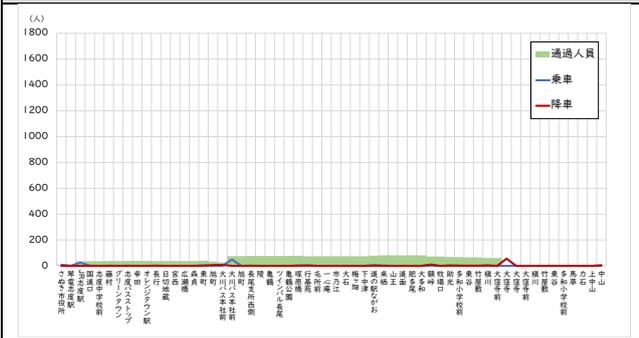


(多和-志度)

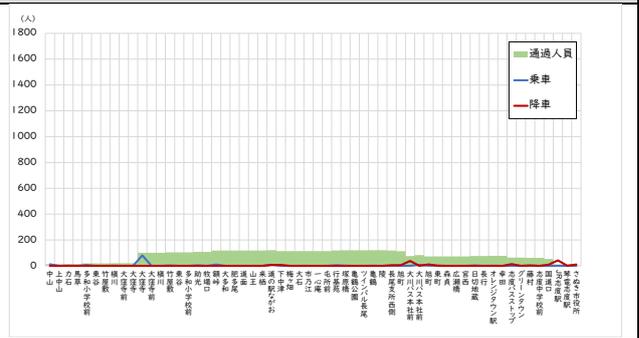


志度-多和線（休日）

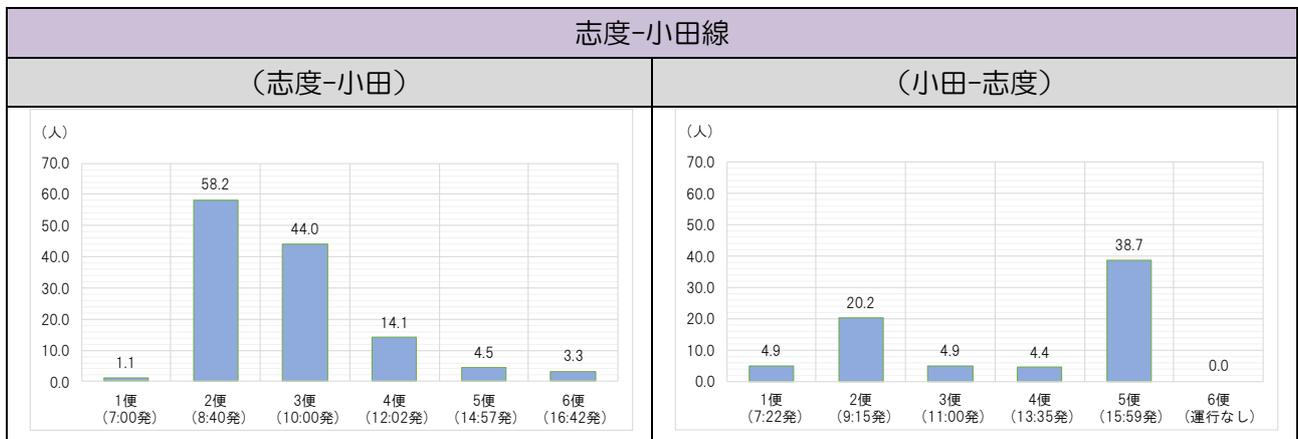
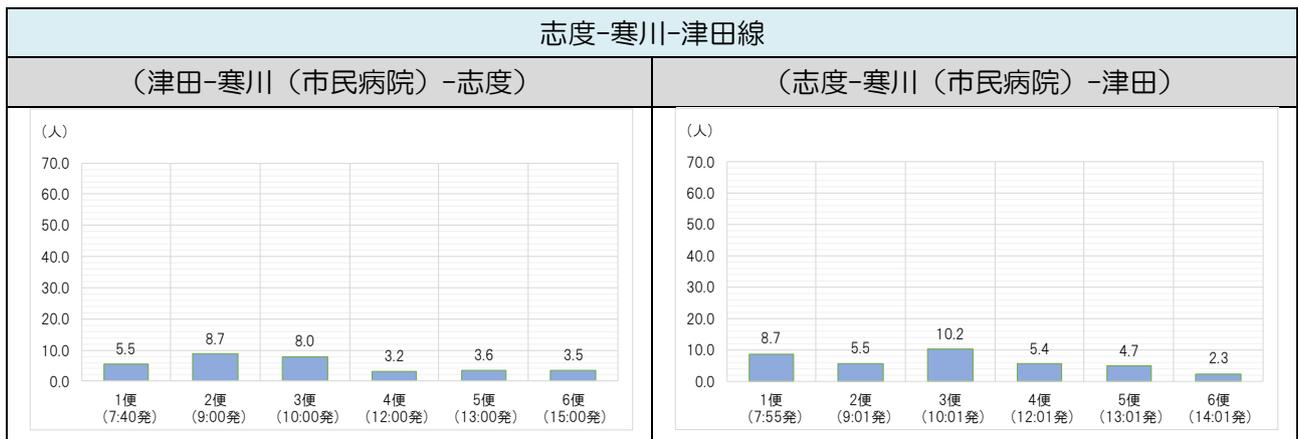
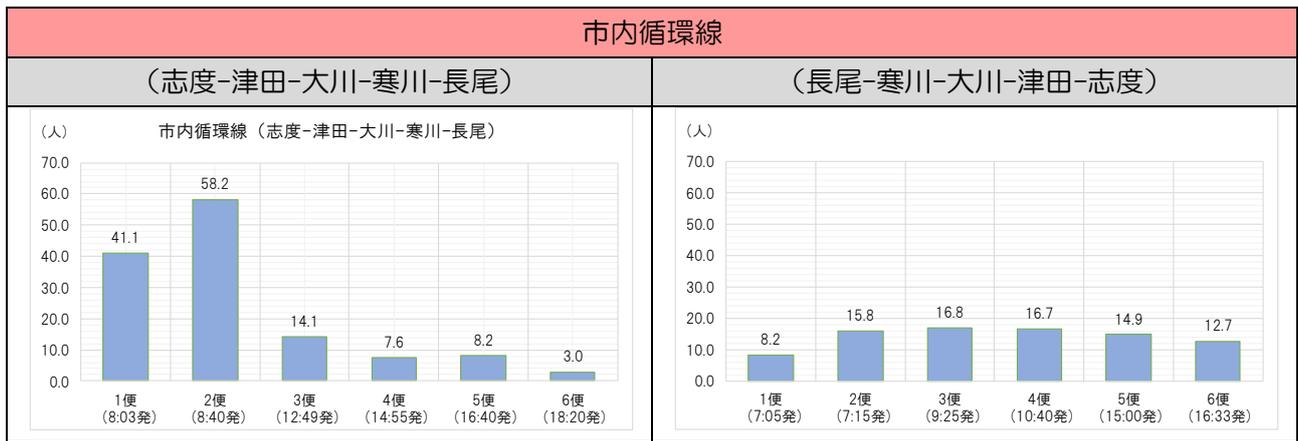
(志度-多和)



(多和-志度)

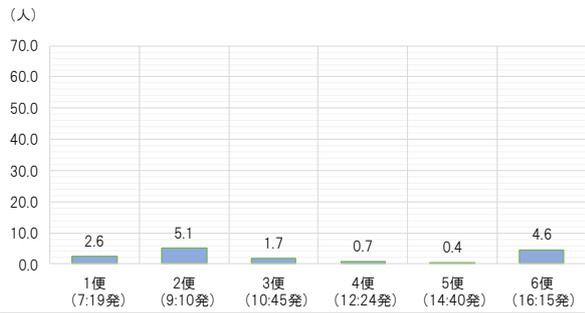


◎便別利用者数変動（日平均利用者数）【平日】（平成 29 年度実績）

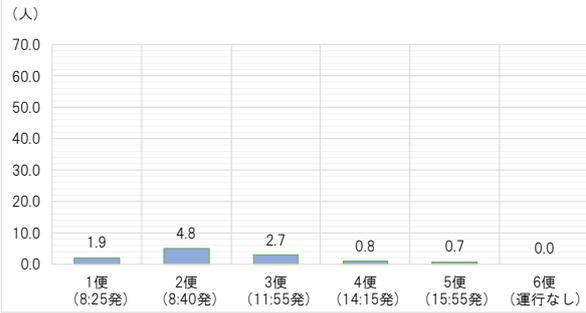


津田-小田（猪塚）線

（小田（猪塚）-津田）

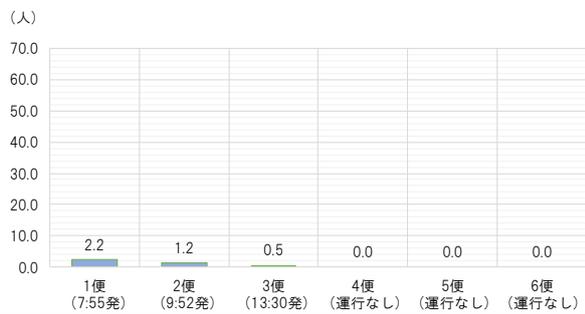


（津田-小田（猪塚））

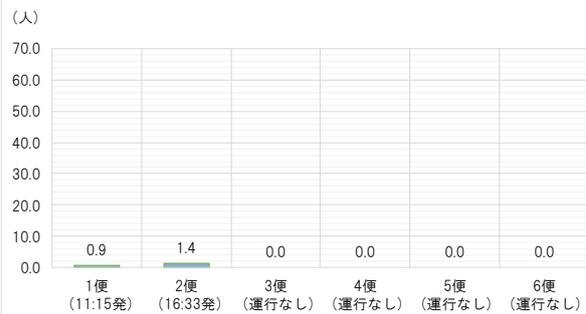


鶴羽巡回線

（右回り）

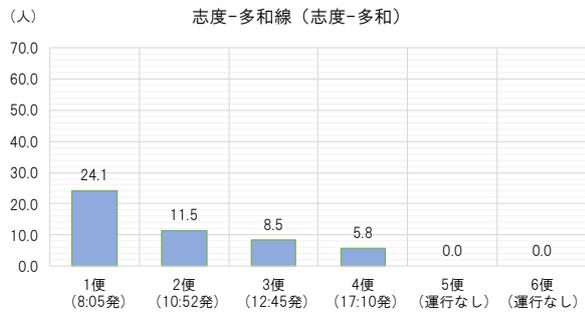


（左回り）

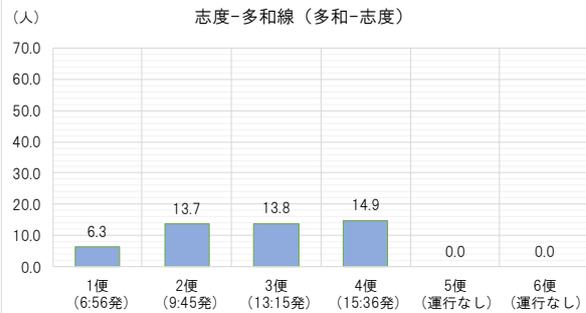


志度-多和線（平日）

（志度-多和）



（多和-志度）

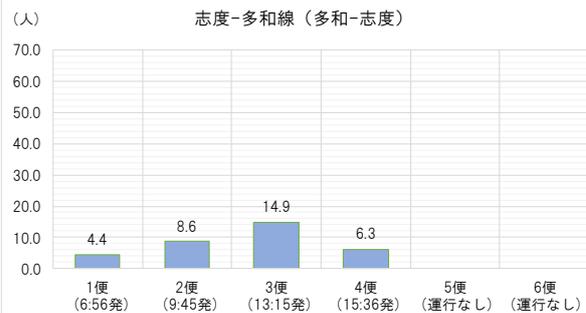


志度-多和線（休日）

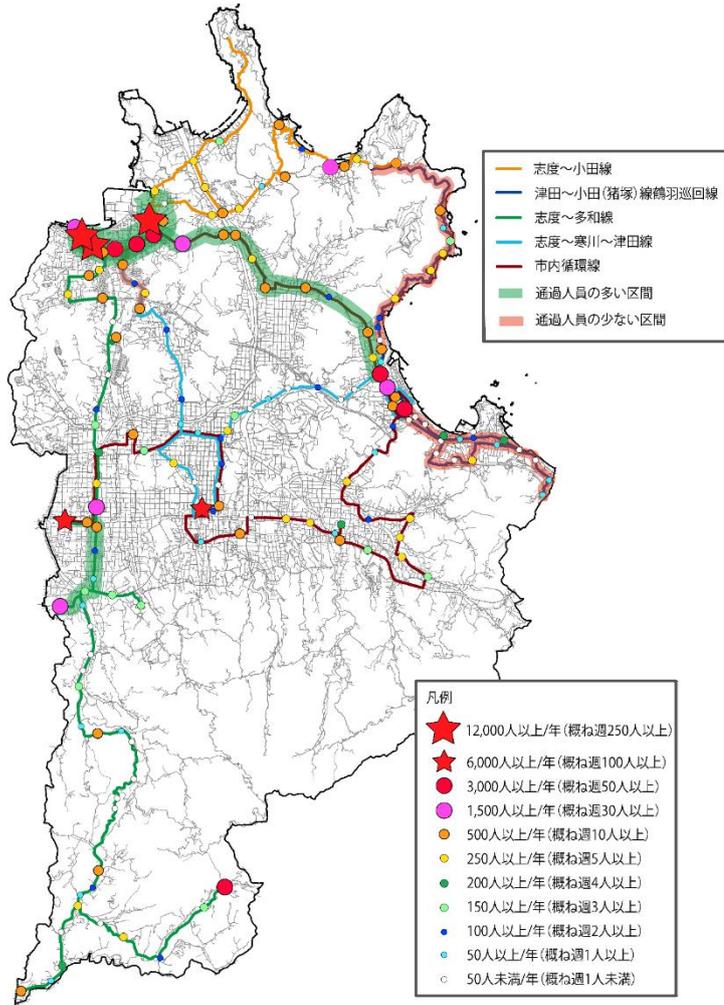
（志度-多和）



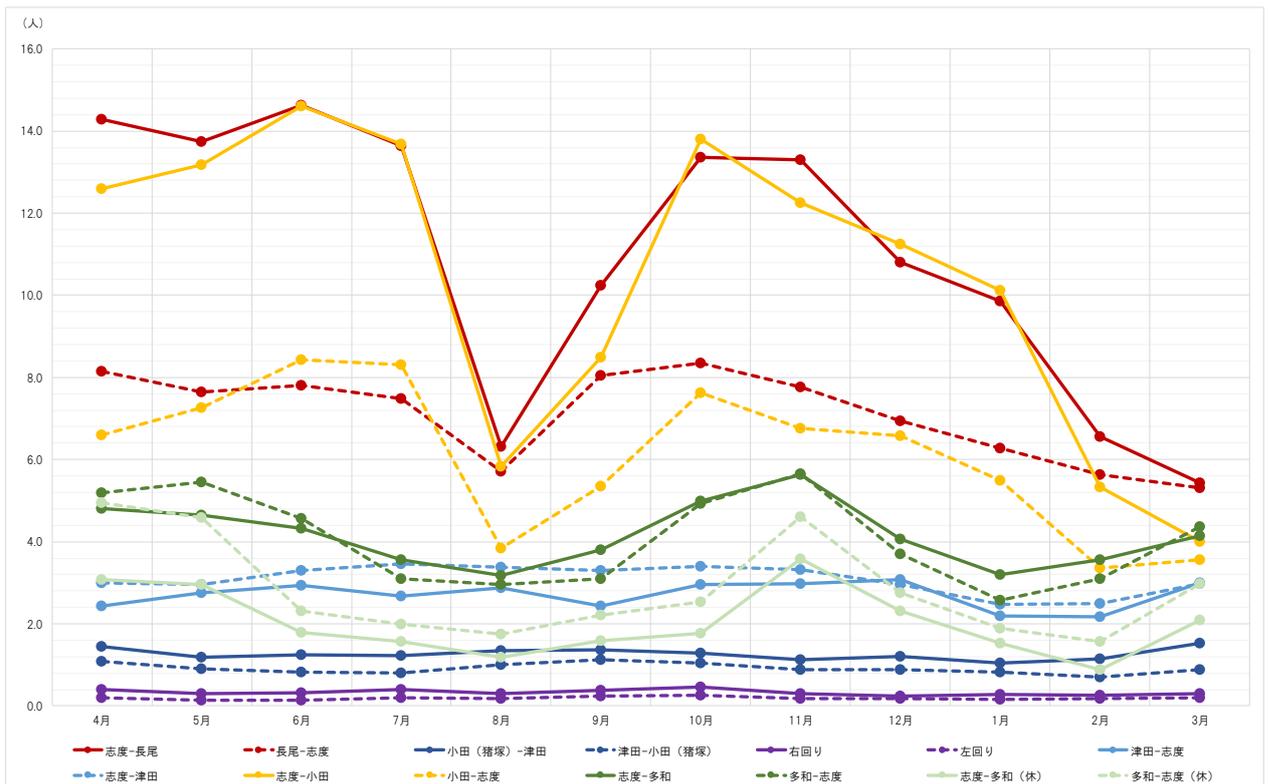
（多和-志度）



⑩バス停別利用状況図 (平成 29 年度実績)



⑪月別利用者変動 (日平均利用者数)【平日】 (平成 29 年度実績)



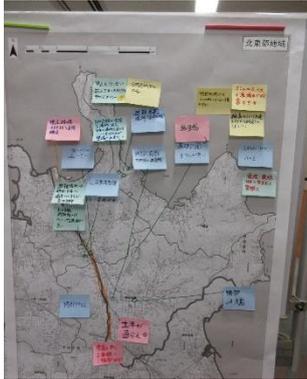
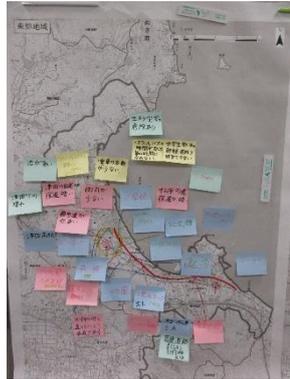
(3) 市民ニーズ調査（市民会議）

■会議開催の目的

さぬき市まちづくり市民会議は、「第2次さぬき市都市計画マスタープラン」の策定及び「地域公共交通」の見直しにあたり、市民の皆さんが日常的に感じる想いやお住まいの地域を取り巻く実態を把握することや、まちをDYする（自分たちの手でまちを良くする）きっかけとなることを目的として開催した。

■各会議の開催について

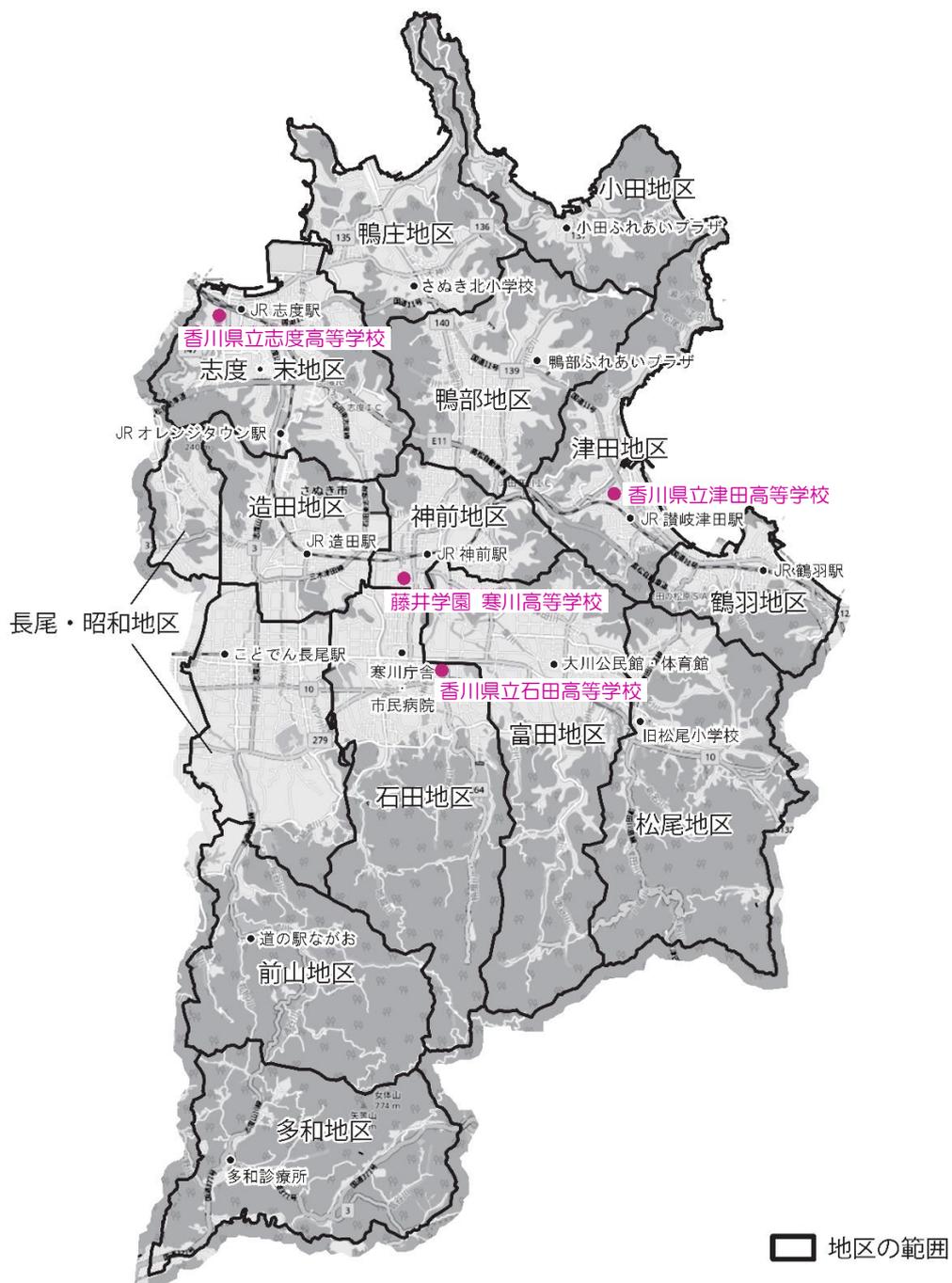
第1回	
日時・場所	令和元年9月16日（月） バスツアー：さぬき市内 12:30～13:30 ワークショップ：さぬき市役所 14:00～17:00
参加人数	21名
テーマ	まちに残したいもの、直したいこと
概要	「都市計画・交通を知る」をテーマに、見えない線を見るバスツアーや座学を行った。また、ワークショップは、ワールドカフェ方式により、さぬき市の「自慢できること」「困っていること」など市民の皆さんがお互いに対話しながら、意見を取りまとめた。
内容	①バスツアー ②都市計画についての講義 ③公共交通についての講義 ④ワークショップ ・自慢できること ・無くなったら困るもの ・直したいもの・改善したいもの ・残したいもの・直したいもの ⑤発表
結果	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>○さぬき市の直したいもの コミュニティ・公園・空家・情報発信・施設・交通</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>○さぬき市に残したいもの 交通・自然・地域・商業・医療・教育・文化・観光</p> </div> </div>

第2回	
日時・場所	令和元年 10月5日(土) 中部・南部地区：寒川庁舎 14:00～16:00 北西部・北東部・東部地区：さぬき市役所 18:30～20:30
参加人数	中部・南部地区：9名 北西部・北東部・東部地区：15名
テーマ	理想的な暮らしについて検討しよう！
概要	「理想的な暮らし」をテーマに、市民の皆さんが住んでいる地区に分かれ、地区ごとに生活施設・インフラ・公共交通・防災の4つの部門について対話を行った。また、会議の最後に理想的な暮らしに必要な「地域の拠点」について対話し、取りまとめたものを発表し、意見を共有した。
内容	①ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・あなたの地区の自慢できること ・日常生活で特に必要な生活施設 ・施設等へ行く際のインフラの問題点 ・公共交通の問題点 ・防災面での不安や問題 ・地区で最も重要なもの・こと ・生活の拠点、大事な場所 ②発表
結果	<p>○公共交通の問題点（一部抜粋）</p> <p>北西部地域：駅が遠い、バス停が遠い、便数が少ない、コミバスが車イスで乗れないコミバスの時刻がわかりにくい、高松行きのバスが無い</p> <p>北東部地域：コミュニティバスの乗り場まで遠すぎる、免許返納後が不安</p> <p>東部地域：コミュニティバスの本数が少ない、電車の本数が少ない、スクールバスの時間が部活等の時間に合わない</p> <p>中南部地域：コミュニティバスが少なく使えない、拠点から拠点への直通が無い、家の近くに駅・バス停が無い、バスの乗車時間が長い</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div>

第3回	
日時・場所	令和元年 10月26日(土) 寒川庁舎 18:30～20:30
参加人数	33名
テーマ	理想に向けてアクションしてみよう！
概要	「理想的な暮らしにむけてアクションしよう」をテーマに、市民の皆さんが住んでいる地区に分かれ、地区ごとにそれぞれ必要なもの、暮らしを豊かにするためにあったら嬉しいもの、豊かな暮らしを実現するために自分たちができることについて対話を行った。また、会議の最後に自分たちの住んでいる地区を宣伝するタイトルとアクションできることについて発表し、意見を共有した。
内容	①ワークショップ ・各地区の困りごと、拠点の共有 ・地区に必要なもの ・豊かに暮らすためにあると嬉しいもの ・理想の暮らしを実現させるためにできること ・地区を宣伝するタイトルと自分たちでアクションできることを発表 ②発表
結果	○自分の住む地区において最低限必要な機能などについて 北西部地域：公民館、図書館、 移動手段 、JR、小さな公園、学校関係、病院と薬局のネットワーク、自治会館、 琴電 北東部地域：病院（診療所）、ATM、老人ホーム、スーパー、小中学校、公民館 東部地域： JR 駅 、病院、移動販売、スーパー、公民館（避難場所）、小学校、 コミュニティバス 中南部地域：学校、市民病院、食料品店、郵便局、JR 神前駅のアクセス道路の整備、病院、公民館、スーパー、 デマンドバス ○自分の住む地区で豊かに暮らすために必要な機能などについて 北西部地域：公園、住民の多数集まれる公民館、住民が交流できる施設、JR 志度南に広場、多目的施設、児童館、こども食堂、ホテル、カフェ、美容院、カルチャーセンター、生協、カラオケ 北東部地域：スポーツジム 東部地域：ドラッグストア、子どもの遊び場（公園）、食事どころ 中南部地域：気軽に行けてお茶が飲める場所、 JR に乗りたいので、現在の JR の状態を改善してほしい、自動車に乗れなくなった世代が動ける乗り物、食事するところ、弁当屋、山間部における交通手段、住民の足

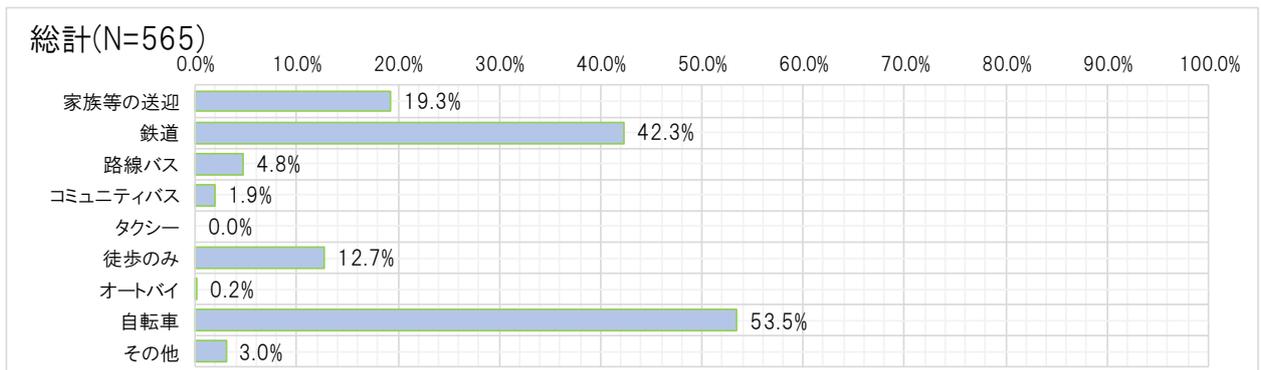
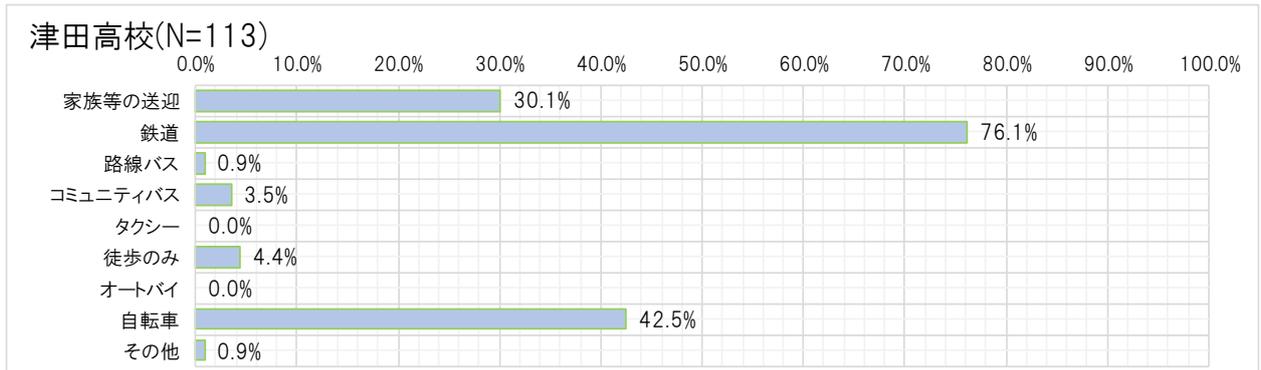
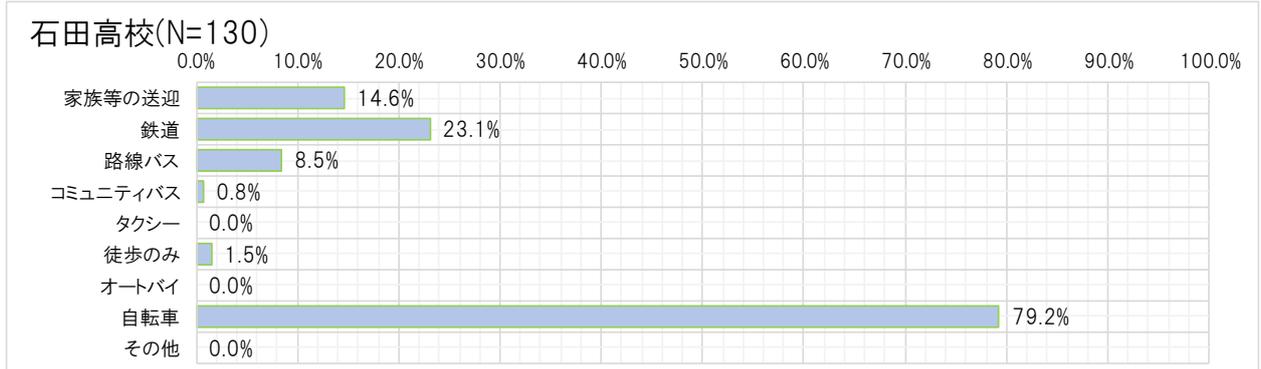
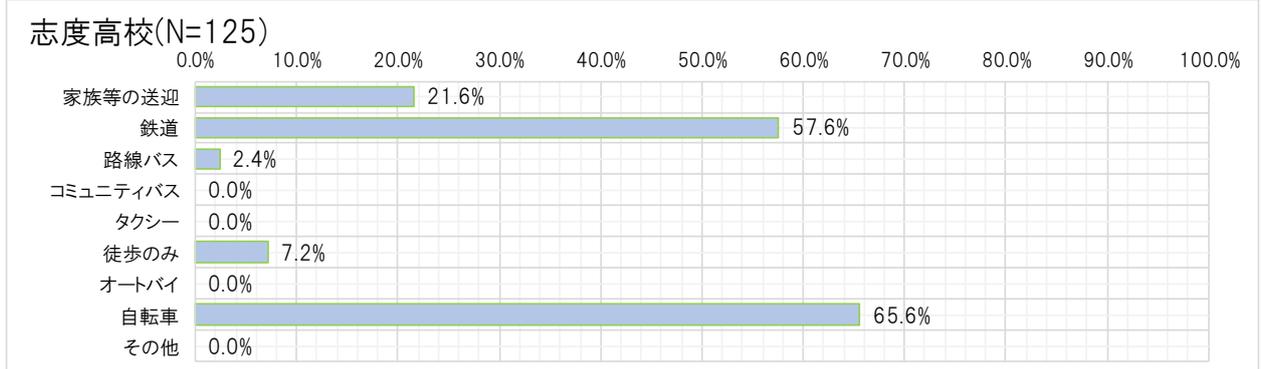
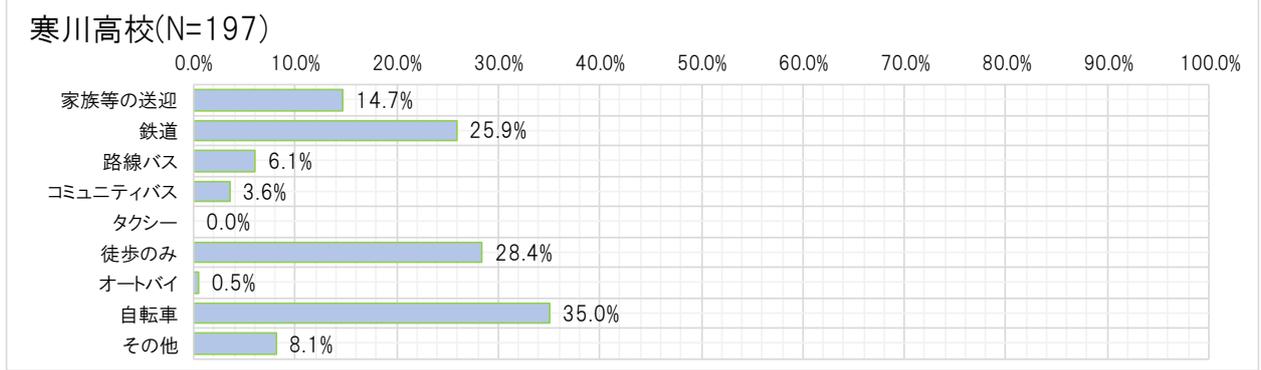
(4) 高校生アンケート調査

- 登下校時の交通手段としては鉄道と自転車利用が多く、雨天時では自転車利用者はほぼ「家族等の送迎」に転換しているが、路線バス・コミュニティバスへの転換も若干ではあるが見られる。
- 路線バス利用が多い高校としては石田高校が 8.5%（全体 4.8%）と比較的多く、コミュニティバス利用では津田高校が 3.5%（全体 1.9%）となっている。
- バスを利用しない理由として「自転車やバイクで通学できる」「バスを利用する距離ではない」「バス路線が近くにない」が全体的に多いが、志度高校・石田高校では「運賃が高い」が比較的多く挙げられている。
- 利用促進への取り組みについて「バス停の屋根・ベンチの設置」「通学定期割引率拡大や学生割引回数券等を導入し、運賃負担を軽減」が比較的多い。
- バスのサービス改善による利用の有無について、全体で 20.5%の需要がみられ、寒川高校では 29.4%の生徒が「利用する」「雨天時に限り利用する」と回答している。



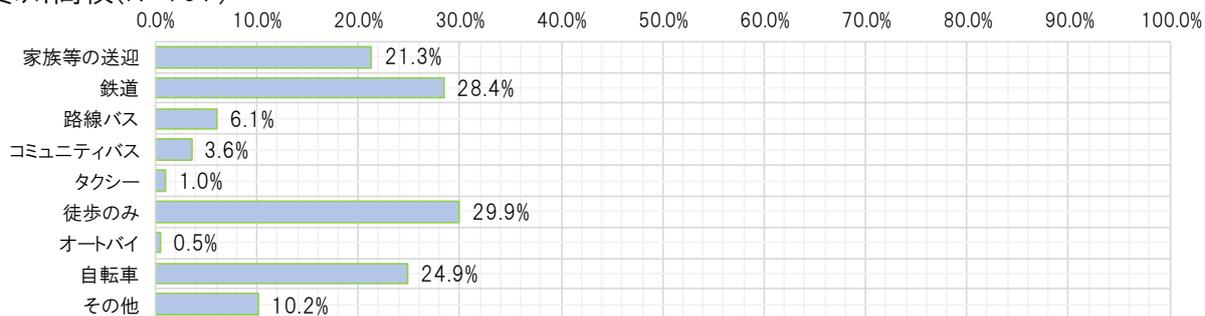
①要点項目抜粋

Q. 普段の登下校時に利用している交通手段



Q. 雨の日の登下校時に利用している交通手段

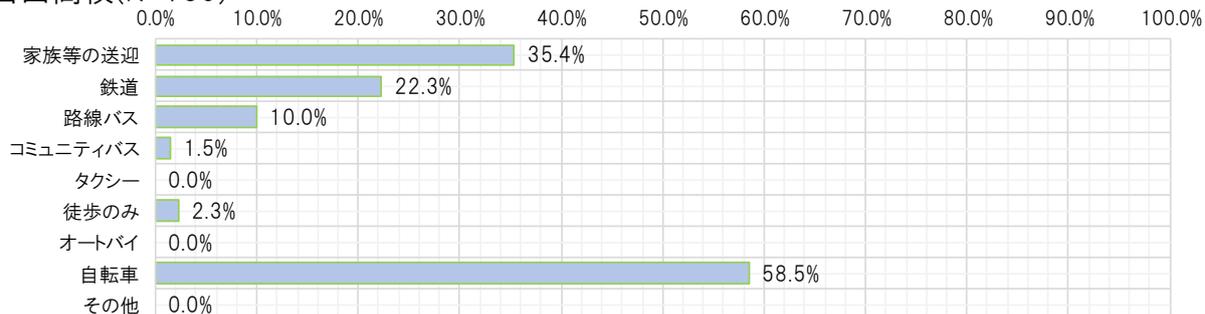
寒川高校(N=197)



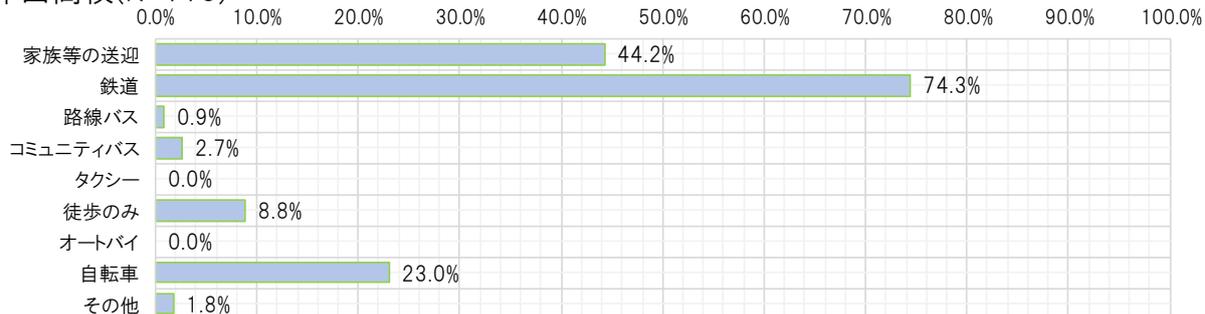
志度高校(N=125)



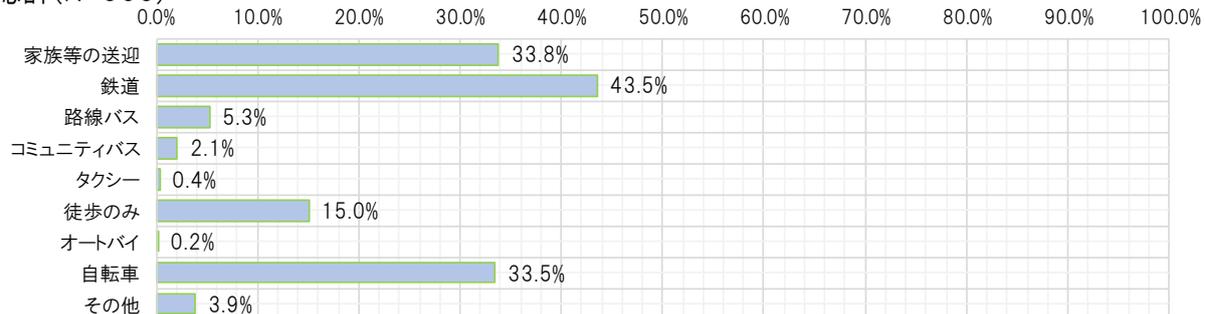
石田高校(N=130)



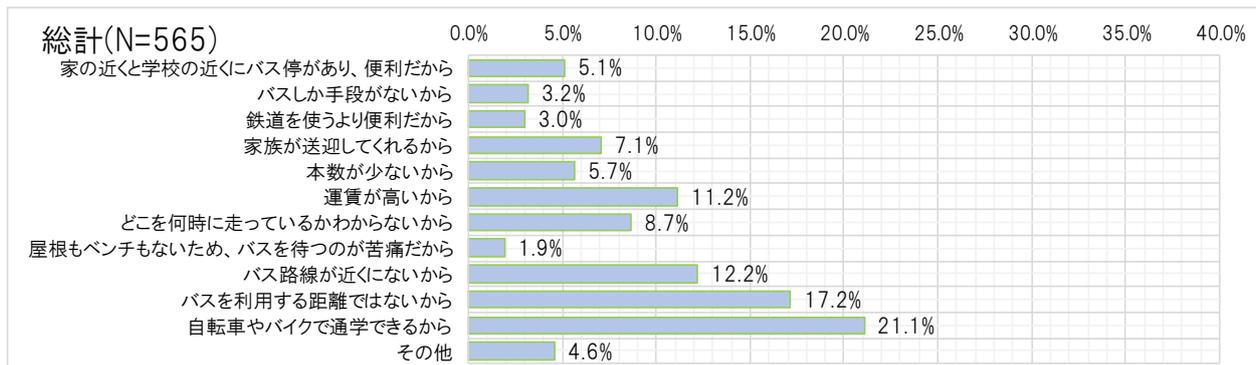
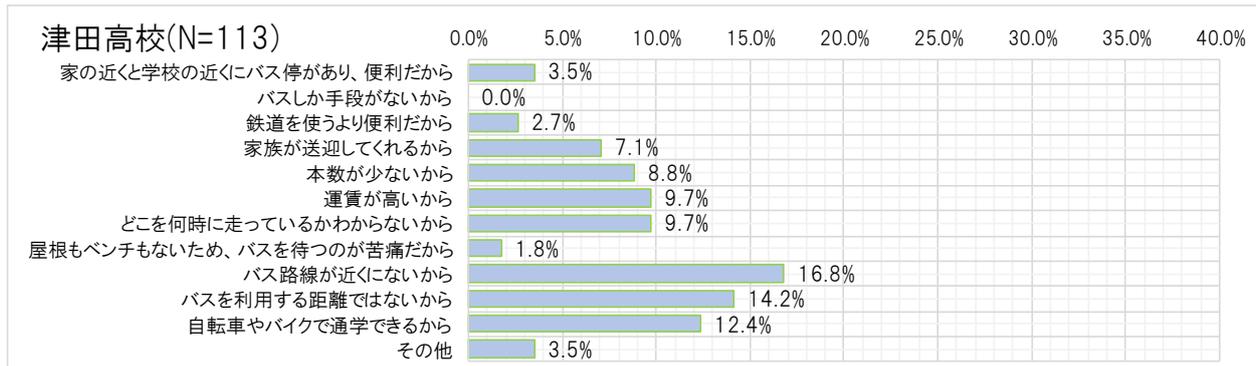
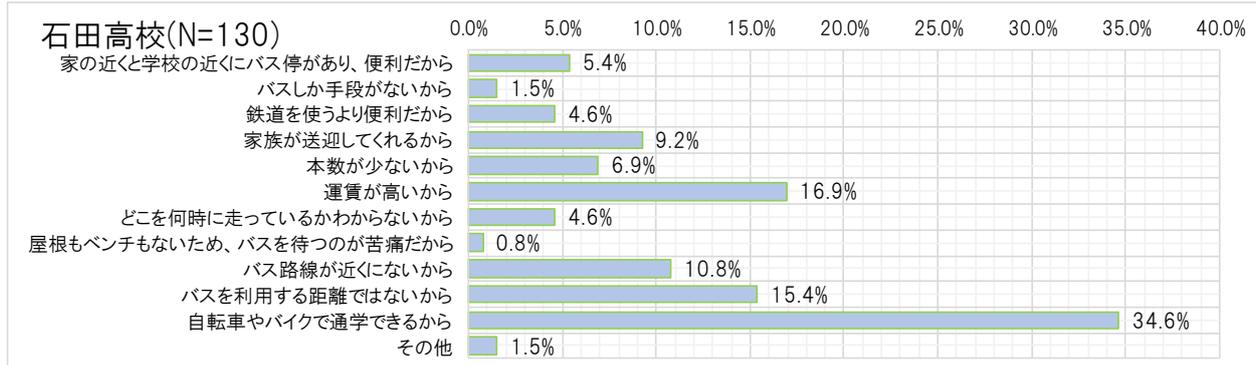
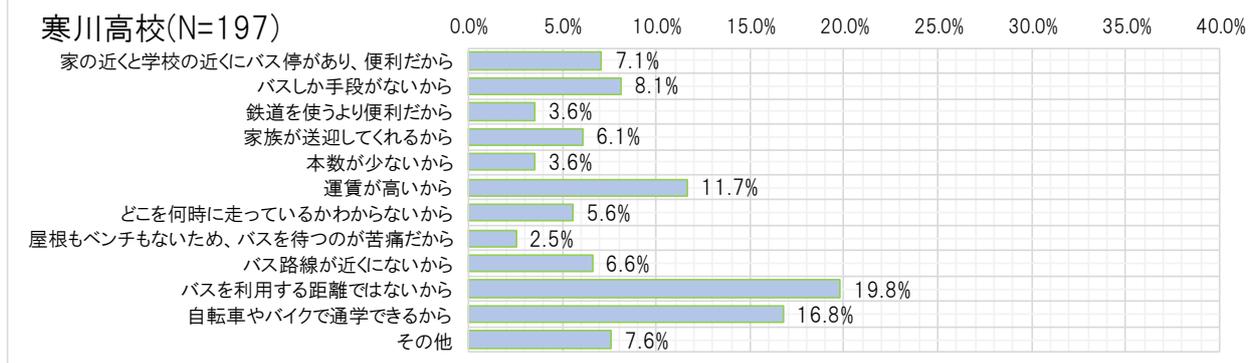
津田高校(N=113)



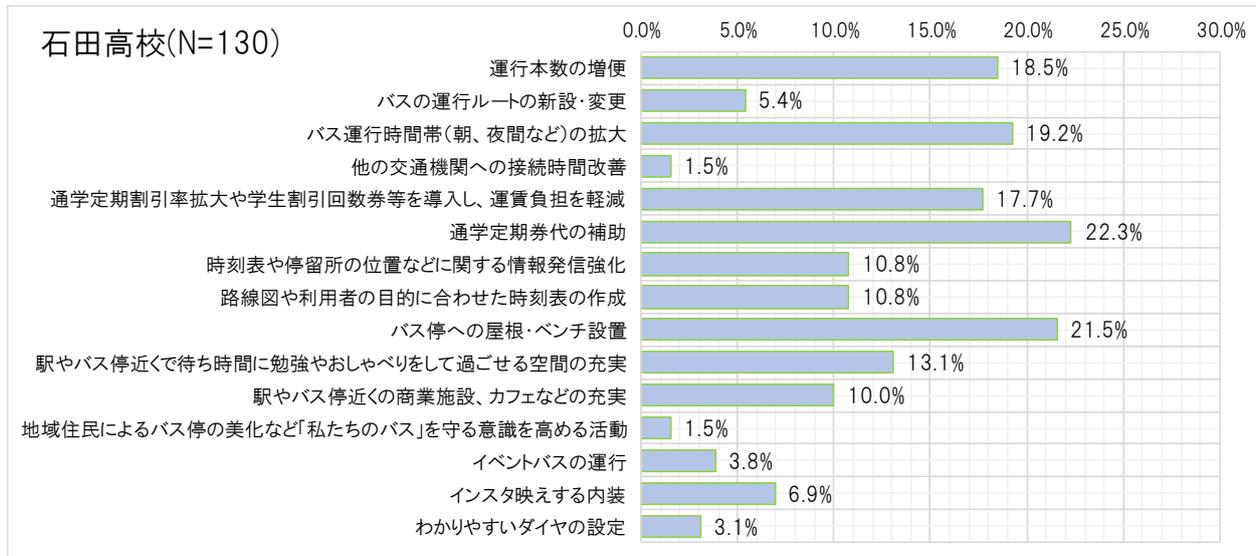
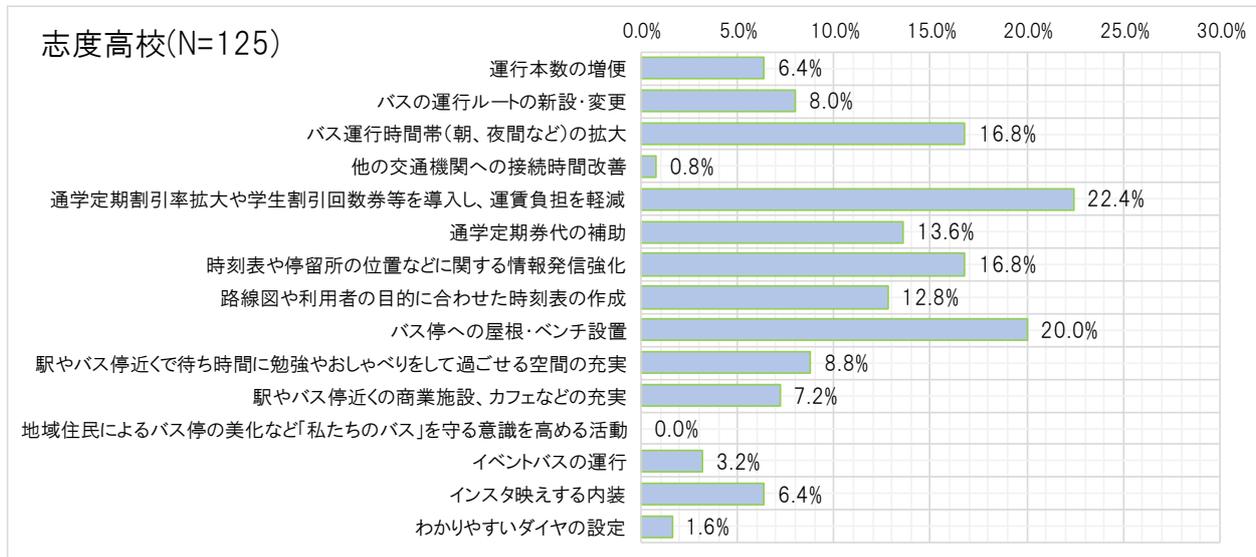
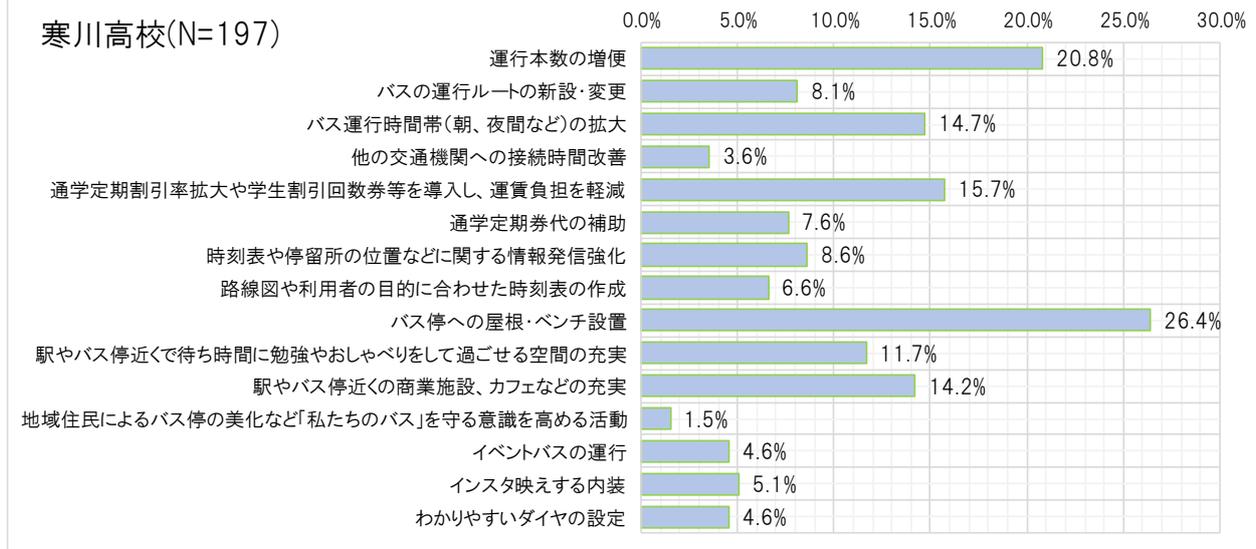
総計(N=565)

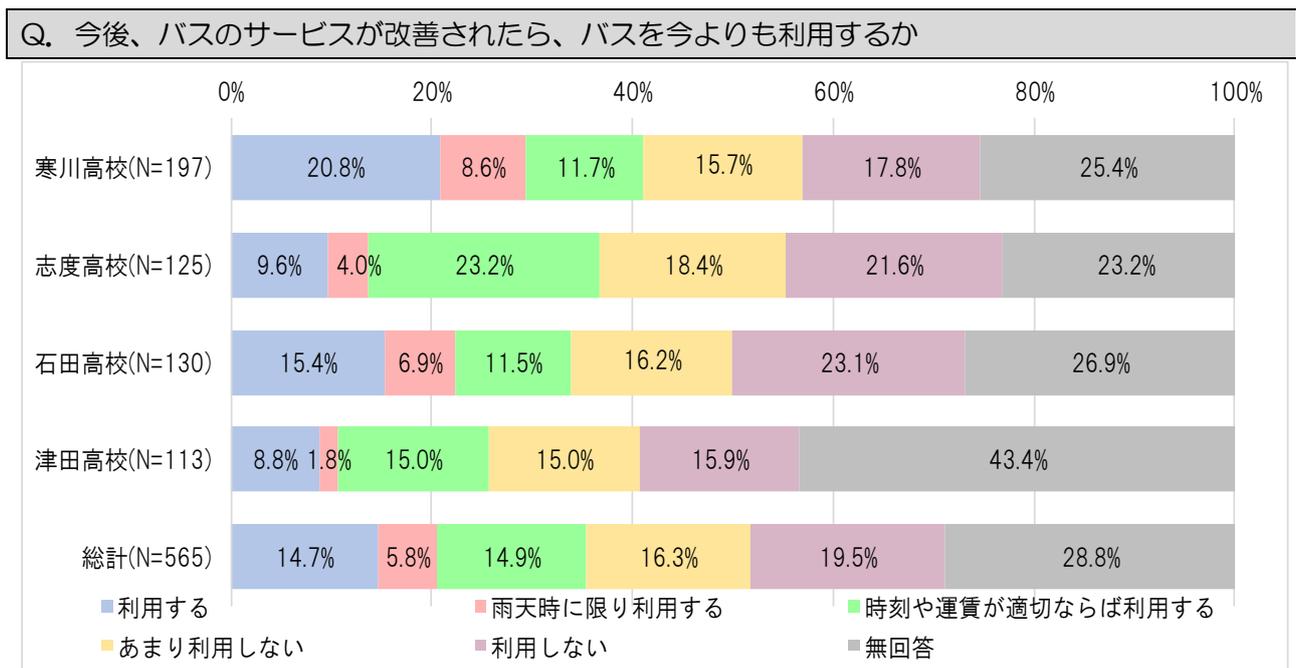
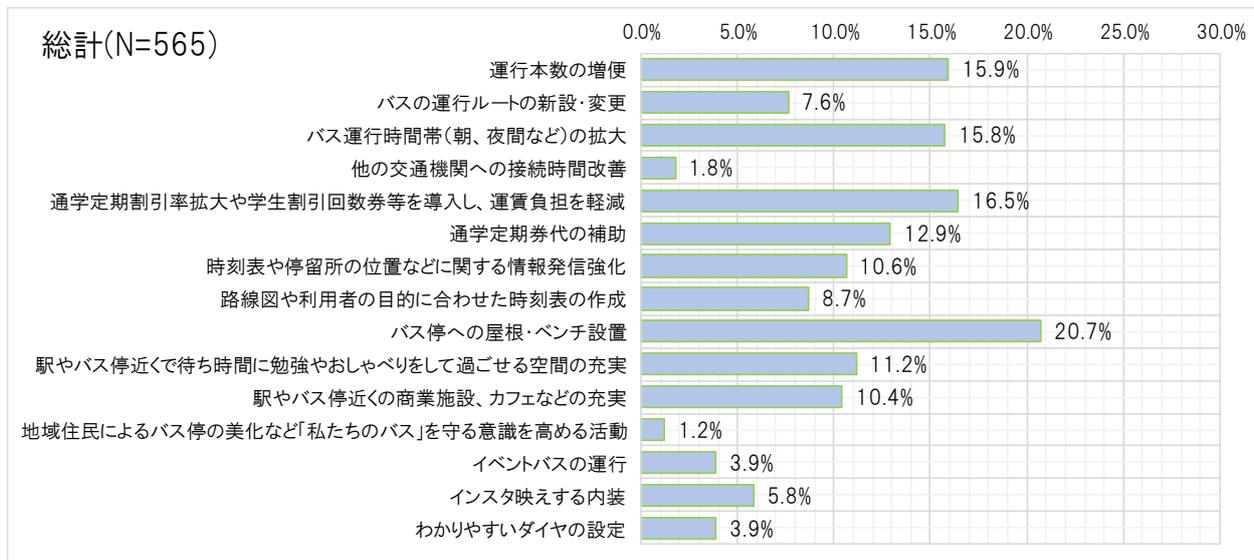
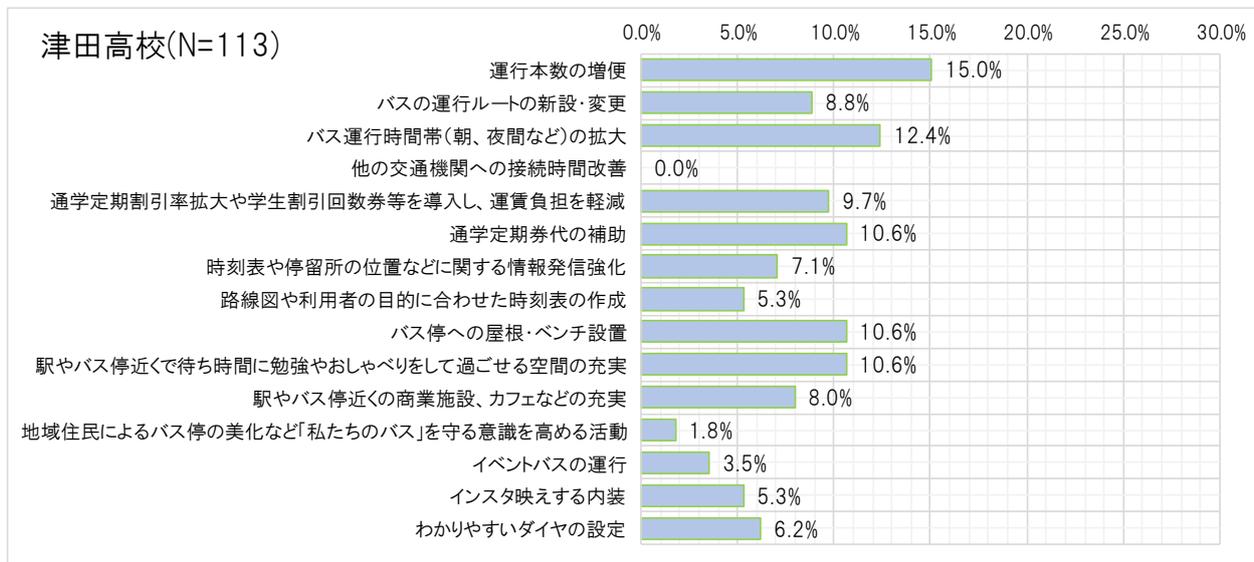


Q. 通学時にバスを利用する又は利用しない理由



Q. 利用者を増やすには、どのような取り組みが必要だと思うか





(5) 施設・来街者調査

【全体共通】

- 高齢者主体の自家用車利用による訪問
- 運転免許返納後の公共交通利用ニーズがある

【さぬき市民病院】

- 半数以上が70代以上…70代以上（53.7%）、60代（23.5%）
- 市内利用者が主だが市外からの通院者も多い
- 公共交通への要望⇒「増便」（34.6%）

【志度寺】

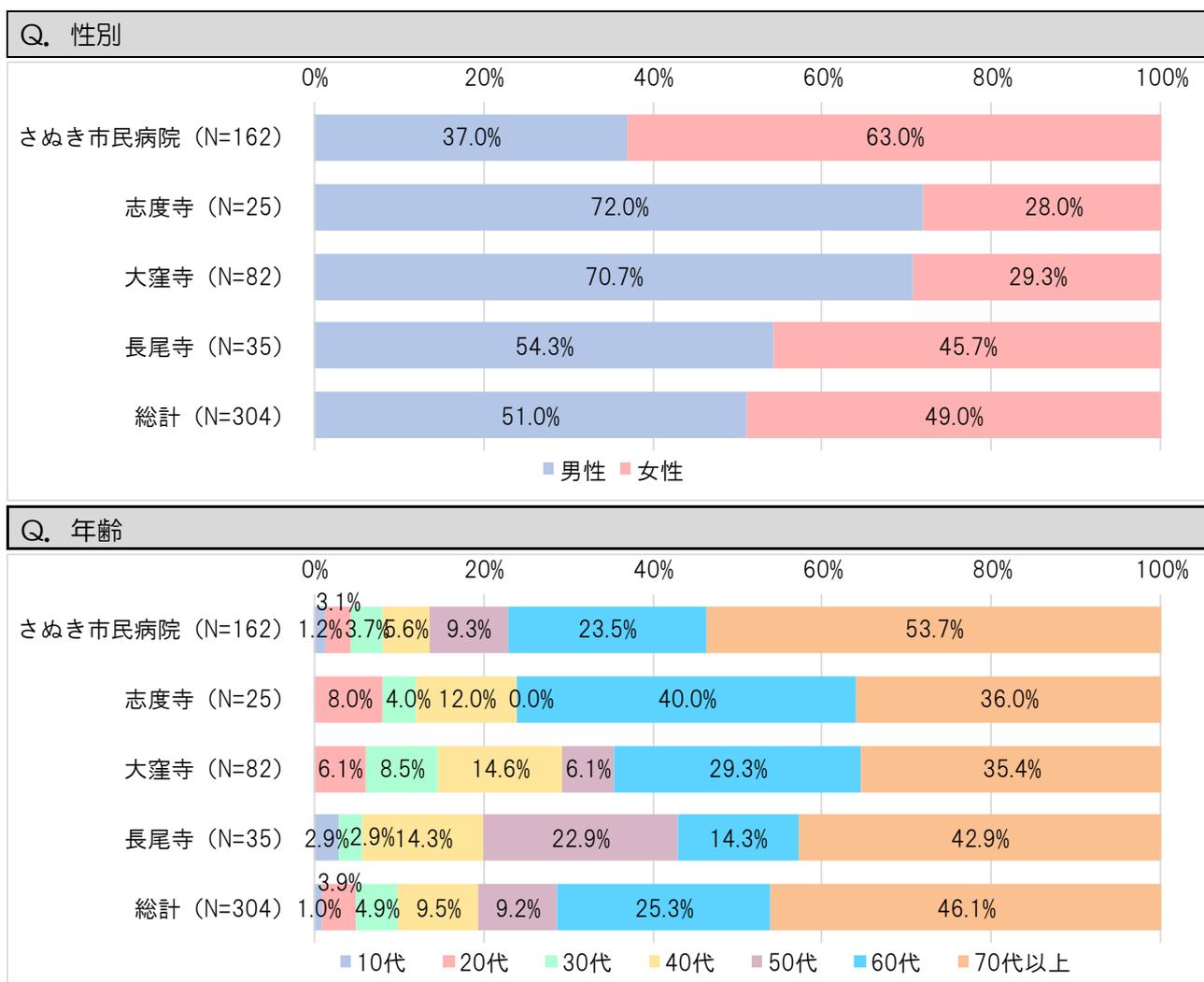
- 60代・70代以上が主…70代以上（36.0%）、60代（40.0%）
- 市外からの訪問者が大半を占め、鉄道利用者が多い
- 公共交通への要望⇒「増便」（8.0%）、「運行時間帯の拡大」（8.0%）

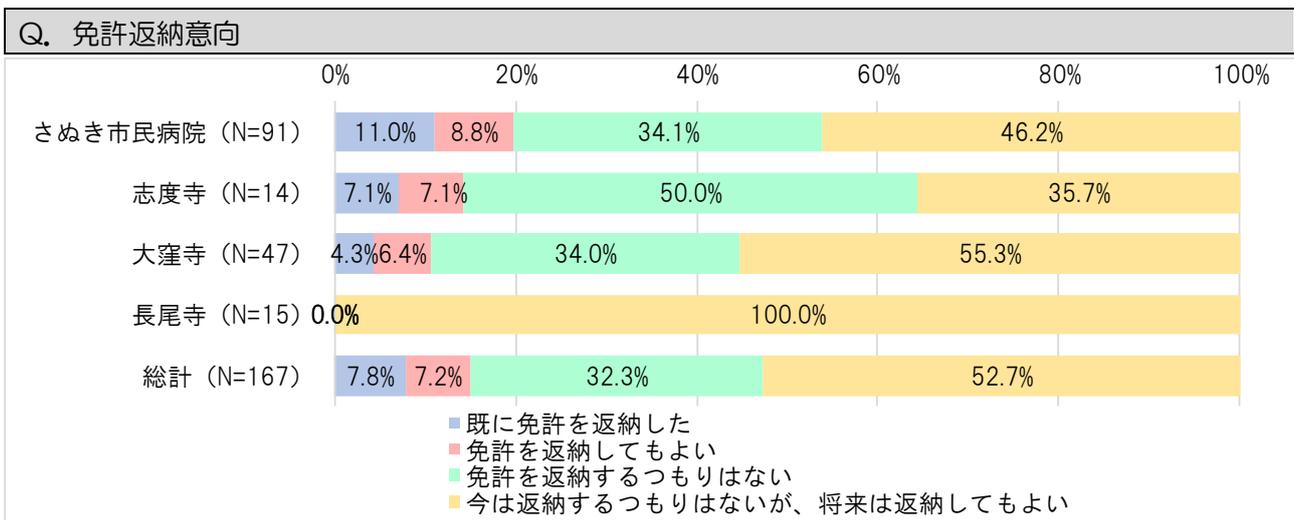
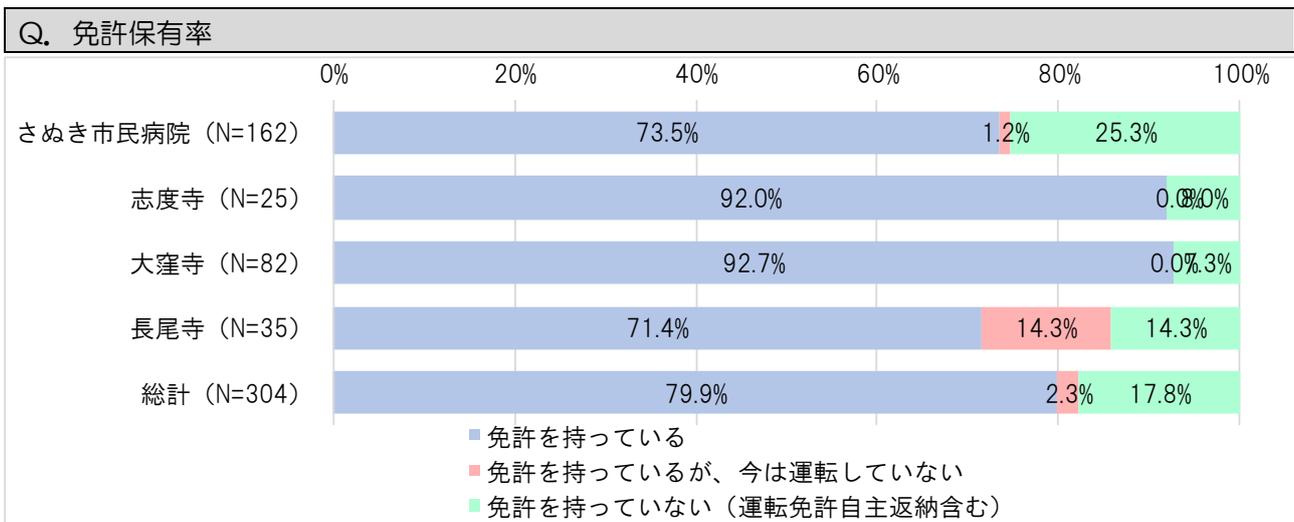
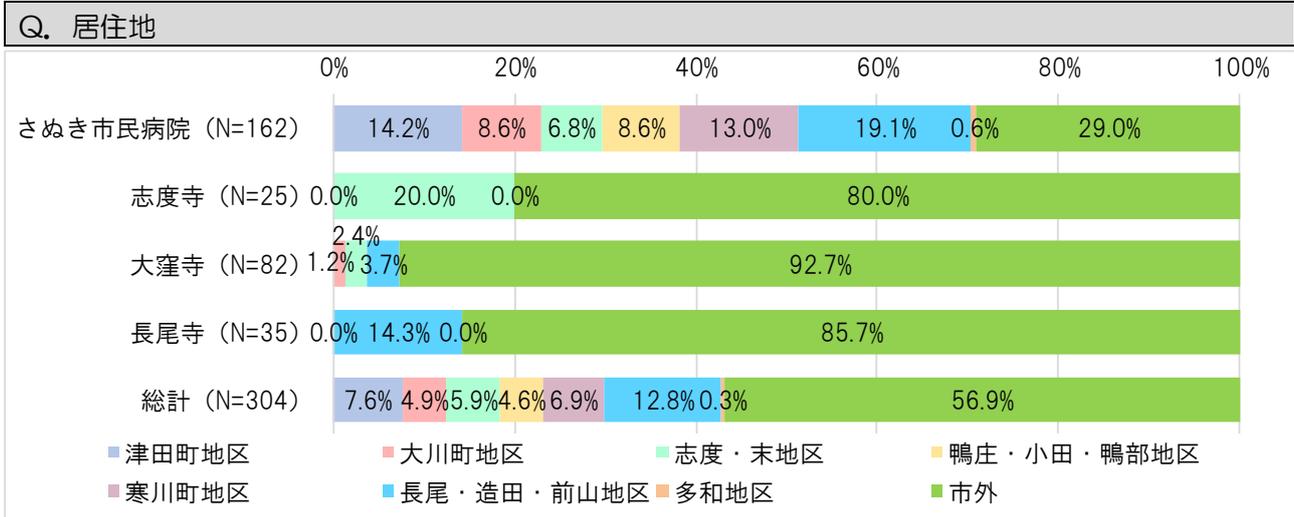
【大窪寺】

- 60代・70代以上が主…70代以上（35.4%）、60代（29.3%）
- 市外からの訪問者が大半を占める
- 公共交通への要望⇒「増便」（19.5%）、「運賃値下げ」（11.0%）、「バス停周辺への駐車場等の整備」（11.0%）

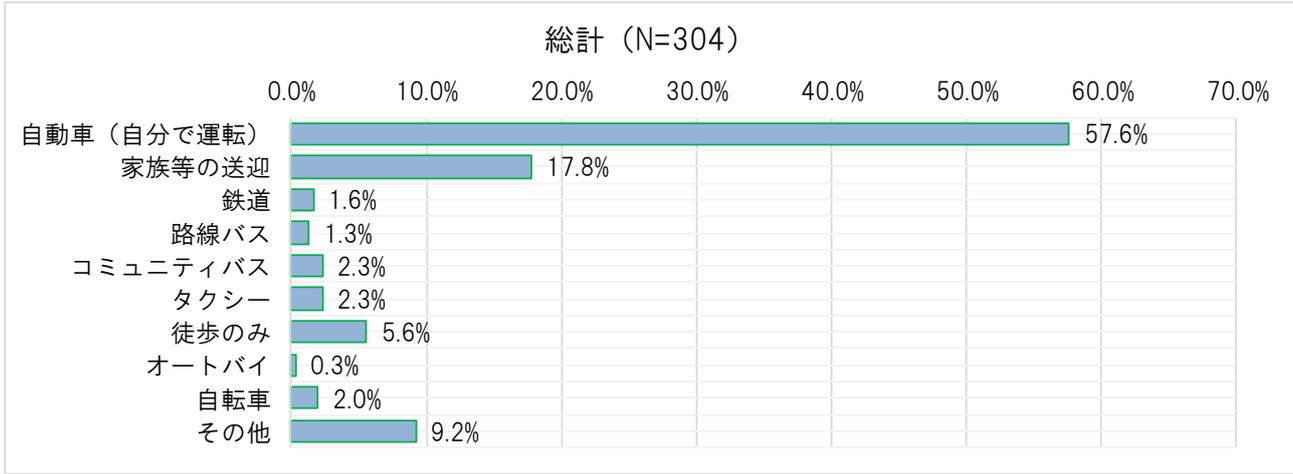
【長尾寺】

- 50代・70代以上が主…70代以上（42.9%）、60代（14.3%）、50代（22.9%）
- 市外からの訪問者が大半を占める
- 公共交通への要望⇒「バス停周辺への駐車場等の整備」（14.3%）

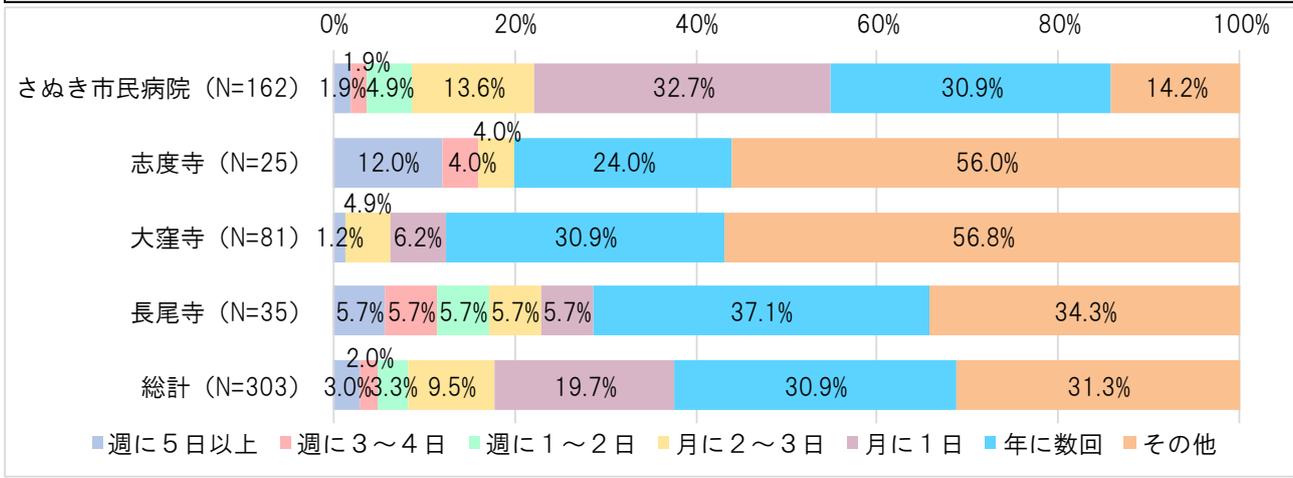




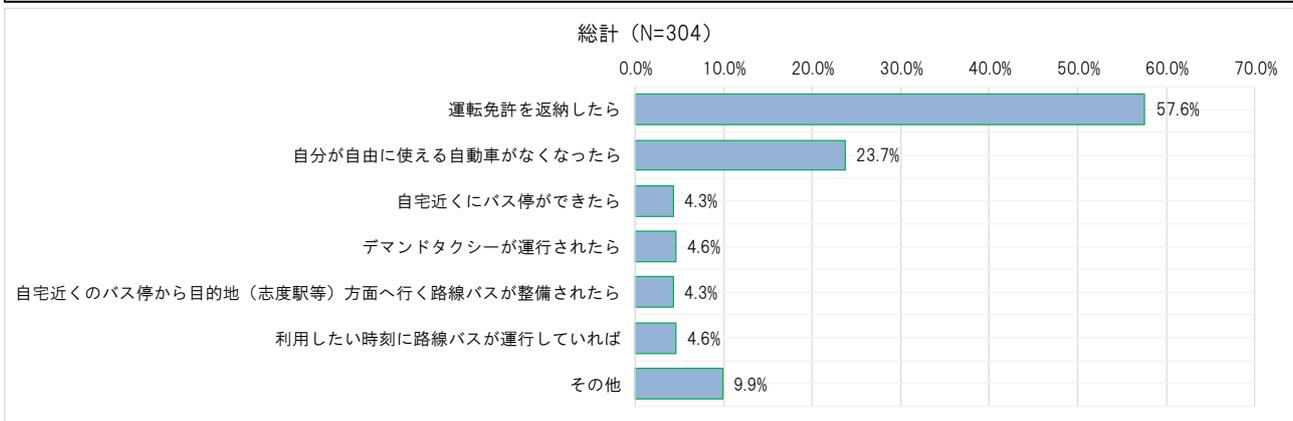
Q. 交通手段



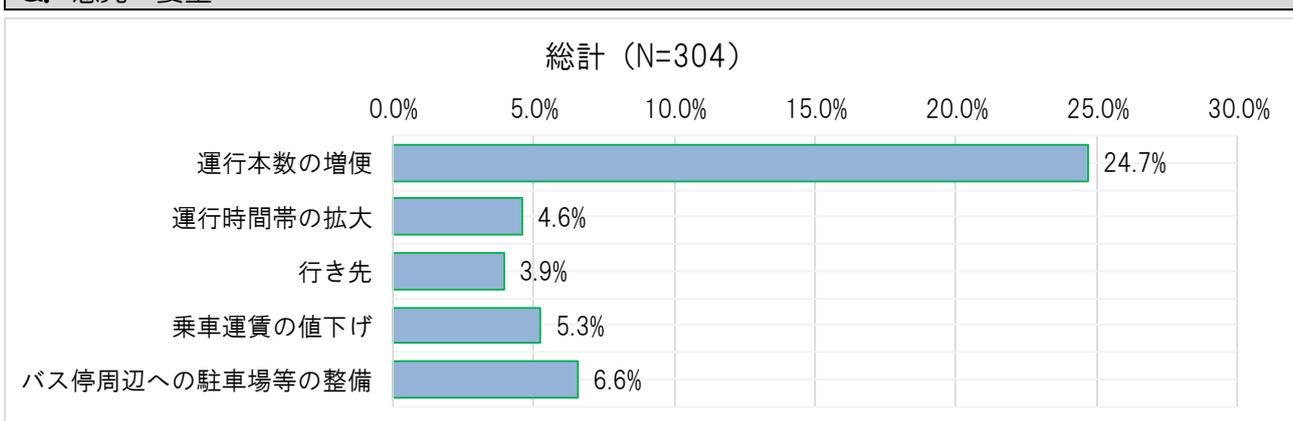
Q. 頻度



Q. 公共交通の利用条件



Q. 意見・要望



(6) デマンド交通ニーズ調査

①大川地区の概要

- さぬき市の南東に位置し、県道 2 号線（さぬき東街道）沿いの平地部に市街地が形成され、また南側には讃岐山脈を抱えている。
- みろく自然公園を活かしたアウトドアレジャー・自然体験学習型観光・レクリエーション・交流拠点、四国最大級の富田茶臼山古墳を活かした歴史文化拠点、農業基盤やふれあい市場を活かした農業振興の拠点としての役割が期待されている地区です。
- 市内でも人口減少及び高齢化の進展が著しく、地区のほとんどが公共交通空白地域となっている。

■大川町田面地区位置図



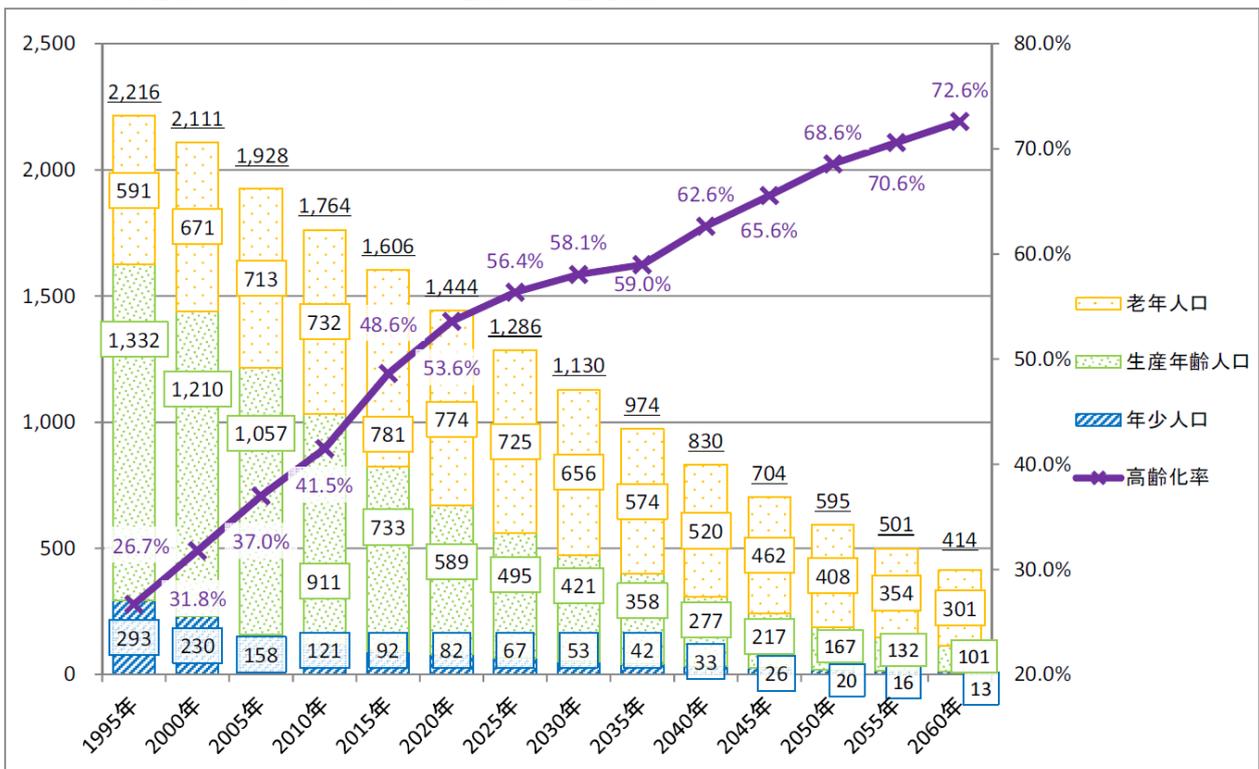
出典：さぬき市公共施設白書

■田面地区の人口推移（さぬき市住民基本台帳）

年月	人口	世帯数	平均世帯人数
平成 25 年 7 月末日	903人	424世帯	2.13人/世帯
平成 26 年 7 月末日	900人	428世帯	2.10人/世帯
平成 27 年 7 月末日	888人	430世帯	2.06人/世帯
平成 28 年 7 月末日	879人	434世帯	2.03人/世帯
平成 29 年 7 月末日	853人	427世帯	2.00人/世帯
平成 30 年 7 月末日	833人	421世帯	1.98人/世帯
令和元年 7 月末日	811人	415世帯	1.95人/世帯

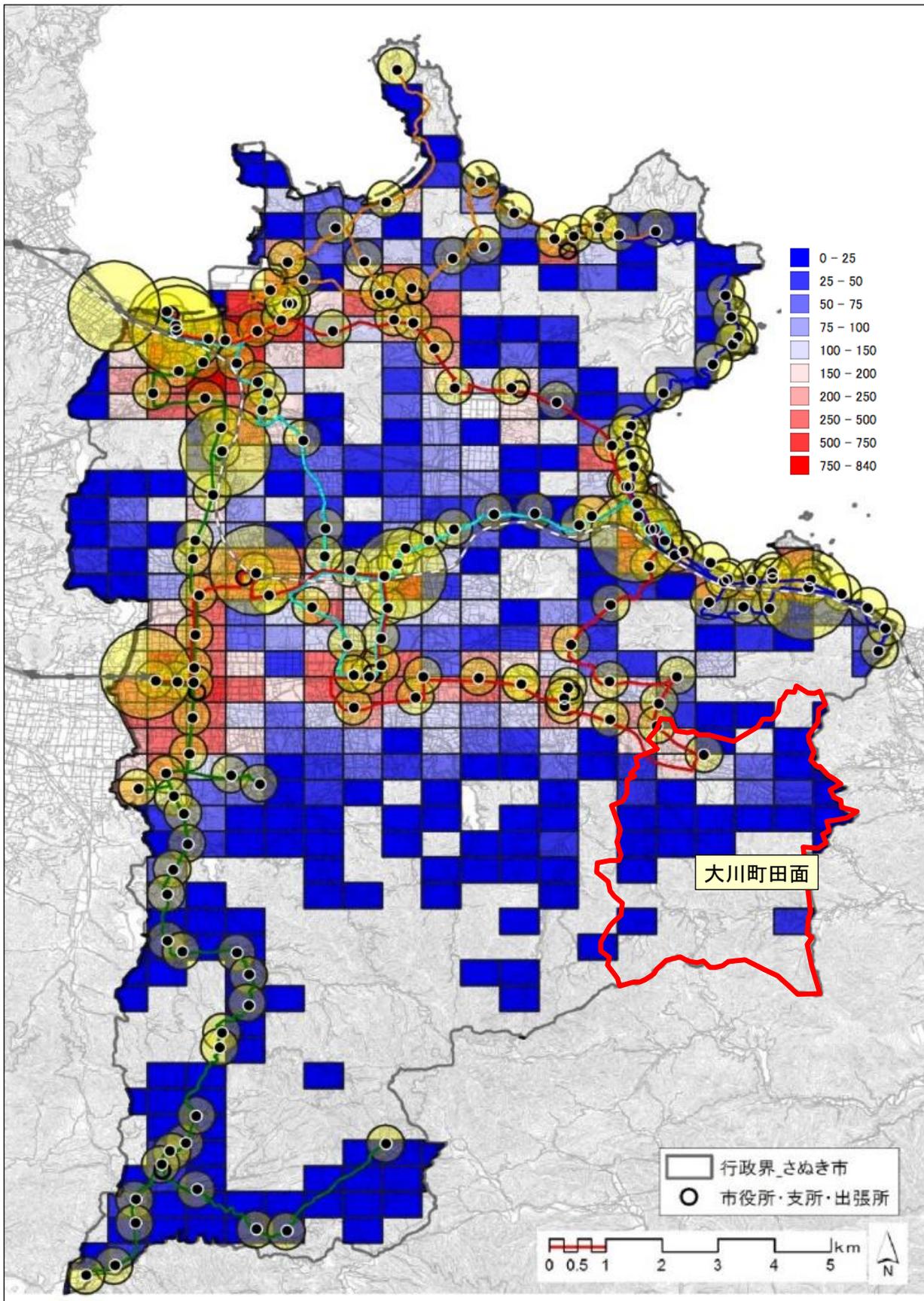
■松尾地区の将来人口（富田東地区+田面地区）

単位：人



資料：国勢調査を用いて市推計値により作成

■公共交通利用圏域（鉄道駅から1km、バス停から300m）と人口分布状況



②デマンド交通実験運行計画の概要

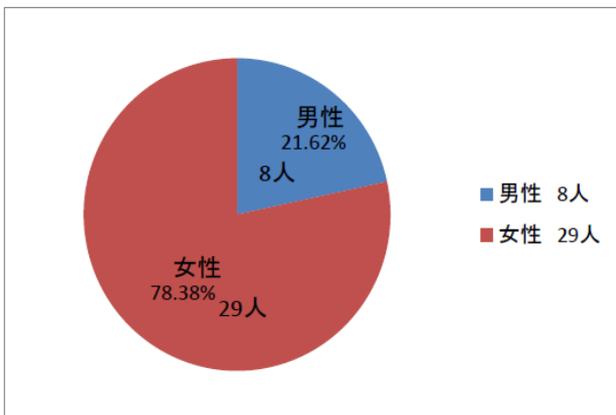
項目	内容
①運行エリア	<p>大川町田面地区全域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅 <p>共通乗降場所</p> <p>【公共施設】市役所寒川庁舎、大川出張所</p> <p>【就業施設】道の駅みろく、ザ・ビック寒川店</p> <p>【医療施設】さぬき市民病院、陶山医院</p>
②利用対象者	田面地区内在住者（利用希望者は登録制とする）
③運行期間	令和元年 10 月 16 日（水）から 11 月 11 日（月）17 日間
④運行日	平日のみの運行（月曜日～金曜日）、土日祝日を除く
⑤運行時間帯・便数	<p>運行時間帯：8 時から 15 時までの間で設定</p> <p>運行便数：7 便/日 程度 8 時、9 時、10 時、11 時、13 時、14 時、15 時 （運転手の昼休憩を考慮し 12 時から 13 時は運行しない）</p>
⑥乗降方式	<p>ドアトゥドア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者の自宅及び設定した共通乗降場所以外には停車しない。
⑦運賃	無料（実験運行のため）
⑧運行車両	ワンボックス型車両、1 台
⑨利用方法	<p>利用は事前予約制とし、利用予定の 1 時間前までとする。</p> <p>ただし、朝の第 1 便のみ前日の受付時間内とする。（予約日が月曜日の第 1 便の場合は前週の金曜日まで）</p> <p>予約受付時間は、8 時から 17 時までとする。</p> <p>※専用電話による受付可能</p>
⑩予約センター	大川タクシー内
⑪配車システム	既存タクシー無線による配車
⑫委託方法	タクシーメーター料金による実費精算とする。

③実験結果概要

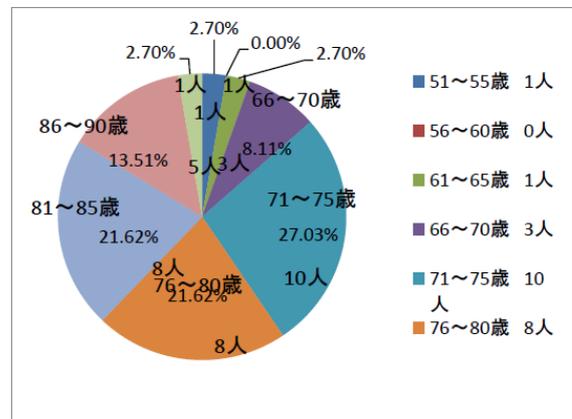
	項目	数値等
実験運行	実施期間	10月16日(水)~11月11日(月)17日間
	実運行日	15日
	登録者数	88人
	延べ利用者数	122人
	運行回数	46便
	運行経費(メーター料金)	119,980円
	1日当たり利用人数	8.1人/日
	1便当たり平均利用人数	2.7人/便回
	1人当たり利用料金	983円/人回
アンケート	配布数	88人
	回収数	65人
	回収率	73.8%



デマンド型乗合交通実験運行 利用者 男女比の割合 37人



デマンド型乗合交通実験運行 利用者 年齢の割合 全体 37人



■田面地区デマンド交通実験運行乗車実績値

田面地区 デマンド型乗合交通(デマンドタクシー)実験運行 利用人数

実施期間: 令和元年10月16日(水)~11月11日(月) 平日のみ

(人)

	第1便 (8:00)	第2便 (9:00)	第3便 (10:00)	第4便 (11:00)	第5便 (13:00)	第6便 (14:00)	第7便 (15:00)	日計
10月16日(水)	0	1	0	0	3	0	3	7
10月17日(木)	0	1	0	1	0	0	0	2
10月18日(金)	0	0	0	0	0	0	0	0
10月21日(月)	0	0	0	0	0	0	1	1
10月23日(水)	0	0	0	0	0	0	0	0
10月24日(木)	1	0	0	0	0	0	0	1
10月25日(金)	1	7	3	5	0	0	1	17
10月28日(月)	0	0	0	1	5	5	0	11
10月29日(火)	0	0	0	0	1	3	2	6
10月30日(水)	2	5	6	2	0	2	3	20
10月31日(木)	1	0	0	0	0	0	0	1
11月1日(金)	0	0	2	0	0	0	0	2
11月5日(火)	0	0	0	0	4	3	0	7
11月6日(水)	0	0	0	1	1	5	5	12
11月7日(木)	0	2	2	0	1	0	0	5
11月8日(金)	0	3	3	0	2	0	3	11
11月11日(月)	1	0	0	0	9	1	8	19
合計	6	19	16	10	26	19	26	122

乗車場所、降車場所 利用数

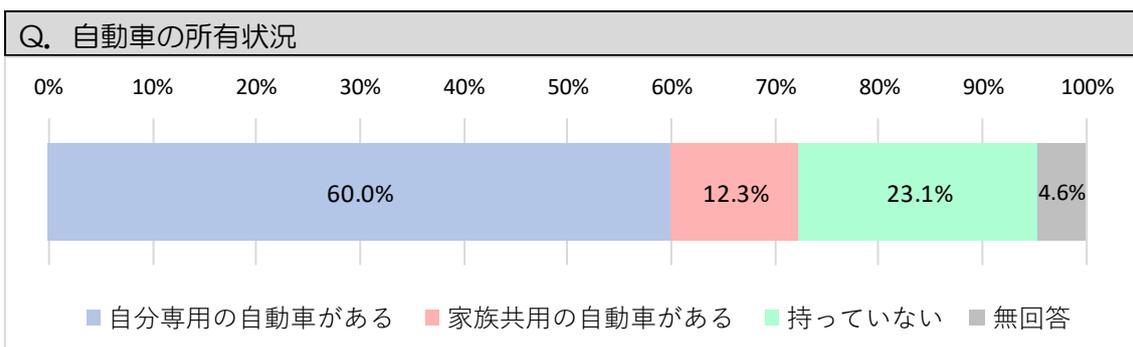
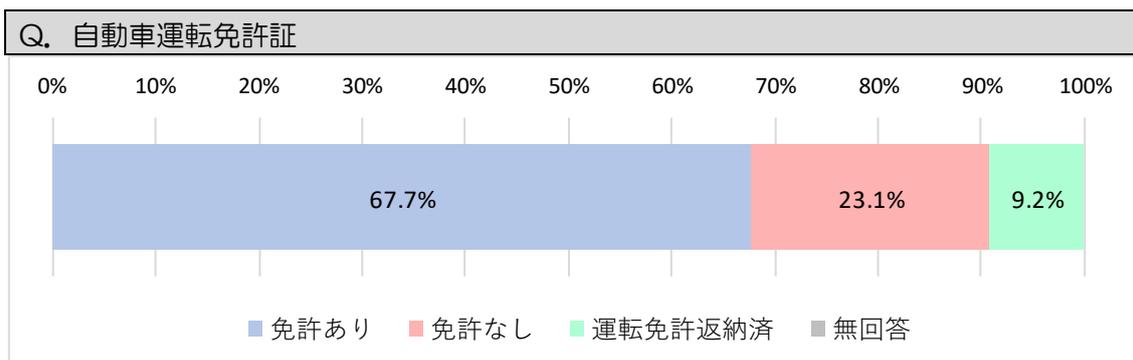
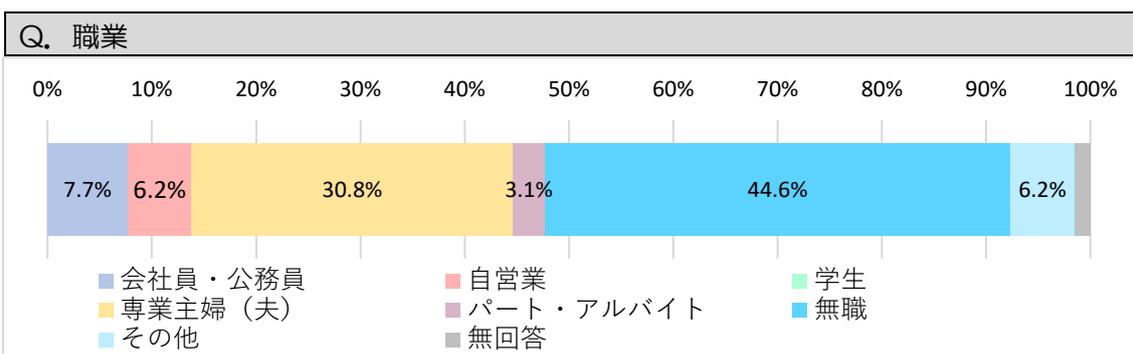
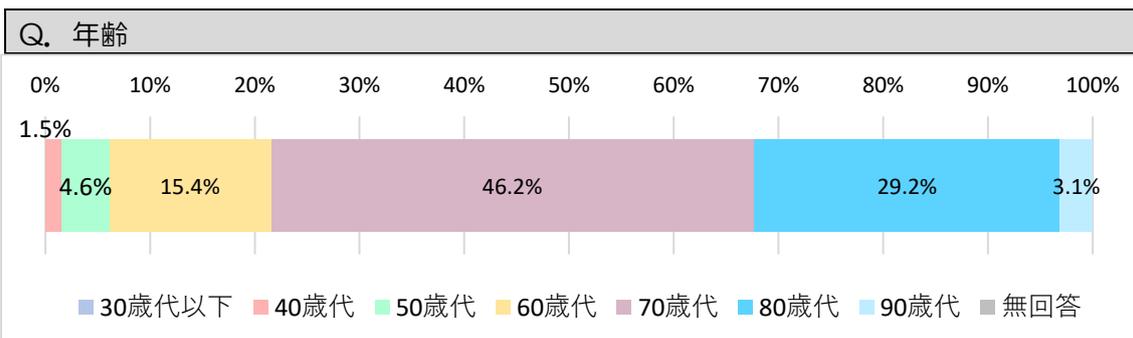
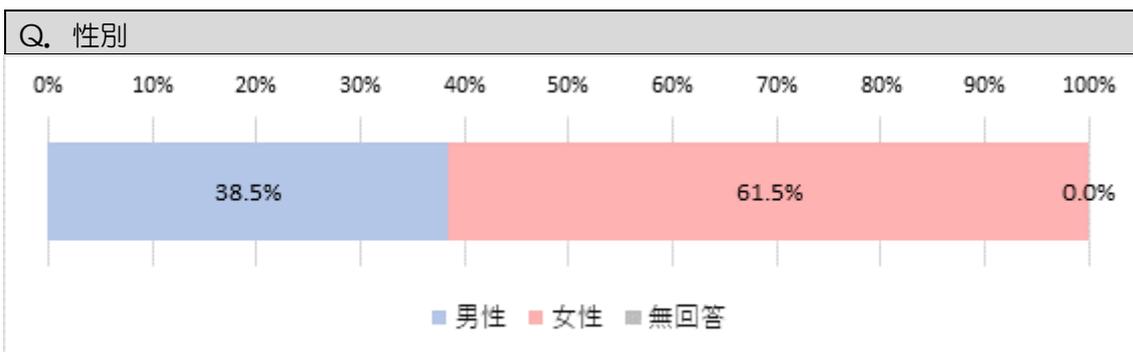
(人)

	乗車場所								降車場所							
	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	計	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	計
自宅	6	18	3	2	25	9	2	65	0	0	13	8	0	10	24	55
寒川庁舎	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	2	0	0	6
大川出張所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
道の駅みろく	0	0	1	0	0	1	8	10	2	1	0	0	1	2	1	7
ザ・ビック寒川店	0	0	12	4	0	9	15	40	1	15	2	0	22	7	0	47
さぬき市民病院	0	0	0	3	1	0	1	5	1	2	1	1	1	0	0	6
陶山医院	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1
計	6	19	16	10	26	19	26	122	6	19	16	10	26	19	26	122

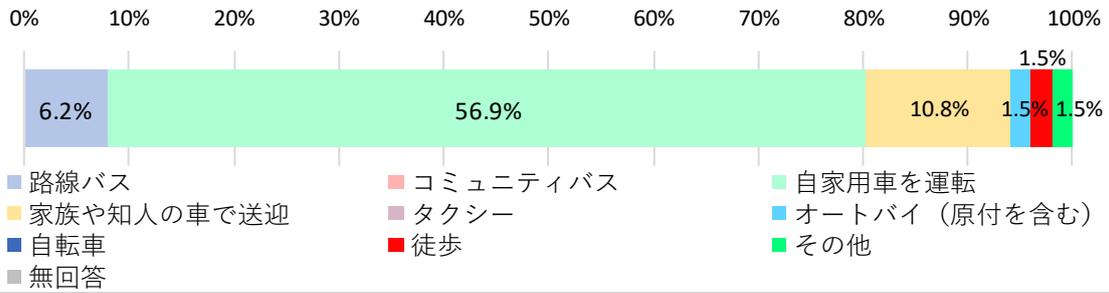
■田面地区デマンド交通実験乗車実績

	自宅	道の駅みろく	大川出張所	寒川庁舎	ザ・ビック寒川店	さぬき市民病院	陶山医院	立割会堂
立割				1		3		
外ヶ原		1	8					
王子					1			
阿条谷		2		2				
森行								
鹿庭								
大国木			2					
宗延				1				
大東		1						
鮎俣				1				
山下								
豊田								
碓石								
新名								

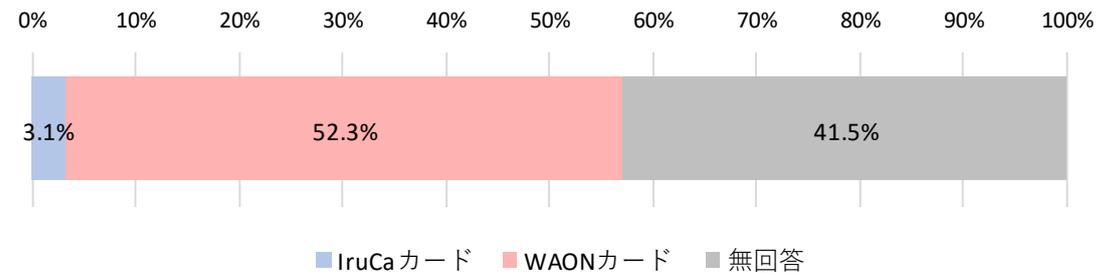
④デマンド交通登録者アンケート調査結果



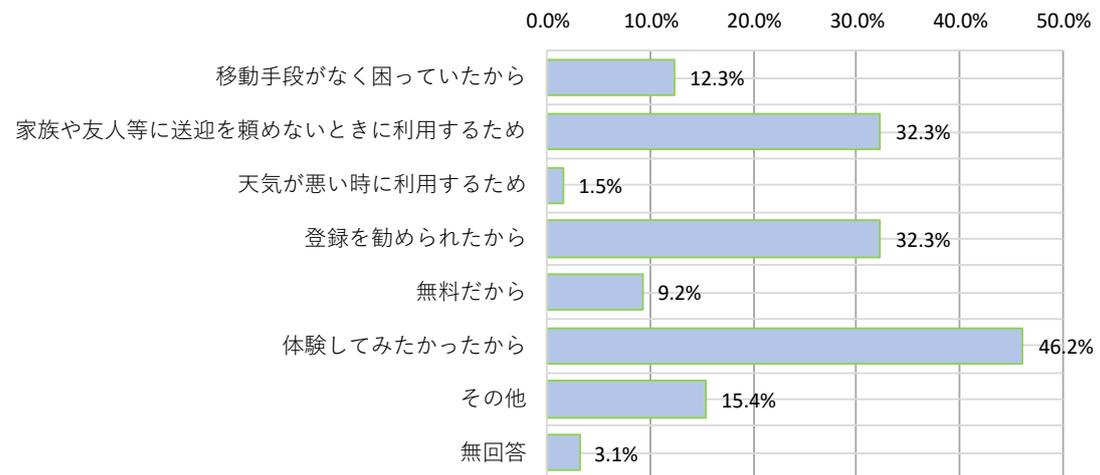
Q. 外出について



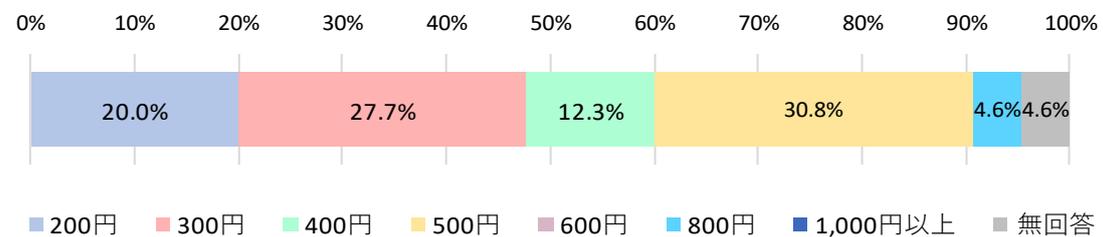
Q. 所持カード



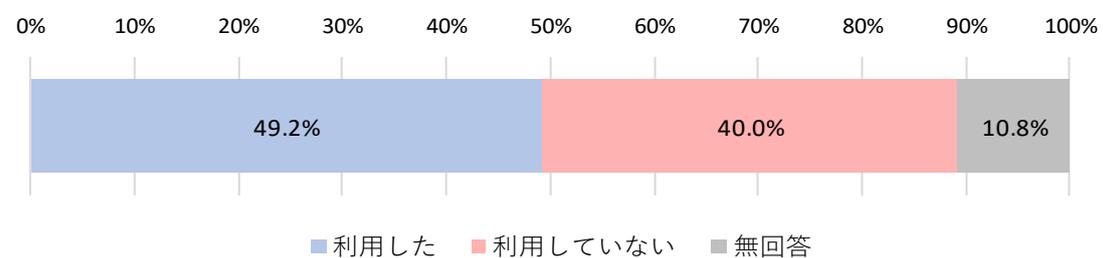
Q. デマンド交通登録の理由



Q. 許容金額

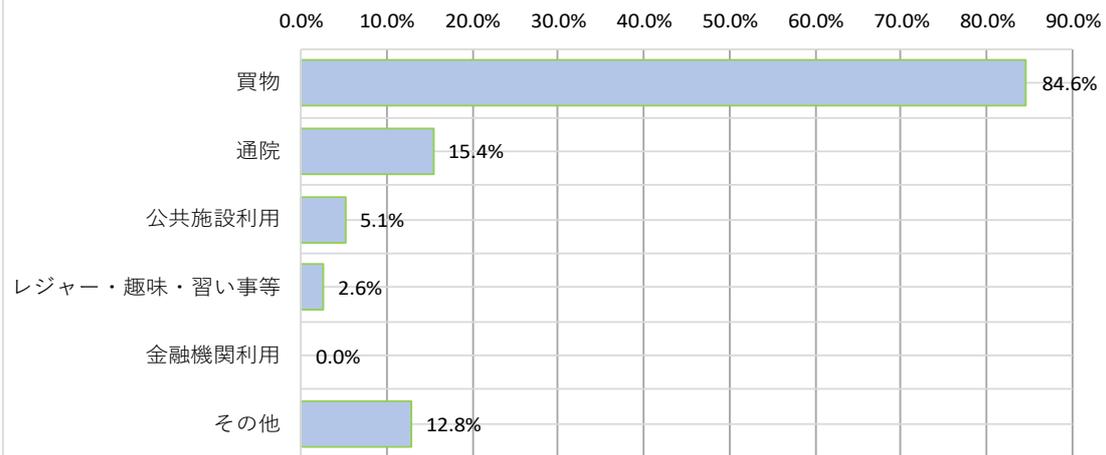


Q. 利用実績

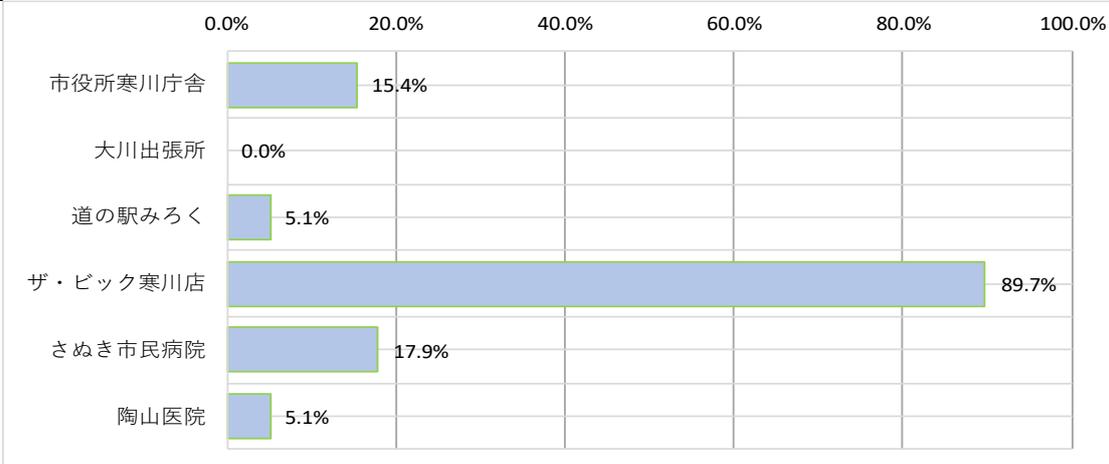


【利用者】

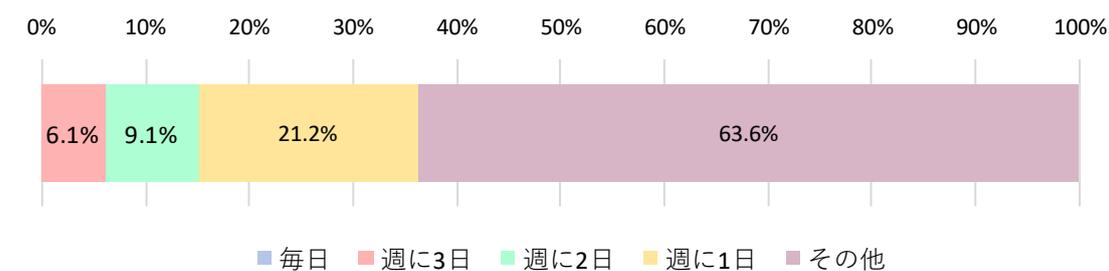
Q. 利用目的



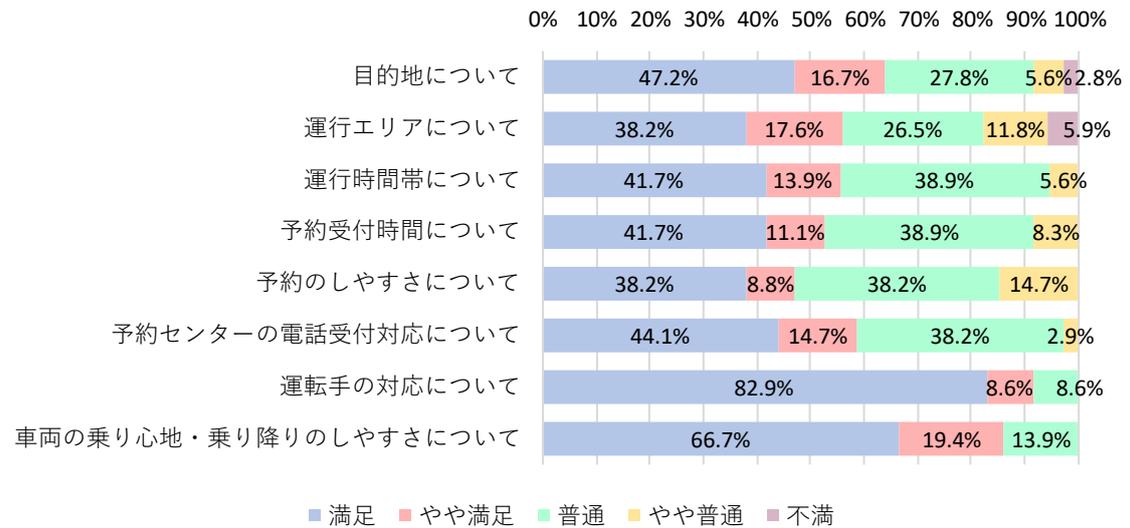
Q. 行き先



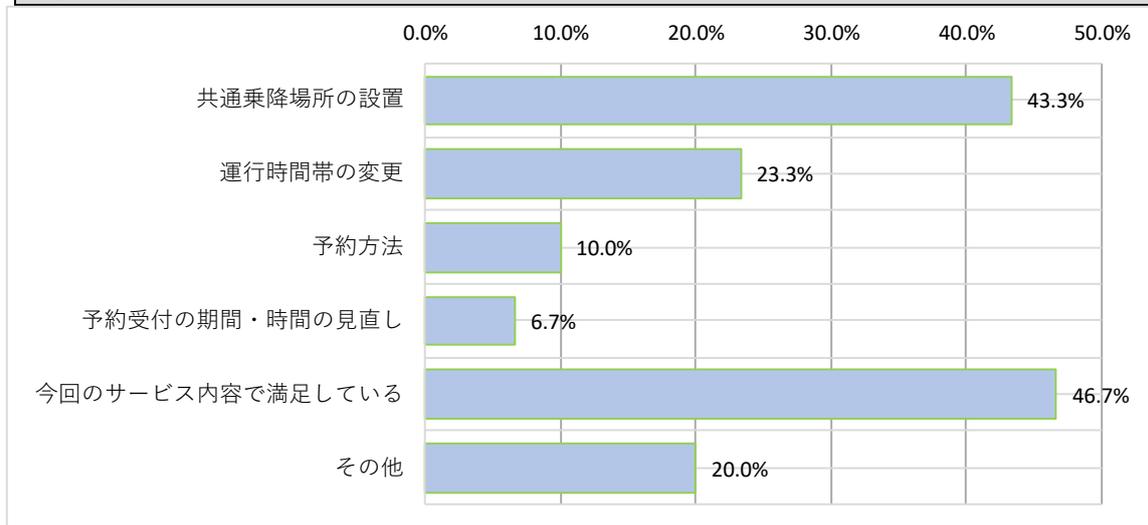
Q. 利用頻度



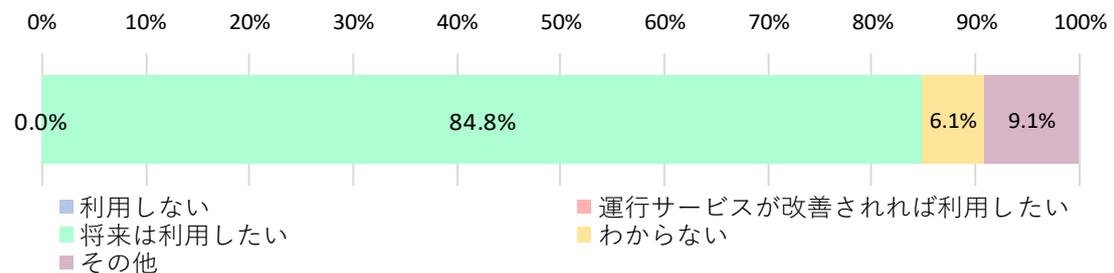
Q. 満足度



Q. 改善してほしいサービス

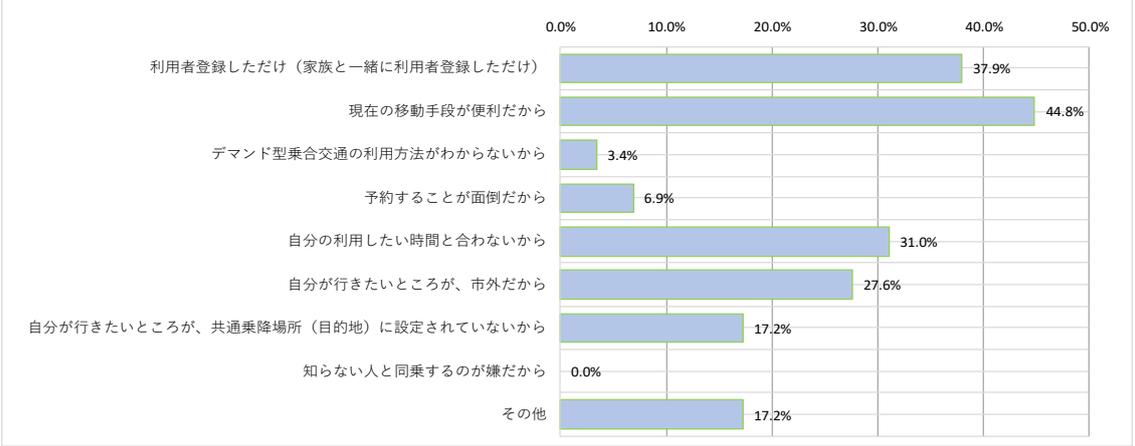


Q. 今後の利用意向（利用有り）

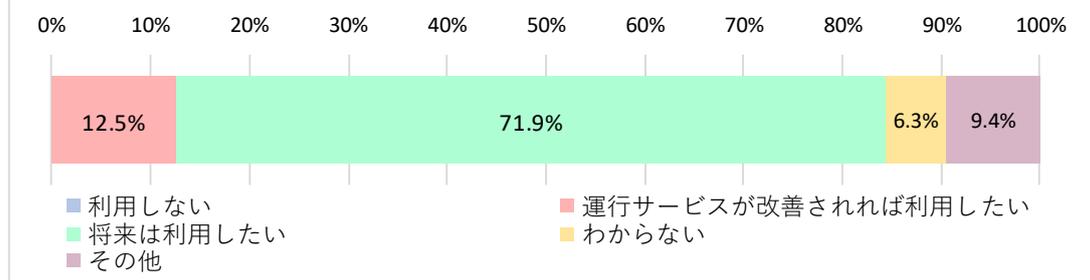


【非利用者】

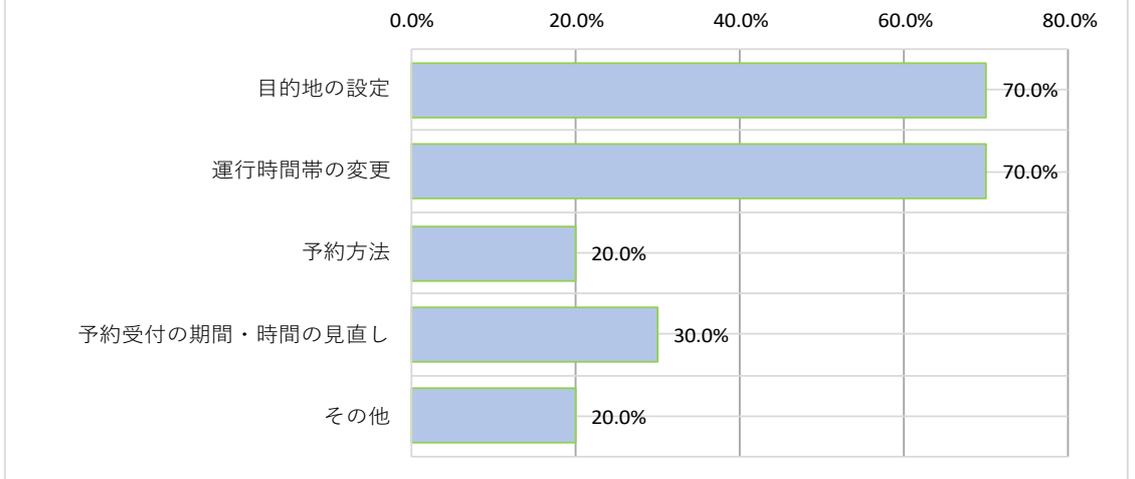
Q. 利用しなかった理由



Q. 今後の利用意向（利用無し）



Q. 改善してほしいサービス



■利用特性

- 立割（39）、外ヶ原（29）、王子（20）、阿条谷（14）等長尾街道沿線地域からの利用が多い
- 登録者の約50%が利用した
- 主な行き先は買物目的（ザ・ビック寒川店）90%
- 80%以上が今後も利用要望あり、必要性が高い
- 支払い許容運賃は500円が31%で最も多い
- 運転手の対応の満足度が非常に高い一方、運行エリアについては不満がやや多い

■登録者の主な声（登録者アンケートより抜粋）

- 運転免許証を返納したら利用したい（70代女性）
- コミュニティバスと連結できれば便利だろう（70代女性）
- タクシーより安ければ良いがあまり変わらないならメリットがない（90代男性）
- 足腰の悪い人たちには家から目的地まで行けるのは良いので大いに利用しますので、なるべく早く実行してください（80代女性）
- とりあえず、現行のコミュニティバスを利用する人が増えることを願っています（70代女性）
- 目的地を増やし、運行時間は30分間隔が適当では？まとめて荷物を置ける場所があればよい（60代女性）

■実施に向けて（検証結果）

- 今後自家用車を利用できなくなった場合など、将来一定のニーズがあることを把握できた
- コミュニティバスよりも高い運賃を許容しており、受益者負担の意識があるといえる
- 共通乗降場所（目的地）や運行時間についてについて見直し検討も必要である
- 実験ではお迎え予定時刻とお迎え時間のずれは5分以内だった。10分刻みでお迎え予定時刻を告げるなど、担当地区の地理を熟知し、普段から走行していることから生じる「勘」によるオペレートが必要
- 予約者が増え、ピックアップに時間がかかり目的地への到着時刻が想定より遅れたお客様からは不満の声があったことから、診察など時刻が決まっている場合等の対応策が必要

⑤デマンド交通の運行条件（令和元年12月12日実施交通事業者との意見交換より）

■車両借り上げ

【理由】

- メーター料金精算の場合、予約がなく運行しないと労働対価にならない
- 時間単価による車両借り上げによる運行（現行通り）

■受付オペレーターはタクシー事業者以外で実施

【理由】

- 一般タクシーとの受付の仕分けが難しい
- 受付専用オペレーターが必要になるが、経費増・人材不足により新たな雇用は難しい
- 受付オペレーターはスキルが必要となるため、タクシー事業者以外で実施希望

■運行エリアを限定

【理由】

- 広域的なエリア対応は、時間的なロスも発生し効率的な運行が難しい
- 既存タクシー需要との競合により、収入減のおそれ
- 5社で3台による共同運行（現行通り）

- 
- 上記の結果を踏まえ、デマンド交通の導入は、検討課題（各社共同運行による運行エリア決定時の不公平感、サービスに対する費用対効果等）が多く短期的な導入は難しい。

(7) 交通事業者ヒアリング調査

○利用特性について

- 高齢者の利用が多く、利用者は特定の方であり一見様はほとんどいない。
- 平日午前中の高齢者の通院・買い物利用が主であり、土日休日は病院が休みの為利用は少ない。
- 生活交通としての利用が主であり、観光目的の利用はほぼ〇に等しい。(お遍路巡りで少々利用あり) 主な行先としては市内の病院・商業施設。
- 利用者や市民から寄せられている声として、「よく待たされる、早朝・夜間にタクシーがない。」「タクシー助成券の増加」が多い。

○運行上の問題点、経営上の問題点について

- 利用者の減少及び乗務員不足。車の依頼があるが、車両の確保が難しくお客様を待たせることがある。
- ドライバーの高齢化・人手不足問題における対応として、2種免許取得時の費用負担(原則3年勤務)を行っていたが、現在は制度を廃止。
- 若者ドライバーは、家庭を養うだけの給料を支払うことができないことから雇うことが困難である。
- 新規顧客の獲得よりもドライバーの確保を優先しないと、利用者需要に対応できない。
- 全国的な高齢者ドライバーの事故報道により、事故を懸念して退社された方もいる。

○乗合事業・デマンド交通事業等について

- 乗合・デマンド交通ともに行政関与にて初めて可能性と思われる事業である。
- 乗務員の確保が先行き不透明なので、今以上の参入は計画が立たない。
- 事業者単体での参入は厳しい。
- 現時点で参入したいが乗務員の数・年齢等の理由により参加が厳しいかもしれない。デマンド交通参入意向はあるが、運行形態により検討したい。
- どのような形での運営になるのか内容を聞いたうえでの検討。

○利用促進・経営改善等のために行っていること、今後計画していることについて

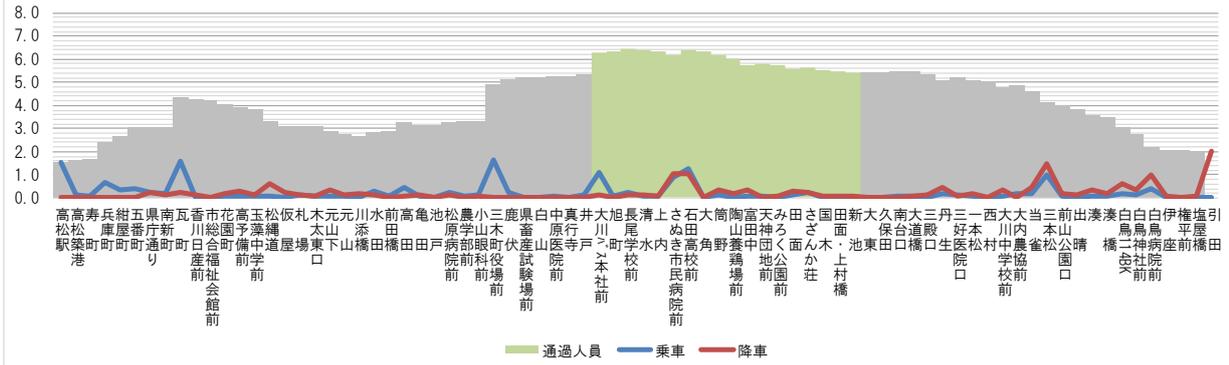
- 地域的に利用者の減少が顕著であり今後も回復の可能性も低いと思われるので新たな経営資本の投下は厳しい状況。
- 法人割引(1割引)を実施している。(その他割引制度との併用は不可)
- 65歳以上割引(1割引)を実施している。(その他割引制度との併用は不可)
- PayPay導入時に事業者が負担した金額は0円。
- PayPayの導入は便利だと感じており、今後も継続を考えているため百十四銀行からジャパンネット銀行への変更を検討している。
- キャッシュレス化(クレジットマルチ端末機の導入)も検討中。

○市の施策・計画に提言・期待することについて

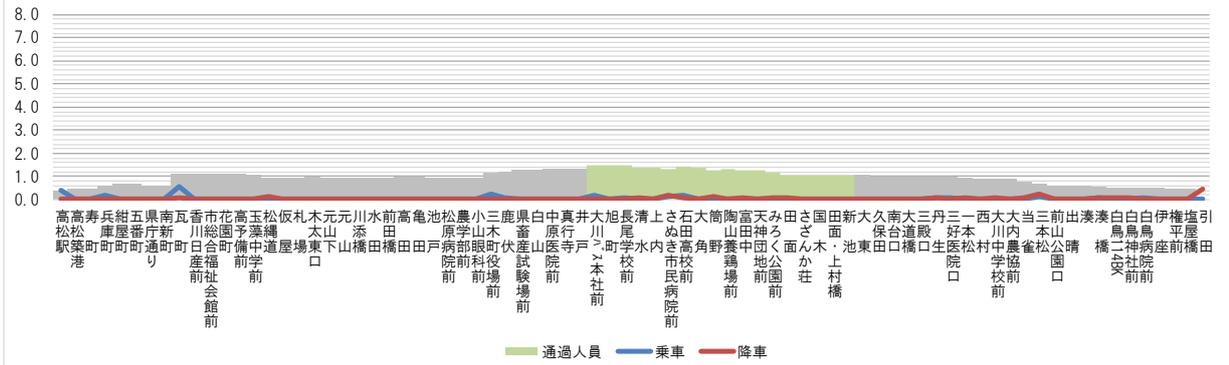
- コミュニティバスは交通弱者にとって必要不可欠な交通手段と思われますので規模が縮小されても持続すべき。
- 2種免許取得時の補助等、高齢者を雇う際に補助があるとありがたい。
- 新規利用者の掘り起こしのために地域の企業や軌道・既存バス路線との連携強化(通勤や交流人口に繋げる)。
- さぬき市から交通事故を無くす切り口での協働。
- 現在運行しているコミュニティバスについて、バス停以外での乗降を徹底して禁止してほしい。
- コミュニティバス路線は観光目的としての活用も踏まえて現ルートとなったが、コミュニティバスの観光交通としての役割は非常に小さいものであるため、観光路線を縮小してはいかがか。

○引田線乗降データの推移（日利用者数）【H30年度】

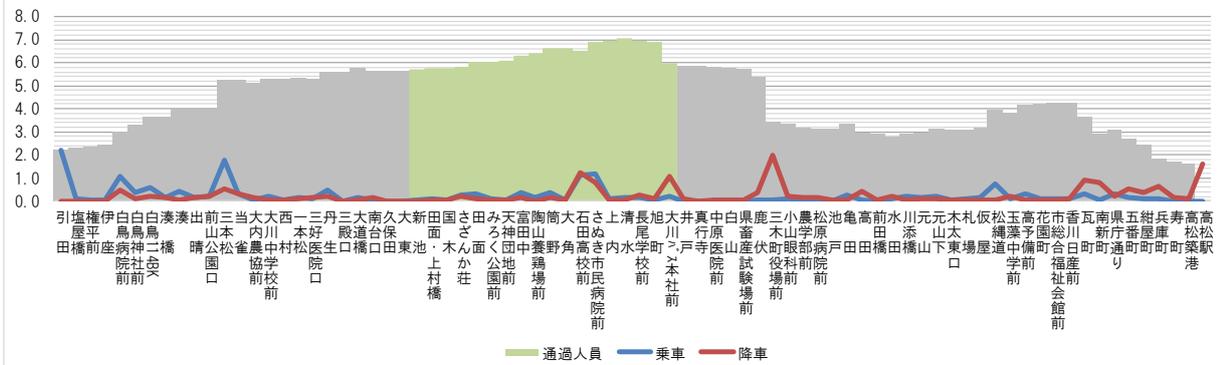
■下り便（高松駅発）：平日



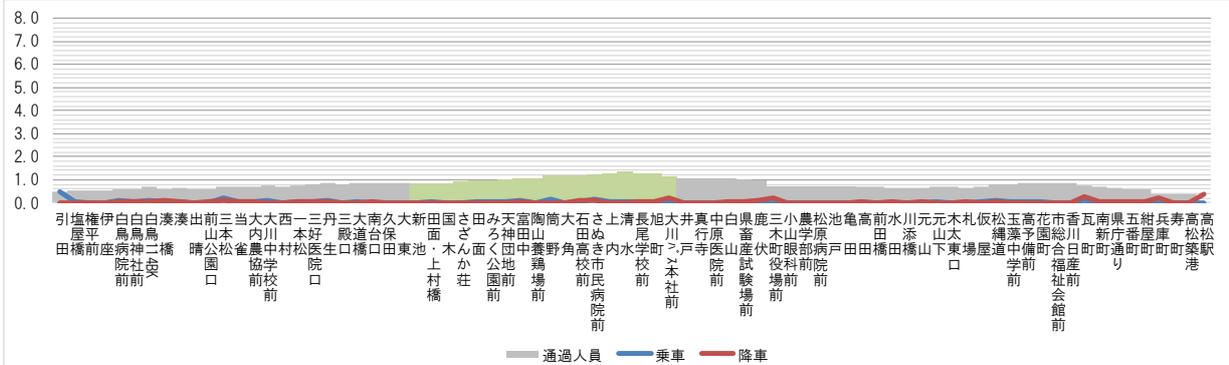
■下り便（高松駅発）：休日



■上り便（引田発）：平日



■上り便（引田発）：休日



(8) いきいきネット連絡協議会によるアンケート調査

①日常の移手段について

《大川出張所経由》

- ・今は運転できるが、できなくなると公共交通を利用（タクシー等）しなくてはならない。近所も高齢者ばかりなので、頼れない。

《長尾南部（中山間地）》

- ・自家用車の利用が中心。

《長尾地区》

- ・マイカーが全て。数年先には安全な車、誰でもどんな時でも運転できる車が開発されるので市で購入補助を出す。車はシェアして使用するような仕組みをつくる。
- ・タクシーで移動している。
- ・車の運転ができないので病院に行く時はタクシーを利用しているが年金生活者にとっては支出が多くて困っている。
- ・車利用で困っていない。
- ・車を返納したので、用がある時は、家族に頼む。
- ・バス停まで行くのが大変。家の近くまで廻ってきて欲しい。
- ・家族に連絡して、来てくれた時に行く。
- ・どこからでも利用できればよい。
- ・大変困っている。タクシーは高いし、近くまで駅がほしい。

《担当地区不明》

- ・自家用車に乗れる方は自分で通院、買い物に行っているが、そうでない方は家族に車で送ってもらうのが多いのではないかと。

②路線バス、コミュニティバス、タクシー、送迎バス等の利用状況について

《大川出張所経由》

- ・バス、タクシー等は定期的に運転するのではなく、予約制にしてはどうか？

《長尾南部（中山間地）》

- ・自家用車を80歳を過ぎても活用せざるを得ない状況。バスの利用を希望する人もいるが、バス停までの移手段がなく、週1～2回または月2回位、親族の送迎や依頼に頼っている方が増加しつつある。

《長尾地区》

- ・タクシーを使用している。タクシーを利用しやすいように安い白タクを認めるように行政で考える。
- ・バス停以外でも止まると言っているが、手をあげても止まってくれない。
- ・バス停までが遠くて利用しにくい。
- ・自家用車のみ利用。
- ・ぎりぎりまで車に乗る。夫婦2人で車で買い物（食料）に行く人が多い。
- ・路線バスはなかなか使う目的がない。使いたい時間に使えるようなニーズに合った利用がしたい。
- ・通院、買い物、琴電の駅まで行きたい。ひとりひとりの目的、ニーズに合った運行方法を考えて欲しい。
- ・路線バスは学生が利用している。
- ・のったことはないが、あれば便利です。

《担当地区不明》

- ・公共交通も、コミュニティも停留所が近くにないので、高齢になると利用するのがむづかしいのではないかと。自宅又は近くまでタクシー等で送迎してくれると便利かと思われる。

③普段外出する際の困りごとや不便に感じていることについて

《大川出張所経由》

- ・各自治会で、又は地区単位で、定期的な送迎ができるシステムを作ってほしい。

《長尾南部（中山間地）》

- ・②の状況（バスの利用を希望する方もいるがバス停までの移動手段がない）であるため、急な時の対応に困っている。

《長尾地区》

- ・飲酒を外で（コミュニケーションが大切）容易に出来るように業者に働きかける。（代行者に補助）
- ・通院、買い物。（50m以上歩くのは大変）
- ・バス停まで行くのが遠い。

《担当地区不明》

- ・高齢者はほとんど外出しないのが多いのではないかと。車に乗れる方はそうでもないが。

④公共交通サービス（鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシー）に対する具体的（路線、時間帯など）なご要望・ご意見について

《大川出張所経由》

- ・家まで直接きて乗車ができるタクシー等を増加し、移動がすみやかに出来るようにしてほしい。

《長尾南部（中山間地）》

- ・経済性を考えてのことであるが、きめ細かな路線の工夫、運行時間の工夫、連絡方法の工夫などが期待される。高齢になるとそれも体力的面に困難で、タクシー等の利用中心になると思う。

《長尾地区》

- ・自動運転の車をシェアできる仕組みを作って欲しい。必要な時に無人で迎えに来てくれ、無人で必要な所へ連れていってくれるような車を市が中心になってシェアできる組織をつくる。
- ・必要な時に自宅まで来てくれるタクシーがほしい。
- ・現在より路線を減らさないようにしてほしい。
- ・小回りのきくコースを作ってほしい。
- ・運賃が高い。便が少ない。
- ・通行路線の時刻表が必要。
- ・バス停がなくても、停まってもらえる方法を考えて欲しい。

《担当地区不明》

- ・鉄道は駅が遠く、バスも近くに停留所がないため利用が困難な場合が多いのではないかと。乗合タクシーがあれば利用する方もいるかと思う。

4. 地域公共交通計画

4-1 地域公共交通計画策定の背景

(1) コミュニティバス運行の経緯

- 合併前は大川バスの乗合路線バスの他、津田町福祉バス、志度町巡回バスが運行
- 合併後、それぞれの旧役場に別々の機能を残す「対等合併/機能分散型」の行政システムを踏まえ、合併後の旧町間の連携を図ることを目的としたバス交通の導入について議論がなされ、平成 15 年 4 月 1 日にさぬき市コミュニティバスを新設
- 運行開始から約 15 年が経過し、様々な見直しを実施しながら現在に至っているが、利用者は平成 19 年をピークに減少傾向
- 令和 2 年 11 月 1 日から、再編案に基づき実証運行実施

(2) 市民ニーズ

- 「第 2 次さぬき市総合計画に係る市民アンケート」においても公共交通網の充実に関する高い優先度
- コミュニティバスの運行されていない自治会からの買物・通院の足として、公共交通の強い要望
- 利用者の約 7 割がさぬき市民となっているさぬき市民病院への各地域からのアクセス利便性の確保
- 交通不便地域における足の確保、高齢化による運転免許返納、高校生等の通学時バス転換需要など、新たな需要増の見込み

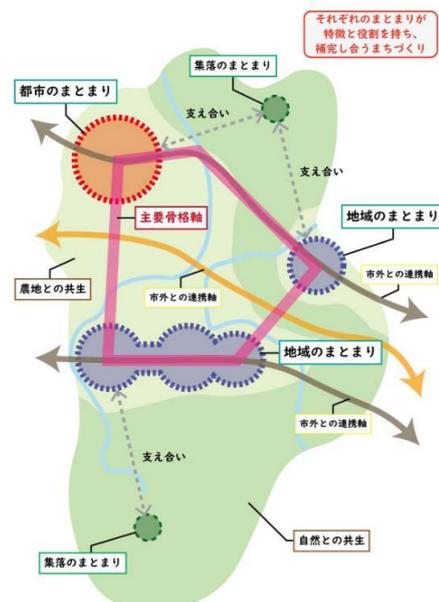
(3) まちづくりとの整合

- 「第 2 次さぬき市都市計画マスタープラン」および「立地適正化計画」など、新たなまちづくり計画の改定時期と重なっていることから、新たな将来都市構造や土地利用誘導と公共交通との整合性が必要
- 各拠点で役割や市街地規模、市民ニーズが異なるため、拠点に機能を持たせ、地域の特長を活かせるよう都市構造を創出し、それらの拠点を一体的に繋ぐ公共交通ネットワークが必要

【都市づくりのイメージ】

(第 2 次さぬき市都市計画マスタープラン)

沿岸部、山間部、平野部それぞれの暮らしを守り
互いに補完しあう暮らし輝く コシのあるまち
～しびれるふるさと エレキテル コミュニティ～

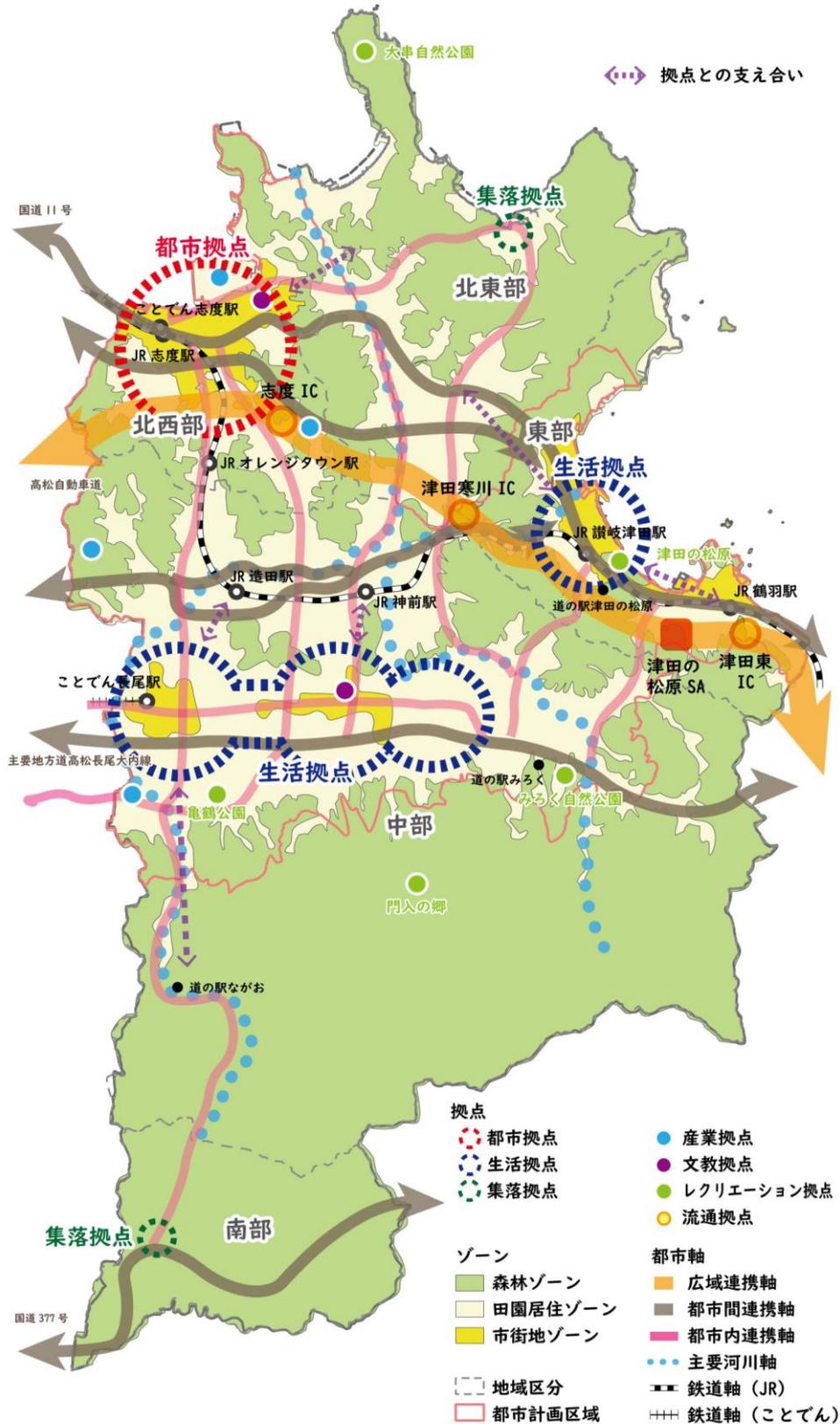


4-2 さぬき市地域公共交通計画

(1) 目指すべき将来都市構造（第2次さぬき市都市計画マスタープラン）

- ・さぬき市の将来都市構造は以下のとおり、基本的には広域連携軸、都市間連携軸、都市内連携軸の3つの軸と都市拠点、生活拠点、集落拠点の3つの拠点から形成され、都市づくりを支えるものとする。

■将来都市構造マップ



(2) さぬき市が目指す地域公共交通のすがた

【第2次さぬき市総合計画】

■まちの将来像

自然豊かでいきいき 笑顔あふれて快適に
みんなで暮らす ふるさとさぬき

■まちづくりの基本理念

守る つなぐ 進化する

【解決すべき課題】

- さぬき市コミュニティバスの見直しと交通空白不便地域の解消
- 高齢化により増加する交通弱者の移動手段の確保
- 高齢者の買物・通院の重要な足となる公共交通の維持
- 市民の生活パターンに対応した利用しやすいサービス水準の検討
- 鉄道・路線バスを利用した地域内外移動の円滑化、交通結節機能の強化
- タクシーの活用（乗客ニーズに応じた安全・安心な輸送手段の維持）
- 商業活性化・観光・福祉事業との連携
- 行政負担と受益者負担の適正化

【まちづくり計画の動向】

第2次さぬき市都市計画マスタープラン

立地適正化計画

【さぬき市地域公共交通計画で目指す将来像】

安全・安心・快適に暮らすための持続可能な公共交通網の実現

- デマンド交通の導入は、検討課題（各社共同運行による運行エリア決定時の不公平感、サービスに対する費用対効果等）が多く短期的な導入は難しい

【当面の目標】

- ・さぬき市コミュニティバスは、市民生活に役立ち、かつ、二次交通の役割をしっかりと担えるよう「買物・通院・通学に役立つコミュニティバスへの転換」を目指して再編する。

買物・通院・通学に役立つコミュニティバスへの転換

【中・長期的な目標】

- ・さぬき市コミュニティバス再編を踏まえつつ、それでも残る山間部等の交通空白・不便地域について、地域の実情に合わせ新たな交通システムの導入を目指す。

さぬき市コミュニティバスを補完する、地域の実情に応じた交通システムの構築

- 田園居住ゾーン：主要バス停までのラストワンマイル対策
- 中山間部：地域主体による持続可能な交通システムの導入

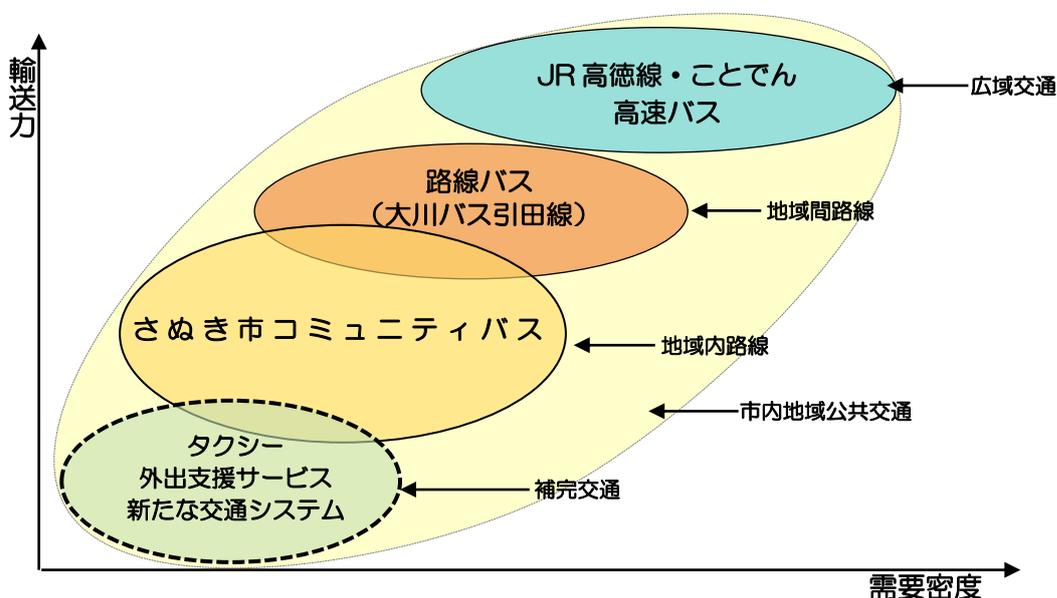
(3) 望ましい公共交通ネットワークのあり方

- ・さぬき市の公共交通ネットワークは、将来の都市構造を踏まえ、既存の公共交通網を有効に活用し、広域交通（JR高徳線、ことடன்志度線・長尾線）、市内中央を東西に結ぶ地域間路線（路線バス引田線）、市内の各拠点を有機的に連絡する地域内路線（さぬき市コミュニティバス）、補完交通（タクシー等）の4段階に機能分担を図る。
- ・交通結節点としては、志度駅、さぬき市民病院に加え、大川バス本社前、津田出張所、ムーミー志度店、日盛の里等を位置づける。
- ・さらに、既存公共交通ネットワークを基本としながら、これらを補完する新たな交通システムを導入し、地域公共交通機関相互の接続・連携により、さぬき市民の生活交通、更に来訪者の二次交通としても機能させ、利便性向上と効率的な運行を目指す。

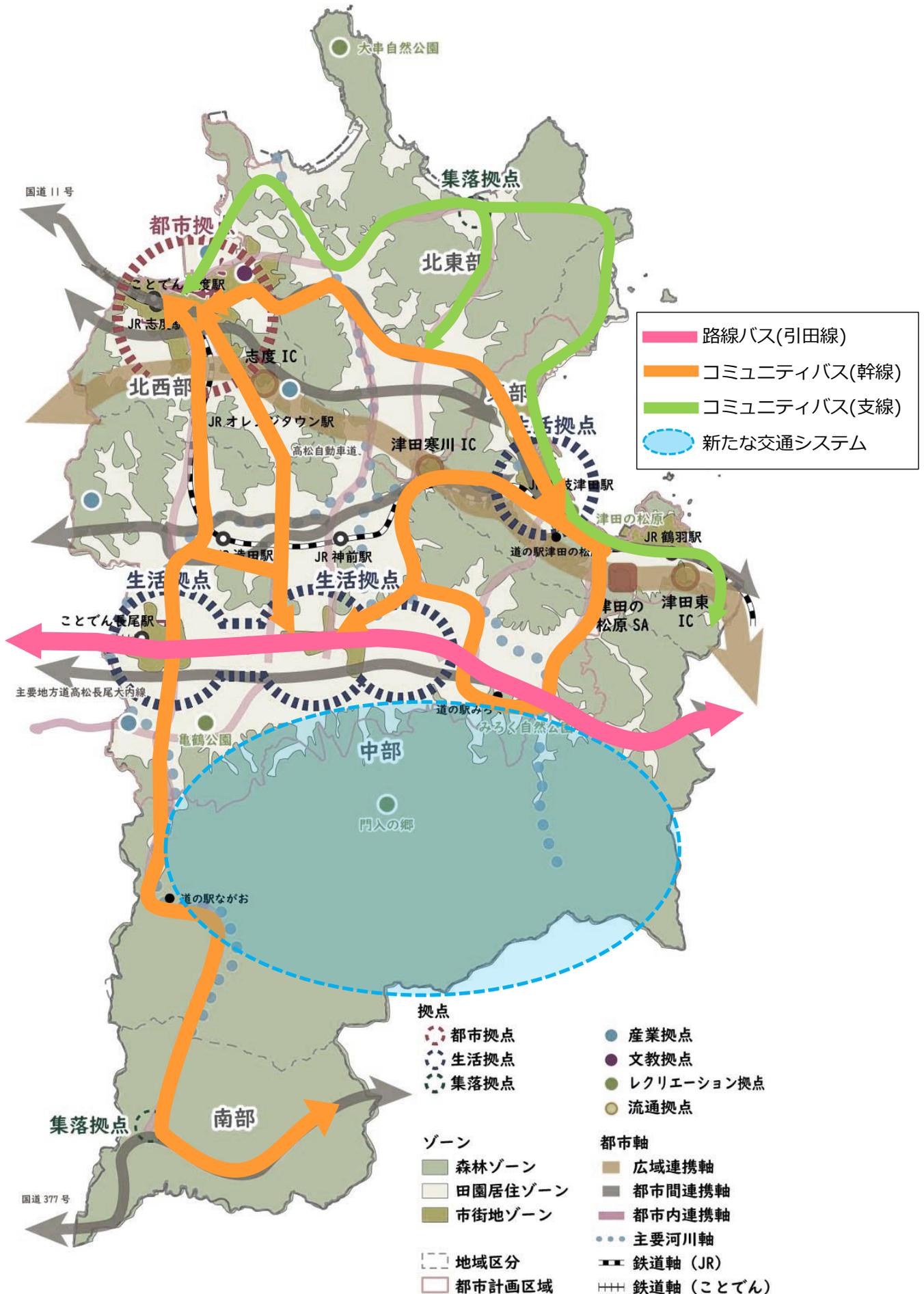
■ 地域公共交通システムの機能分担

機能分類		性格・役割	
広域交通	鉄道 高速バス	○都市間連絡の骨格となる広域公共交通軸 ○通勤・通学、買物、観光など多様な目的に対応	○JR 高徳線 ○ことடன்志度線・長尾線 ○高速バス
	地域間路線	○地域間の骨格となる東西交通軸 ○通勤・通学、買物など多様な目的に対応	○大川バス（引田線）
市内地域公共交通	地域内路線	幹線 ○都市拠点と生活拠点を連絡、市街地の連携・一体化 ○広域交通・地域間交通への接続	○さぬき市コミュニティバス（バス）
		支線 ○生活拠点と集落拠点を連絡 ○幹線路線を補完	○さぬき市コミュニティバス（ジャンボタクシー）
	補完交通	○地域内路線等を補完し、主に高齢者・交通弱者のために少量個別輸送（ドアトゥドア）を担う移動手段	○タクシー ○新たな交通システム ○民間送迎サービスの活用 ○外出支援サービス等
交通結節点		○上記地域公共交通システムの連携拠点で、待合空間の整備・乗継ぎ情報の提供等の機能強化を図るべき拠点	○JR 志度・ことடன்志度 ○さぬき市民病院 ○ムーミー志度店 ○津田出張所 ○大川バス本社前（長尾駅） ○日盛の里 等

■ 輸送力と需要密度との関係による市内地域公共交通の位置づけ（役割分担）



■ 将来都市構造に対応した地域公共交通ネットワーク図



(4) 基本方針

- ・地域公共交通の課題へ対応するにあたり、2つの基本目標を掲げ、次の5つの基本方針を設定する。

○基本目標

1. 買物・通院・通学に役立つコミュニティバスへの転換
2. さぬき市コミュニティバスを補完する、地域の実情に応じた交通システムの構築

基本方針1 将来都市構造を支える地域公共交通ネットワークの形成

- 拠点間を結ぶ戦略的な地域公共交通の維持・再編と乗換機能の強化（バス路線の機能分担）
- 都市拠点・生活拠点間の幹線システムの強化
- 幹線システムを補完する都市拠点・集落拠点間の支線システムの強化
- 上記を踏まえたさぬき市コミュニティバスの再編・ダイヤ見直し
- 定住自立圏を意識した隣接自治体との連携による公共交通の改善、広域移動への利便性向上

基本方針2 商業活性化・観光・福祉事業との連携

- 商業施設および観光施設等とタイアップ・連携による公共交通利用による付加価値の付与
- 主要バス停における待合空間の提供、敷地内乗入れ等の地域貢献事業との連携
- 高齢者福祉タクシー助成制度等の福祉施策との役割分担および連携

基本方針3 地域輸送資源の総動員による地域公共交通の構築

- タクシーおよび民間送迎車両（温泉施設送迎車両・スクールバス等）の既存ストックの活用
- 地域による共助による移動支援システムの活用

基本方針4 地域住民の協力による地域特性に応じた多様な生活交通の実現

- 交通空白不便地域への新たな交通システムの導入（デマンド交通の継続検討）
- 行政の支援のもと、地域住民との協働の取り組みによるコミュニティ交通の導入
- 規定の運行方法にこだわらず地域が主体的に関わりながら、地域特性・地域住民ニーズに柔軟に対応し、「私たちの地域公共交通」という意識を芽生えさせる取り組みの推進

基本方針5 利用促進による潜在需要の掘り起し

- 運転免許証を持っていない学生や高齢者等の移動手段を確保し、安心して豊かな生活を維持
- 公共交通の情報の一元化
- 公共交通機関どうしの乗継ぎ環境の改善
- バリアフリーへの対応
- 市民（高齢者等交通弱者）等によるモビリティ・マネジメントへの取組
- 公共交通専門の担当課の開設と地元キーマンの育成
- グリーンスローモビリティ、自動運転等先進技術を活用した魅力的な交通システムの導入検討
- 香川大学・徳島文理大学や地元企業等との産官学協働の取組

(5) 計画の目標

- 本計画期間中の計画目標については、以下の評価指標を設定し目標値を定める。

■評価指標と目標値

	評価指標	指標の定義	現況値	目標値
【基本方針1】 将来都市構造を支える地域公共交通ネットワークの形成	市内年間利用者数	高德線、志度・長尾線、引田線及びコミュニティバスの市内各駅・停留所利用者数	138万人 (R元年度)	134万人
	バスの収支差・率、公的負担額	引田線(全区画)及びコミュニティバスの収入額－運行費用、収支率、公的負担額	△92,215千円 37.0% 36,402千円 (R元年度)	△91,200千円 37.5% 35,500千円
【基本方針2】 商業活性化・観光・福祉事業との連携	市民満足度	公共交通網の充実に対する満足度(さぬき市総合計画のためのアンケート調査結果)	-1.5 (H30年度)	0.0
	福祉イベント参加者数	生活習慣病予防教室、健康相談参加者数	3,051人 (R元年度)	4,500人
	観光客数	上がり三カ寺停留所の利用者数(国道口、大川バス本社前、大窪寺)	11,456人 志度造田多和線 (R元年度)	11,560人
【基本方針3】 地域輸送資源の総動員による地域公共交通の構築	既存ストックの活用	民間送迎車両等による事業数	0件	1件
	市負担額 ※コミュニティバス	運行費用から収入額を除いた額	44,775千円 (R元年度)	44,700千円
【基本方針4】 地域住民の協力による地域特性に応じた多様な生活交通の実現	地域住民の協力による取組	地域住民の協力による取組件数	0件	1件
	ユニバーサルデザイン車両の導入	コミュニティバスにおけるノンステップバス車両の増加	バス1台 (R元年度)	バス3台
【基本方針5】 利用促進による潜在需要の掘り起し	収支率 ※コミュニティバス	運行費用に対する収入額の割合	19.0% (R元年度)	20.0%

注1：収支率(%)＝収入額÷運行費用×100

注2：収支差及び収支率で使用する収入額に公的負担額は含みません。

(6) 計画の区域

- ・さぬき市全域を計画の区域とする。



(7) 計画期間

- ・第2次さぬき市総合計画の計画期間との整合性を図り、計画期間は2021年度から2026年度までの6年間とする。

■上位関連計画等における計画期間

年度	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)
第2次さぬき市総合計画	2026年度まで						
第2次さぬき市総合計画 基本計画	中期計画			後期計画			
さぬき市地域公共交通計画	策定	6年間(2026年度まで)					

(8) 目標達成のために実施する事業

目標を達成するために行う事業・実施主体

基本方針	施策の方向性	実施事業
【基本方針1】 将来都市構造を支える地域公共交通ネットワークの形成	《施策の方向性1》 市内各拠点間をつなぐ公共交通の機能強化	①さぬき市コミュニティバスの見直し・再編 ②小規模分散型需要に見合ったデマンド交通システムの導入（継続検討）
	《施策の方向性2》 鉄道駅や交通結節点の機能強化	③鉄道駅・集客施設・主要バス停等におけるバス待ち環境の整備
		④JR・ことでん駅周辺等におけるパークアンドライドの推進
	【基本方針2】 商業活性化・観光・福祉事業との連携	《施策の方向性3》 商業・観光活性化との連携
《施策の方向性4》 高齢者等の外出支援推進		⑥「妊婦さん&地域公共交通応援チケット」の継続
		⑦高齢者等福祉タクシー助成事業の継続
		⑧バス運行ダイヤに合わせた健康イベント等の実施
【基本方針3】 地域輸送資源の総動員による地域公共交通の構築	《施策の方向性5》 タクシーの活性化	⑨タクシーの車両およびノウハウの活用
	《施策の方向性6》 既存ストックの活用	⑩施設送迎車両やスクールバス等の活用
【基本方針4】 地域住民の協力による地域特性に応じた多様な生活交通の実現	《施策の方向性7》 交通不便地域への対応	⑪バス停までのラストワンマイル対策のための新モビリティ導入検討
	《施策の方向性8》 交通空白地域における地域が関わる新たな交通システムの導入	⑫地域住民主体の取り組みによるコミュニティ交通の導入
【基本方針5】 利用促進による潜在需要の掘り起し	《施策の方向性9》 高齢者等、自家用車を使えない人が気軽に外出できる環境づくりの推進	⑬わかりやすい公共交通情報の一元化（公共交通マップ、専用HPの作成）
		⑭案内表示、トータルデザインの見直し（香川大学との連携）
	《施策の方向性10》 乗り継ぎ抵抗の改善	⑮わかりやすい乗り継ぎ、バス運賃体系の導入
	《施策の方向性11》 モビリティ・マネジメントの実施（啓発、機運づくり）	⑯市民（高齢者等交通弱者）等によるモビリティ・マネジメントへの取組
		⑰買物・通院等のバスを利用した外出モデルルートの提供
	《施策の方向性12》 家族で公共交通に親しめる施策の実施	⑱高校生の運賃支援（生徒手帳提示により運賃を半額に減額）の継続
⑲家族で楽しみながら参加できるバスや鉄道の乗り方教室等の開催 ⑳ファミリー向け割引制度等の導入		

【事業1】さぬき市コミュニティバスの見直し・再編

- ・さぬき市コミュニティバスは、市民生活に役立ち、かつ、二次交通の役割をしっかりと担えるよう、「買物・通院・通学に役立つコミュニティバスへの転換」を目指して再編する。
- ・令和2年11月から実証運行を行い、令和3年4月から本格運行に移行する。さらに利用実態を踏まえた評価・検証を行いながら随時見直しを行う。

■運行概要

運行開始	令和3年4月1日～
再編テーマ	買物・通院・通学に役立つコミュニティバスへの転換
新路線の主な特徴	○市民から要望が多かったスーパーや病院、高校・大学にできる限り停車させ、バス停名称もわかりやすく変更 ○主に、運転免許証返納者から届いていた「春日温泉に行きたい」という声にも対応
新ダイヤの主な特徴	○買物・通院・通学に役立つよう、乗継を工夫 ○一部区間で、バス停⇄バス停のデマンド運行を実施
運賃変更点	高等学校や高等専門学校に通う3年生まで（専攻科除く）の生徒を対象に、1乗車につき、平日100円、休日200円に減額

■本格運行用チラシ



事業概要

実施主体 さぬき市、バス事業者、タクシー事業者

実施期間	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	本格運行（随時見直し）					

備考

<対象路線>さぬき市コミュニティバス全路線
 ①志度・造田・多和線、②志度・鴨部・小田線、③志度・鴨部・寒川循環線
 ④津田・大川・寒川線、⑤小田・津田・鶴羽線、⑥志度・鴨庄・興津線
 ⑦寒川・津田・志度線

・大川自動車引田線のフィーダーとして、さぬき市コミュニティバスのルート・ダイヤの再編による継続運行

【事業2】小規模分散型需要に見合ったデマンド交通システムの導入（継続検討）

- ・令和元年10月に田面地区においてデマンド交通の実験運行を実施したが、将来一定のニーズの存在が把握できたものの、交通事業者に関しては、各社共同運行による運行エリア決定時の不公平感、サービスに対する費用対効果等の検討課題が多く短期的な導入は難しい判断が得られた。
- ・しかし、コミュニティバス再編後も交通空白不便地域は依然として残ることから、課題解決に向けて引き続き導入に向けた検討を行い、導入実現を目指す。

■実験運行概要

実験運行期間	令和元年10月16日から11月11日までの17日間 平日のみ
運行エリア	大川町田面地区全域（自宅） 共通乗降場所（市役所寒川庁舎、大川出張所、道の駅みろく、ザ・ビック寒川店、さぬき市民病院、陶山医院）
運行時間帯・便数	運行時間帯：8時から15時までの間で設定 運行便数：7便/日程度 8時、9時、10時、11時、13時、14時、15時
乗降方式	ドアトゥドア
利用者	田面地区内在住者（利用希望者は登録制とする）
車両	ワンボックス型車両（1台）
運賃	無料
運行方法	タクシーメーター料金による実費精算

事業概要

■実験用チラシ

さぬき市初!

デマンド型乗合交通（デマンドタクシー）の実験運行にご協力ください

運賃無料
ただし、アンケート回答にご協力いただきます

車両イメージ（9人乗り）

■実験運行期間：令和元年10月16日（水）～11月11日（月）
 ■利用対象者：田面地区にお住まいの方
 ■乗降場所：「ご自宅（登録した住所）」または「共通乗降場所」

【共通乗降場所】

公共施設	●市役所寒川庁舎	●大川出張所
商業施設	●道の駅みろく	●ザ・ビック寒川店
医療施設	●さぬき市民病院	●陶山医院

※「さっきステッカー」前でお持ちください

■運行日：実験運行期間中の月曜日～金曜日（土・日・祝日運休）
 ■運行ダイヤ：7便/日

午前	第1便 8:00	第2便 9:00	第3便 10:00	第4便 11:00
午後	第5便 13:00	第6便 14:00	第7便 15:00	

※時刻表にある時刻は、出発時刻の目安です

■予約受付時間：運行日の午前8時～午後5時
 ※ご予約は、利用希望便の1時間前までにお願います（早めの予約をおすすめします）
 ※第1便と第2便のご予約は、前日（または直近の平日）午後5時までにお願います
 ※予約受付は、10月15日（火）午前8時スタートです

■予約先：さぬき市デマンドタクシー実験運行予約センター
 電話番号 070-1597-7268

デマンドタクシー実験車両のご利用には「**利用登録**（※切10/9）」が必要です
 ※利用登録票提出先：自治会長、大川出張所、総合支所のいずれかに提出してください
 ※利用登録票は「広報さぬき10月号」と一緒に配布しています。大川出張所にもあります

問合せ先 さぬき市都市整備課 ☎ 087-894-1113

実施主体 さぬき市、タクシー事業者

実施期間	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	導入検討			計画	実施	

備考

【事業3】 鉄道駅・集客施設・主要バス停等におけるバス待ち環境の整備

- 交通結節点の候補となる主要な集客施設については、待合環境を向上させ、ストレス無く待合や乗継等が行えるよう、待合空間の確保等について施設管理者と協議調整を図る。
- 比較的大規模な敷地を有する集客施設や主要な鉄道駅等については、利用者の利便性向上を図るため、施設管理者と協議し、施設内のバスの乗り入れ、バス停の確保、バス待ち空間の確保を図る。
- 協力してもらった施設等については、その名称をバス停や案内放送に入れるなど、協力に対するメリットを出せるようにする。

【他都市におけるバス待合空間整備の取り組み事例】

■ 埼玉県：「バスまちスポット」「まち愛スポット」登録制度

- 埼玉県では公共交通を利用しやすくすることで誰もが出歩きやすく、地域とつながりやすいまちを目指し、官民が連携した「出歩きやすいまちづくり～バスでつなぐ・人がつながる～」事業に取り組んでいる。
対象施設は商店、コンビニエンスストア、病院、金融機関、公共施設等
○まち愛スポット：バス停留所まで歩くときに休憩できる施設
(概ね 500m圏内)
※ベンチや椅子を設置



■ 横浜市：コンビニエンスストアと連携した待合スペース

- コンビニエンスストアのイートインコーナーをバスの待合スペースとして開放しており、タブレット型バス接近表示機を設置し、バスの運行状況を提供している。



■ 八戸市：店舗の風除室を活用した待合環境

- バス停留所前の店舗（百貨店・パチンコ屋）の風除室にベンチを設置し、バス利用者が休憩できる環境が整備されている。



出典：国土交通省

事業概要

実施主体	さぬき市、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、施設事業者					
実施期間	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	検討		実施			
備考	<対象路線>大川自動車引田線、さぬき市コミュニティバス全路線 ・乗り継ぎを円滑にするため、主要な交通結節点における乗降場の改善および待合空間の整備を行う。					

【事業4】 JR・ことでん駅周辺等におけるパークアンドライドの推進

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・パーク&ライドとは、マイカーを駐車場に停め公共交通機関に乗り換えていただくシステムで、公共交通利用促進を図ることができる。 ・「地球温暖化防止対策」「通勤時間帯道路の渋滞緩和」「交通事故防止」などの利点のほか、長距離移動については鉄道等を利用することで時間の有効活用が可能となる。 ・現在、市役所東側の駐車場、JR 志度駅南側駐車場、ことでん駐車場等がパーク&ライド駐車場として整備・利用されており、引き続き公共交通の利用促進を図る。 										
	■パーク&ライド駐車場 <table border="1"> <tr> <td>市役所東側駐車場</td> <td>3,000 円/月</td> </tr> <tr> <td>JR 志度駅南側駐車場</td> <td>7～20 時：500 円 20～7 時：300 円</td> </tr> <tr> <td>ことでん駐車場</td> <td>3,000/月 300 円/日</td> </tr> </table>		市役所東側駐車場	3,000 円/月	JR 志度駅南側駐車場	7～20 時：500 円 20～7 時：300 円	ことでん駐車場	3,000/月 300 円/日	■JR 志度駅南側駐車場 		
市役所東側駐車場	3,000 円/月										
JR 志度駅南側駐車場	7～20 時：500 円 20～7 時：300 円										
ことでん駐車場	3,000/月 300 円/日										
実施主体	さぬき市、鉄道事業者										
実施期間	2021	2022	2023	2024	2025	2026					
	利用促進										
備考											

【事業5】『電子マネーカード』等による運賃のキャッシュレス決済導入検討

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・交通系 IC カード等の導入により、運賃支払いのわずらわしさを解消し、利用者が気楽に利用できるようになるとともに、多様なモードの共通運賃の設置も可能となる。 ・しかし、全国相互利用サービスとなる交通系 IC カードは導入に過大なコストが必要となることから、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、市による研究会等を立ち上げ、導入の意義、課題等共通認識を持ち、導入に向けての調整を行う。 ・また、市内に存在する商業施設・観光施設等と連携して電子マネーとしての活用等を視野に入れ、商業事業者・観光事業者等との調整を行う。 					
	【WAON 決済システム】 <ul style="list-style-type: none"> ・WAON カードがあれば簡単に決済が可能 ・イオン系列の店舗への公共交通機関での来店を促進 ・専用端末の設置が不要になる為、初期費用を抑えて導入が可能 ・既に流通している WAON カードが利用できるため、車載器を導入するだけでサービスを開始可能 ・店舗と同様にバス乗車時に WAON ポイント付与 ・利用者のログ（OD）取得による利用実態把握が可能 					
実施主体	さぬき市、バス事業者、タクシー事業者、商業事業者等					
実施期間	2021	2022	2023	2024	2025	2026
		調整・協議			実施	
備考						

【事業6】「妊婦さん&地域公共交通応援チケット」の継続

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市では、生活支援対策として『妊婦の外出と地域公共交通を支える運賃助成事業』を実施しており、1回の妊娠につき3万円分の運賃助成券を交付、市内の乗合バス・タクシー・コミュニティバスの運賃支払い時に使用可能となっている。 「生まれたばかりの赤ちゃんを車に乗せ、運転して出かけるのは怖い」といった外出の際の妊産婦の様々な不安を解消させるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響で利用が低迷するタクシーやバス事業者を支援する目的で実施しており、引き続き継続を図る。 <p>(令和5年3月31日まで交付、交付年度の翌年度末まで使用可能)</p> <p style="text-align: right;">■ 応援チケット（運賃助成券）</p>					
						
実施主体	さぬき市、バス事業者、タクシー事業者					
実施期間	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	継続					
備考						

【事業7】高齢者等福祉タクシー助成事業の継続

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市では、高齢者等の方の外出支援と経済的負担の軽減のため、タクシーを利用した場合のタクシー料金の一部を助成している。 <p>■ 支援内容（高齢者福祉タクシー助成要件概要 令和3年4月1日～）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">助成対象者 (全ての条件)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 満80歳以上の方 要介護または要支援の認定をお持ちの方 対象者本人が市民税非課税の方 在宅の方 高齢者、障害者の両方の助成の対象となる場合はどちらか一方 </td> </tr> <tr> <td>助成内容</td> <td>500円/枚の助成券24枚を交付（12,000円分）</td> </tr> <tr> <td>利用条件</td> <td>1回の乗車につき最大24枚まで使用が可能</td> </tr> </table>						助成対象者 (全ての条件)	<ul style="list-style-type: none"> 満80歳以上の方 要介護または要支援の認定をお持ちの方 対象者本人が市民税非課税の方 在宅の方 高齢者、障害者の両方の助成の対象となる場合はどちらか一方 	助成内容	500円/枚の助成券24枚を交付（12,000円分）	利用条件	1回の乗車につき最大24枚まで使用が可能
	助成対象者 (全ての条件)	<ul style="list-style-type: none"> 満80歳以上の方 要介護または要支援の認定をお持ちの方 対象者本人が市民税非課税の方 在宅の方 高齢者、障害者の両方の助成の対象となる場合はどちらか一方 										
助成内容	500円/枚の助成券24枚を交付（12,000円分）											
利用条件	1回の乗車につき最大24枚まで使用が可能											
実施主体	さぬき市、タクシー事業者											
実施期間	2021	2022	2023	2024	2025	2026						
	継続											
備考												

【事業8】バス運行ダイヤに合わせた健康イベント等の実施						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 少しでも高齢者等の外出機会を増やし、自宅に閉じこもりがちにならないようにすることを目的として、コミュニティバス等の運行ダイヤを考慮して、健康イベントや集会等を実施するなど、コミュニティバス等の利用促進を図る。 <p>■イベント内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 茶話会でのおしゃべり 血圧測定・健康チェック 体操・運動 作品づくり 地域の子どもとの交流会 等 					
実施主体	さぬき市、バス事業者、タクシー事業者					
実施期間	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	実施					
備考						

【事業9】タクシーの車両およびノウハウの活用																		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 既に運行しているコミュニティバスや新たなデマンド交通システムでも、移動に困っている全ての市民に対応できないため、タクシー（一般乗用）車両を活用した施策についても検討する。 <p>①タクシー運賃助成</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗合のシステムではなく、事前予約も必要なく、個別ニーズに対応でき、利用者の利便性が比較的高い。 全市的に実施する場合は、他の福祉施策との整合性を図りながら対象者の要件を限定的に設定する必要がある。 <p>参考事例：宮崎県綾町 「綾町高齢者等タクシー利用料金助成事業」</p> <p>宮崎県綾町では、路線バスが運行しているエリアも含めた町域全体を対象としてタクシー利活用施策を実施しているが、中心部からの距離に応じて町域を3つの「指定地域」に区分し、対象者の年齢等の要件や1回あたりの助成額・年間の助成回数に差をつけることで、移動支援の必要性が高い地域にはより手厚い支援を実施している。</p> <p>表 地域区分ごとの対象者要件・助成額等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域区分</th> <th>対象者要件</th> <th>助成額等（上限）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1指定地域</td> <td>70歳以上の者</td> <td>840円/回、48回/年</td> </tr> <tr> <td>第2指定地域</td> <td>75歳以上の者</td> <td>560円/回、48回/年</td> </tr> <tr> <td>第3指定地域</td> <td>75歳以上で自動車運転免許を有しない者</td> <td>560円/回、24回/年</td> </tr> </tbody> </table> <p>②相乗りタクシー</p> <ul style="list-style-type: none"> 相乗りタクシーは、同じ方向に移動したい人が同じ車両に乗車するもので、運賃は乗車距離に応じて按分するシステムで、事前予約制となりスマートフォンアプリによる利用となる。 						地域区分	対象者要件	助成額等（上限）	第1指定地域	70歳以上の者	840円/回、48回/年	第2指定地域	75歳以上の者	560円/回、48回/年	第3指定地域	75歳以上で自動車運転免許を有しない者	560円/回、24回/年
地域区分	対象者要件	助成額等（上限）																
第1指定地域	70歳以上の者	840円/回、48回/年																
第2指定地域	75歳以上の者	560円/回、48回/年																
第3指定地域	75歳以上で自動車運転免許を有しない者	560円/回、24回/年																
実施主体	さぬき市、タクシー事業者																	
実施期間	2021	2022	2023	2024	2025	2026												
	検討																	
備考																		

【事業 10】 施設送迎車両やスクールバス等の活用

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 福祉施設の送迎用車両を利用して、高齢者を商業施設や病院等に効率的に送迎する他、自動車学校・温泉施設等の既存輸送資源を活用した効果的な運行システムについて、施設事業者と協議・調整する。 <p>■高崎市「福祉 Mover」</p> 					
	実施主体	さぬき市、福祉事業者、施設事業者				
実施期間	2021	2022	2023	2024	2025	2026
			検討		実施	
備考						

【事業 11】 バス停までのラストワンマイル対策のための新モビリティ導入検討

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 路線バスやコミュニティバスの停留所から少し離れた集落（公共交通空白不便地域）の住民の利便性向上を図るため、主に最寄りのバス停やスーパー、コンビニへの交通手段を確保し、外出しやすい移動環境を提供する。 新たな移動システムは、グリーンスローモビリティ等を活用した地域主体の取り組みにより検討を進めるが、当面はシニアカーや電動アシスト三輪車等を用いた簡易なシステムとし、将来的には自動運転システムによるスマートモビリティの導入を目指す。 <p>■想定される運行形態イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア輸送 自家用有償運送による運行 交通事業者による運転委託 将来的には自動運転制御運行 自宅から最寄りバス停や最寄りの生活関連施設までの運行など 					
	実施主体	さぬき市、地域住民、交通事業者				
実施期間	2021	2022	2023	2024	2025	2026
			検討		実施	
備考						

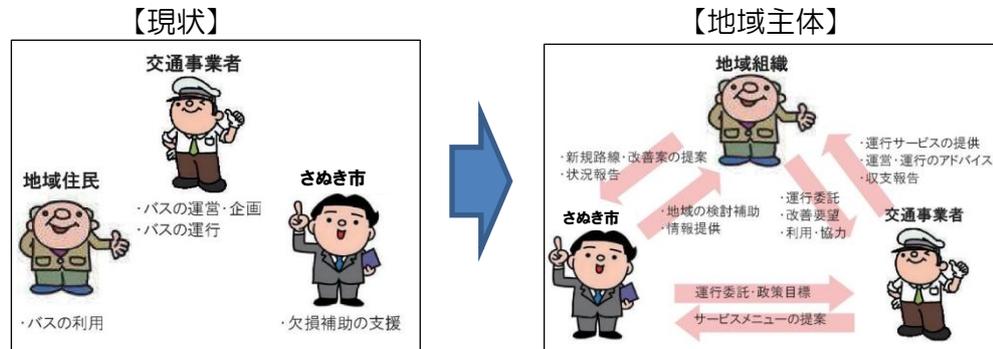
【事業 12】 地域住民主体の取り組みによるコミュニティ交通の導入

事業概要

①検討するための地域組織の体制づくり

- ・本来の担い手である交通事業者の乗務員の確保問題および市財政上の制約等により、バスやタクシー事業者による新たな乗合輸送サービスの提供が厳しい状況となっているため、地域の共助による自家用有償運送事業等の検討に向けて、地域住民が主体的に協議する組織づくりを推進する。

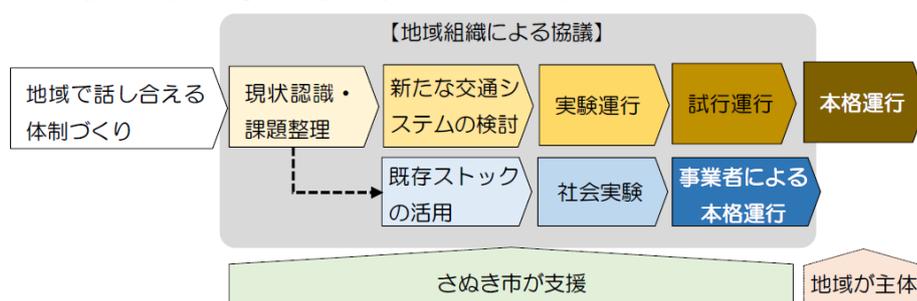
■地域が主体となる地域交通実現の取り組みイメージ



②地域交通支援の取り組み手順の検討

- ・地域主体による新たな公共交通システムの導入については、市民の意識の醸成と主体的な役割分担が重要であり、行政の支援内容や検討の手順についてわかりやすくとりまとめた『手引き書』を作成する。
- ・全てのエリアを一度に対応することは困難なため、優先的エリアをモデルとして取り組み、次に展開できるよう公共交通導入のステップごとに『進め方・考え方』を明らかにする。

■新たな移動手段の導入を検討するための手順イメージ



■川崎市地域交通の手引き



■川崎市麻生区コミュニティバス協議会の取り組み事例

- サポーター登録制度として年間7,200円を支払うと1回の乗車につき50円の割引
- 地域内の商業施設・信金・病院等が地域貢献として協賛金を提供



実施主体

さぬき市、福祉事業者、施設事業者、地域住民

実施期間

2021	2022	2023	2024	2025	2026
検討		実施			

備考

【事業 13】 わかりやすい公共交通情報の一元化（公共交通マップ、専用 HP の作成）

事業概要

- ・さぬき市コミュニティバスの路線図はあるが、鉄道や路線バス等を含めた市内全ての公共交通網の情報を一元的に提供しているものはなく、公共交通を日常的な交通手段の選択肢としてもらうために、鉄道・路線バス・コミュニティバス等のマップや時刻表等を一つにとりまとめた公共交通ガイドブックや専用サイトを作成する。
- ・バス停の位置や乗車方法、乗継の割引情報、運賃の支払い方法等、初めての人でも不安にならないよう公共交通の利用促進につながる取り組みを進める。

**【茨城県稲敷市】
市内バスマップ**



実施主体 さぬき市、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者

実施期間	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	実施					

備考 <対象路線>大川自動車引田線、さぬき市コミュニティバス全路線

【事業 14】 案内表示、トータルデザインの見直し（香川大学との連携）

事業概要

- ・今後も期待される外国人旅行者も含めたわかりやすく円滑な移動や快適な滞在に資する都市環境の向上を目指すため、車両の色の統一、行き先表示、分かりやすい案内表示・標識等の設置、無料公衆無線 LAN サービス、デジタルサイネージ、ICT を活用した歩行者移動支援サービス、バリアフリー関連情報の多言語化等の検討を推進する。
- ・市民および観光客がエリア内をストレス無く移動できるような環境整備に努める。
- ・国土交通省が策定した「標準的なバス情報フォーマット」を作成することで、バスや鉄道の路線や出発・到着時刻等が検索可能となるため、データを整備・公開し、様々な主体による情報の活用・発信を図る。
- ・周辺自治体や香川県とも連携し、都市圏・生活圏全体での情報発信強化を目指す。
- ・なお、検討・実現に向けては、トータルデザインを含めて香川大学の協力のもと、検討を推進する。

実施主体 さぬき市、交通事業者、香川大学、観光施設等

実施期間	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	検討	実施				

備考

【事業 15】 わかりやすい乗り継ぎ、バス運賃体系の導入

<p>事業概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現在、乗継停留所で乗務員が発行する乗継乗車券を活用して、目的地まで1乗車分の運賃で、バス利用ができる。 再編後に乗継停留所を増やし、市街地や観光地への移動をより分かりやすく便利にするとともに、さらに利用者の負担を軽減し利用者増につなげるため、乗り降り自由なフリー乗車券、1日乗車券、定期券などの割引乗車券等の導入を検討する。 <p>■見直し後の乗継停留所（乗継乗車券発行場所）</p> <p>さぬき市役所、JR志度駅、津田出張所、大川バス本社前、津田高校、大空口、寒川庁舎、ムーミー志度店、ムーミー志度店東側、JA香川県鴨部支店、日盛の里</p> <div data-bbox="343 560 1428 817" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【事例】 まんのう町：共通バス券</p> <ul style="list-style-type: none"> デマンドタクシーと路線バス（琴参バス：美合線、炭所線）を自由に利用できる共通バス券（1ヶ月3000円）を販売することにより、路線バスの利用促進や公共交通利用者の運賃負担の軽減が図られた。 <div style="display: flex; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">出典：まんのう町商工会ホームページ</p> </div>					
<p>実施主体</p>	<p>さぬき市、バス事業者、タクシー事業者</p>					
<p>実施期間</p>	2021	2022	2023	2024	2025	2026
<p>備考</p>	<p>＜対象路線＞大川自動車引田線、さぬき市コミュニティバス全路線</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの乗り継ぎ運賃の見直しや割引乗車券等の導入を併せて実施 					
<p>乗り継ぎバス停追加</p>	<p style="text-align: center;">検討</p>					<p style="text-align: center;">見直し</p>

【事業 16】 市民（高齢者等交通弱者）等によるモビリティ・マネジメントへの取組

<p>事業概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会や地域包括支援センターが実施する出前講座などの地域の人々とのコミュニケーション施策を通じて、交通事業者や市民と協働して地域に公共交通利用の大切さを普及する活動を展開する。 <p>■高齢者を対象としたモビリティ・マネジメントのチラシ</p> <div data-bbox="893 1254 1428 1825" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p style="text-align: right; font-size: small;">出典：釧路市役所</p> </div>					
<p>実施主体</p>	<p>さぬき市、交通事業者、社会福祉協議会、市民</p>					
<p>実施期間</p>	2021	2022	2023	2024	2025	2026
<p>備考</p>	<p style="text-align: center;">実施</p>					<p style="text-align: center;">→</p>

【事業 17】 買物・通院等のバスを利用した外出モデルルートの提供

- ・高齢者や公共交通に乗り慣れていない市民に対し、公共交通を利用して安心かつ抵抗なく目的地に移動できるよう、公共交通を利用した外出行動のモデルルートを作成・配布し、需要の掘り起こしを図る。
- ・市外の方に対しては、公共交通を利用して市内を巡る観光モデルルートを作成し、観光情報とともに情報を提供することで、交流人口の増加を図る。

■おでかけ支援プログラムイメージ

オススメおでかけプラン

公共交通に乗って効率よく通院と買物をしませんか!

8:00 自宅発
↓ 乗合タクシー
8:30 病院着
↓ 診察
9:30 病院発
↓ 循環バス
10:00 商業施設着
↓ 買物
11:00 商業施設発
↓ 乗合タクシー
11:30 自宅着

■職場での移動支援プログラムの例

出典：富士宮市役所ホームページ

事業概要

実施主体 さぬき市、観光協会等

実施期間	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	作成	配布・周知				→

備考

【事業 18】 高校生の運賃支援（生徒手帳提示により運賃を半額に減額）の継続

- ・さぬき市コミュニティバスの実証運行中に実施している高校生の運賃支援について、本格運行後も実施を継続する。

【割引内容】

- ・高等学校や高等専門学校に通う3年生まで（専攻科除く）の生徒を対象に、1乗車につき、平日100円、休日200円に減額

実施主体 さぬき市、バス事業者、タクシー事業者

実施期間	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	継続					→

備考

【事業 19】 家族で楽しみながら参加できるバスや鉄道の乗り方教室等の開催						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通を大切にする心を育むとともに、公共交通を利用する習慣を楽しく身につけることを目指して、高齢者や児童・生徒へ路線バスや鉄道の乗り方教室など教育活動の実施を促進する。 <p>■大川バスの実施事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ■バスの乗り方教室（さぬき市内小学校） ■イベント参加 <ul style="list-style-type: none"> ・カーフリーデー ・かがわバスまつり など 					
						
実施主体	さぬき市、鉄道事業者、バス事業者					
実施期間	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	定期的に実施 					
備考						

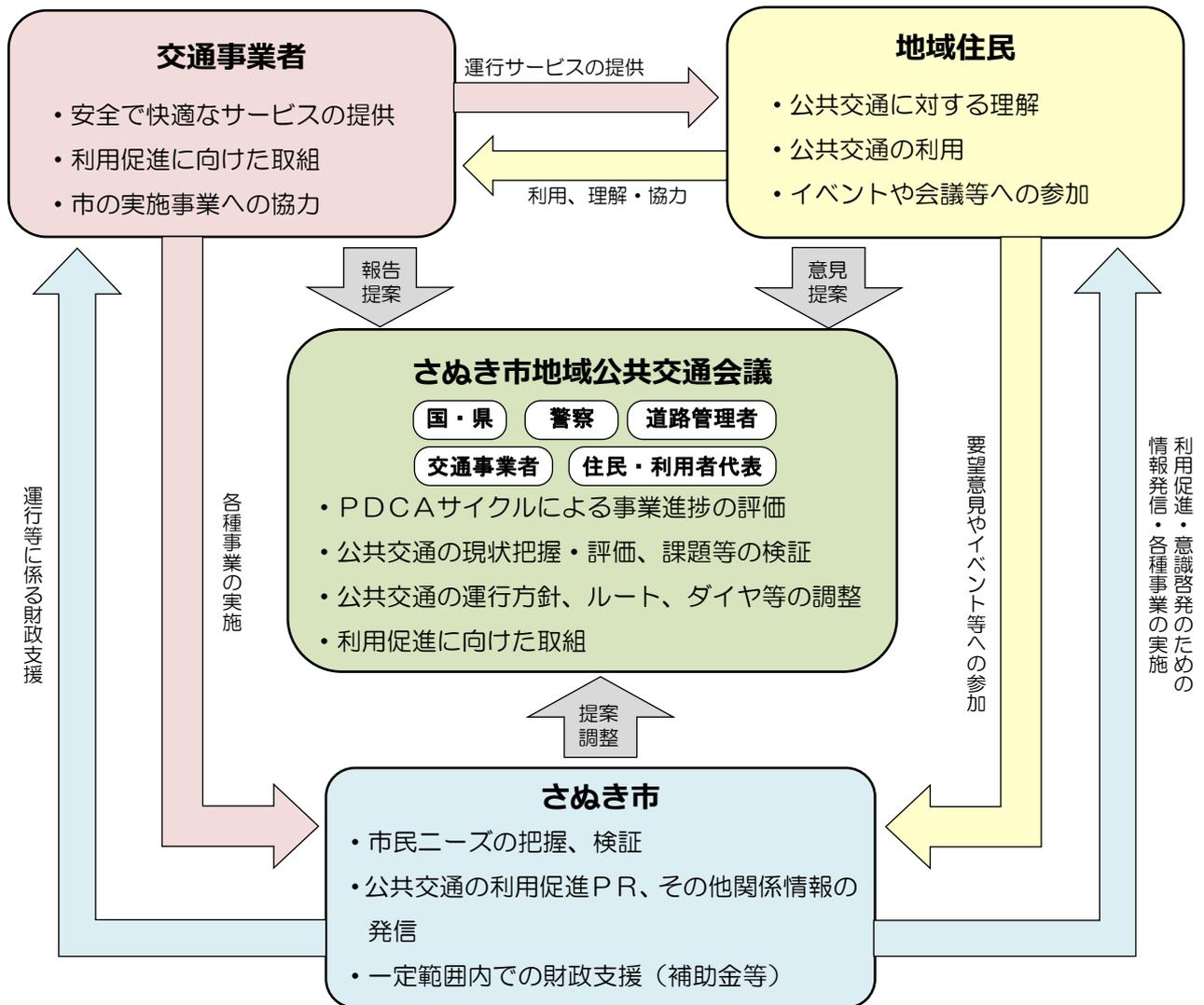
【事業 20】 ファミリー向け割引制度等の導入						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み、冬休み、春休み等の学校の長期休み期間と休日は、家族でいっしょに出かけやすいように子ども1名分の運賃を無料にするなどの割引制度を導入を検討する。 <p>■ファミリー割引制度を実施しているにじバス（東京都小平市）</p>					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>【割引内容】 現金、PASMO（パスモ）、Suica（スイカ）等の交通系ICカード、回数券のいずれかで乗車する大人1名につき、子ども1名の運賃が無料</p> </div> 					
実施主体	さぬき市、バス事業者、タクシー事業者					
実施期間	2021	2022	2023	2024	2025	2026
						
備考						

5. 計画の進捗状況の評価と進行管理

5-1 計画の実施及び進行管理の体制

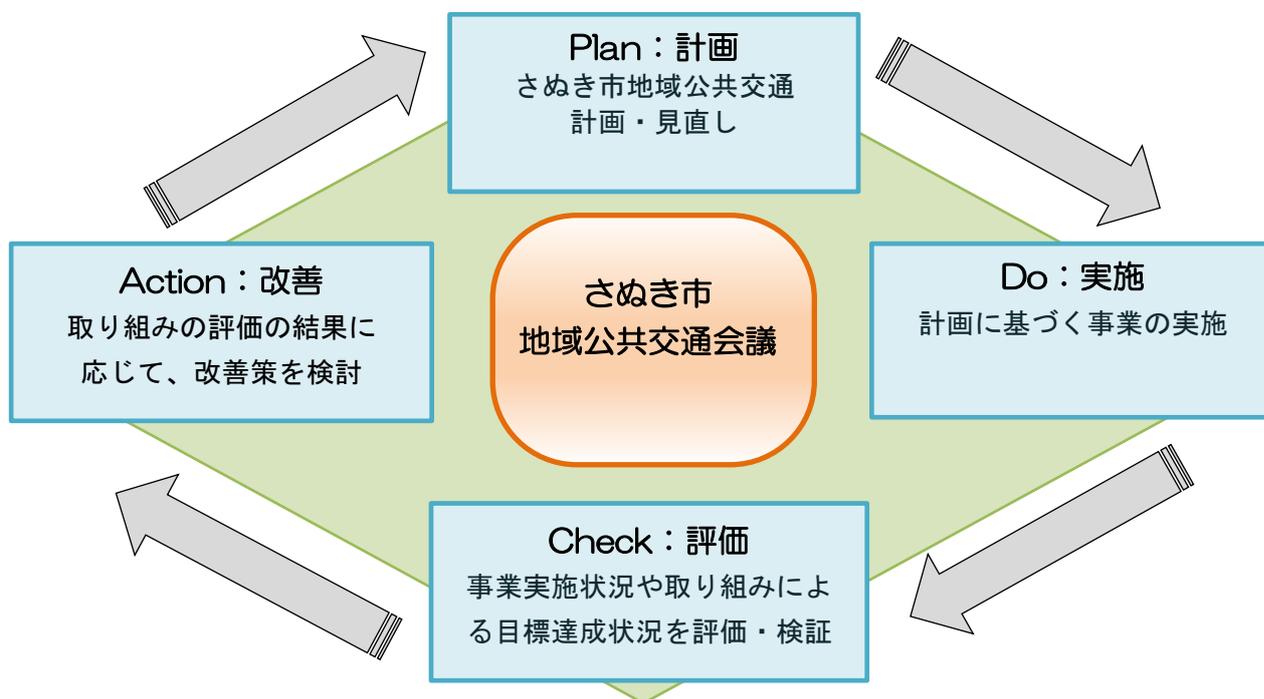
- ・市の財政負担に制約がある中で、持続可能で利便性の高い公共交通の構築・維持を図るためには、交通事業者の自助努力や行政の支援だけでなく、地域住民自らが公共交通を「みんなで創り、守り、育てる」という意識を持って関わっていくことが重要となる。
- ・市民・来訪者の移動の足を確保する公共交通システムを、魅力ある、使いやすいものとしていくために、行政、交通事業者、地域住民それぞれが抱える課題について共通認識を持ち、一体となって事業に取り組んでいくことが必要不可欠である。
- ・地域の多様な主体との協働・連携を図りながら、次のような役割分担のもと、各事業に取り組むための体制づくりを進める。

■本計画推進のための住民・事業者・行政による協働・連携体制



5-2 PDCAサイクルの実行

- ・地域公共交通計画を推進するために、各施策の進捗や目標の達成状況などについて数値目標を指標としながら評価・検証し、実施（Do）→評価（Check）→改善（Action）→計画（Plan）のサイクルを実行する。



5-3 評価方法及びスケジュール

- ・計画期間におけるPDCAサイクルの具体的な評価スケジュールは、下表のとおりとする。
- ・計画最終年度においては、事業者からの提供による利用実績や市民の公共交通に関する満足度・移動行動等についての各種アンケート調査を踏まえ、計画全体及び公共交通網の評価を実施し、実施施策の見直し及び新たな施策を追加し、次期計画を策定する。
- ・なお、実施施策のうち、計画期間の前半に実施される事業があることから、それらの事業による効果を評価するために、必要に応じて計画期間の中間年度（2024年度）に計画全体及び公共交通網の評価を行うものとする。
- ・公共交通機関の利用状況及び計画に定めた事業の実施結果に関する評価については、毎年度行うものとする。

■評価スケジュール（年度）

	●実施 ○必要に応じて実施					
	2021	2022	2023	2024	2025	2026
地域公共交通会議の開催	●	●	●	●	●	●
利用者数調査	●	●	●	●	●	●
利用者アンケート調査				○		●
市民アンケート調査				○		●
実施事業の評価	●	●	●	●	●	●
計画の評価				○		●
公共交通網の評価				○		●
公共交通網の見直し	○	○	○	○	○	●

6. 参考資料

6-1 さぬき市地域公共交通会議

(1) 委員名簿

	名前	所属等		区分
会長	紀伊 雅敦	香川大学創造工学部	教授	第5号
会長職務代理	尾崎 勝	さぬき市商工会	会長	第2号
委員	佐藤 邦明	大川自動車株式会社	代表取締役社長	第1号
委員	六車 誠司	香川県タクシー協同組合	監事	第1号
委員	白山 京子	さぬき市社会福祉協議会	福祉のまち推進課事務職員	第2号
委員	六車 均	さぬき市観光協会	事務局長	第2号
委員	松本 和可子	さぬき市女性団体連絡会	会長	第2号
委員	山内 馨	さぬき市老人クラブ連合会	副会長	第2号
委員	頼富 勉	さぬき市連合自治会	会長	第2号
委員	村上 哲也	四国運輸局香川運輸支局	首席運輸企画専門官	第3号
委員	溝渕 浩之	大川自動車労働組合	執行委員	第4号
委員	宮本 浩毅	香川県長尾土木事務所	道路課長	第5号
委員	木村 欣哉	さぬき警察署	交通課長	第5号
委員	近藤 壽文	香川県交流推進部	交通政策課長	第5号
委員	佐々木 和昭	徳島文理大学	総務部長	第5号
委員	中野 敏記	さぬき市教育委員会事務局	教育部長	第5号
委員	南 壮憲	四国旅客鉄道株式会社	総合企画本部担当課長	第5号
委員	藤本 重信	高松琴平電気鉄道株式会社	運輸サービス部長	第5号
委員	間島 憲仁	さぬき市健康福祉部	部長	第5号
委員	宮崎 耕輔	香川高等専門学校	准教授	第5号
委員	元山 幸恵	公募		第5号
委員	西丸 範生	四国地方整備局香川河川国道事務所	道路調査課長	第5号
委員	堀 元司	さぬき市建設経済部	部長	第6号

号内 50 音順(会長、会長職務代理除く)、敬称略(所属等は就任当時)

※区分：さぬき市地域公共交通会議設置要綱第3条第1項より

第1号 一般乗合旅客自動車運送事業者又は一般貸切（乗用）旅客自動車運送事業者

第2号 住民又は利用者の代表

第3号 四国運輸局香川運輸支局長又はその指名する者

第4号 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転手が組織する団体の代表者

第5号 道路管理者、香川県警察、学識経験者その他の交通会議が必要と認める者

第6号 さぬき市建設経済部長

(2) 開催状況

①令和元年7月1日

附属機関等の名称	令和元年度第1回さぬき市地域公共交通会議
事務局担当課	都市整備課（電話：087-894-1113）
会議開催年月日	令和元年7月1日（月曜日）
会議開催時間	14時00分～16時10分
会議開催場所	さぬき市役所3階302会議室
出席者数	委員22人、事務局等4人 計26人
議題	1. 会長の選出について 2. さぬき市コミュニティバスの運行状況について 3. 今後のスケジュールについて

②令和元年11月1日

附属機関等の名称	令和元年度第2回さぬき市地域公共交通会議
事務局担当課	都市整備課（電話：087-894-1113）
会議開催年月日	令和元年11月1日（金曜日）
会議開催時間	10時00分～12時00分
会議開催場所	さぬき市役所3階302会議室
出席者数	委員17人、事務局3人 計20人
議題	1. 市民アンケート調査の結果概要等について 2. さぬき市コミュニティバス再編に向けた方向性について 3. 今後のスケジュールについて

③令和2年1月10日

附属機関等の名称	令和元年度第3回さぬき市地域公共交通会議
事務局担当課	都市整備課（電話：087-894-1113）
会議開催年月日	令和2年1月10日（金曜日）
会議開催時間	10時00分～11時30分
会議開催場所	さぬき市役所3階301会議室
出席者数	委員19人、事務局3人 計22人
議題	1. デマンド交通実験運行等の結果について 2. さぬき市コミュニティバス新路線素案について 3. 今後のスケジュールについて

④令和2年6月3日

附属機関等の名称	令和2年度第1回さぬき市地域公共交通会議
事務局担当課	都市整備課（電話：087-894-1113）
会議開催年月日	令和2年6月3日（水曜日）
会議開催時間	13時30分～15時30分
会議開催場所	さぬき市役所寒川第2庁舎2階203会議室
出席者数	委員21人、事務局3人 計24人
議題	1. さぬき市コミュニティバス再編案（原案）について 2. 実証運行開始までのスケジュールについて 3. 令和2年度の検討内容について

⑤令和2年7月31日

附属機関等の名称	令和2年度第2回さぬき市地域公共交通会議
事務局担当課	都市整備課（電話：087-894-1113）
会議開催年月日	令和2年7月31日（金曜日）
会議開催時間	13時30分～15時30分
会議開催場所	さぬき市役所寒川第2庁舎2階203会議室
出席者数	委員22人、事務局3人 計25人
議題	1. さぬき市コミュニティバス実証運行について 2. 実証運行に係る広報活動について 3. 今後のスケジュールについて

⑥令和3年1月8日

附属機関等の名称	令和2年度第3回さぬき市地域公共交通会議
事務局担当課	都市整備課（電話：087-894-1113）
会議開催年月日	令和3年1月8日（金曜日）
会議開催時間	13時30分～15時30分
会議開催場所	さぬき市役所3階301・302会議室
出席者数	委員21人、事務局等4人 計25人
議題	1. さぬき市コミュニティバス実証運行状況について 2. さぬき市地域公共交通計画について 3. 今後のスケジュールについて

⑦令和3年3月19日

附属機関等の名称	令和2年度第4回さぬき市地域公共交通会議
事務局担当課	都市整備課（電話：087-894-1113）
会議開催年月日	令和3年3月19日（金曜日）
会議開催時間	15時00分～16時10分
会議開催場所	さぬき市役所3階301・302会議室
出席者数	委員22人、事務局3人 計25人
議題	1. さぬき市地域公共交通計画について 2. さぬき市コミュニティバス本格運行に向けて 3. 今後のスケジュールについて

さぬき市地域公共交通計画

2021（令和3）年3月

発行：さぬき市

編集：さぬき市建設経済部都市整備課

〒769-2195 香川県さぬき市志度 5385 番地 8

電話 087-894-1113

FAX 087-894-3444